

修繕名 令和7年度盛岡市立津志田小学校校舎安全対策（外壁・屋根等）修繕 特記仕様書	1 一般事項	⑨ 技能士	<p>＜1.6.2＞</p> <p>・ 下表で技能士を適用することとした職種に、1級又は単一級技能士を配置する。</p> <p>※ 下表で技能士を適用することとした職種に、1級、2級又は単一級技能士を配置する。</p> <p>・ 下表で技能士を適用しないとした職種でも、技能士の配置に努めること。</p> <table border="1"> <tr> <th>工事種目</th> <th>技能検定職種（技能検定作業）</th> </tr> <tr> <td>以下の該当修繕</td> <td>◎該当する作業がある以下の職種（作業）の全て</td> </tr> <tr> <td>仮設修繕</td> <td>・とび（とび作業）</td> </tr> <tr> <td>鉄筋修繕</td> <td>・鉄筋施工（鉄筋組立作業）</td> </tr> <tr> <td>コンクリート修繕</td> <td>・型枠施工（型枠修繕作業） ・コンクリート圧送施工（コンクリート圧送修繕作業）</td> </tr> <tr> <td>鉄骨修繕</td> <td>・とび（とび作業） ・鉄工（構造物鉄工作業）</td> </tr> <tr> <td>コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板修繕</td> <td>・ブロック建築（コンクリートブロック修繕作業） ・ALCパネル施工（ALCパネル修繕作業）</td> </tr> <tr> <td>防水修繕</td> <td>・防水施工（アスファルト防水修繕作業 ・ウレタンゴム系塗膜防水修繕作業 ・アクリルゴム系塗膜防水修繕作業 ・合成ゴム系シート防水修繕作業 ・塩化ビニル系シート防水修繕作業 ・セメント系防水修繕作業 ・シーリング防水修繕作業 ・改質アスファルトシート防水修繕作業 ・FRP防水修繕作業）</td> </tr> <tr> <td>石修繕</td> <td>・石材施工（石張り作業）</td> </tr> <tr> <td>タイル修繕</td> <td>・タイル張り（タイル張り作業）</td> </tr> <tr> <td>木修繕</td> <td>・建築大工（大工修繕作業）</td> </tr> <tr> <td>屋根及びとい修繕</td> <td>・建築板金（内外装板金作業） ・かわらぶき（かわらぶき作業）</td> </tr> <tr> <td>金属修繕</td> <td>・内装仕上げ施工（鋼製下地修繕作業） ・建築板金（内外装板金作業） ・バルコニー施工（金属バルコニー修繕作業）</td> </tr> <tr> <td>左官修繕</td> <td>・左官（左官作業）</td> </tr> <tr> <td>建具修繕</td> <td>・サッシ施工（ビル用サッシ施工作業） ・ガラス施工（ガラス修繕作業）</td> </tr> <tr> <td>カーテンウォール修繕</td> <td>・自動ドア施工（自動ドア施工作業） ・カーテンウォール施工（金属製カーテンウォール修繕作業） ・サッシ施工（ビル用サッシ施工作業） ・ガラス施工（ガラス修繕作業）</td> </tr> <tr> <td>塗装修繕</td> <td>・塗装（建築塗装作業）</td> </tr> <tr> <td>内装修繕</td> <td>・内装仕上げ施工（プラスチック系床仕上げ修繕作業 ・カーペット系床仕上げ作業 ・木質系床仕上げ修繕作業 ・ボード仕上げ修繕作業）</td> </tr> <tr> <td>排水修繕</td> <td>・表装（壁装作業）</td> </tr> <tr> <td>舗装修繕</td> <td>・配管（建築配管作業）</td> </tr> <tr> <td>植栽修繕</td> <td>・路面表示施工（溶解融氷剤塗布作業 ・加熱融氷剤塗布作業）</td> </tr> <tr> <td>植栽修繕</td> <td>・造園（造園修繕作業）</td> </tr> </table>	工事種目	技能検定職種（技能検定作業）	以下の該当修繕	◎該当する作業がある以下の職種（作業）の全て	仮設修繕	・とび（とび作業）	鉄筋修繕	・鉄筋施工（鉄筋組立作業）	コンクリート修繕	・型枠施工（型枠修繕作業） ・コンクリート圧送施工（コンクリート圧送修繕作業）	鉄骨修繕	・とび（とび作業） ・鉄工（構造物鉄工作業）	コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板修繕	・ブロック建築（コンクリートブロック修繕作業） ・ALCパネル施工（ALCパネル修繕作業）	防水修繕	・防水施工（アスファルト防水修繕作業 ・ウレタンゴム系塗膜防水修繕作業 ・アクリルゴム系塗膜防水修繕作業 ・合成ゴム系シート防水修繕作業 ・塩化ビニル系シート防水修繕作業 ・セメント系防水修繕作業 ・シーリング防水修繕作業 ・改質アスファルトシート防水修繕作業 ・FRP防水修繕作業）	石修繕	・石材施工（石張り作業）	タイル修繕	・タイル張り（タイル張り作業）	木修繕	・建築大工（大工修繕作業）	屋根及びとい修繕	・建築板金（内外装板金作業） ・かわらぶき（かわらぶき作業）	金属修繕	・内装仕上げ施工（鋼製下地修繕作業） ・建築板金（内外装板金作業） ・バルコニー施工（金属バルコニー修繕作業）	左官修繕	・左官（左官作業）	建具修繕	・サッシ施工（ビル用サッシ施工作業） ・ガラス施工（ガラス修繕作業）	カーテンウォール修繕	・自動ドア施工（自動ドア施工作業） ・カーテンウォール施工（金属製カーテンウォール修繕作業） ・サッシ施工（ビル用サッシ施工作業） ・ガラス施工（ガラス修繕作業）	塗装修繕	・塗装（建築塗装作業）	内装修繕	・内装仕上げ施工（プラスチック系床仕上げ修繕作業 ・カーペット系床仕上げ作業 ・木質系床仕上げ修繕作業 ・ボード仕上げ修繕作業）	排水修繕	・表装（壁装作業）	舗装修繕	・配管（建築配管作業）	植栽修繕	・路面表示施工（溶解融氷剤塗布作業 ・加熱融氷剤塗布作業）	植栽修繕	・造園（造園修繕作業）	<p>① 仮囲い</p> <p>② 危害防止</p> <p>③ 監督職員事務所</p> <p>④ 修繕用水</p> <p>⑤ 修繕用電力</p> <p>⑥ 修繕用通路</p> <p>⑦ 足場等</p> <p>⑧ 養生</p> <p>⑨ 仮設間仕切り</p> <p>⑩ その他の仮設</p>	<p>※ 設ける ○ 設けない</p> <p>仮囲いの位置及び延長は図示による。</p> <p>・シートゲート（H= , W= ）× 箇所</p> <p>※ シート張り ・ 金網養生</p> <p>※ 設けない（請負者事務所に打合せ会議室を確保する）</p> <p>・ 設ける（規模 m程度 請負者事務所と同様 可 ・ 否）</p> <table border="1"> <tr> <th>備品の種類</th> <th>機・椅子</th> <th>書 棚</th> <th>約イド</th> <th>掛時計</th> </tr> <tr> <th>数 量</th> <td>組</td> <td>ケ</td> <td>ケ</td> <td>ケ</td> </tr> <tr> <th>備品の種類</th> <th>温度計</th> <th>ゴム長靴</th> <th>雨がっぱ</th> <th>保護帽</th> </tr> <tr> <th>数 量</th> <td>ケ</td> <td>組</td> <td>組</td> <td>ケ</td> </tr> <tr> <th>備品の種類</th> <th>安全帯</th> <th>上履き</th> <th>衣類（カー</th> <th>懐中電灯</th> </tr> <tr> <th>数 量</th> <td>ケ</td> <td>組</td> <td>ケ</td> <td>ケ</td> </tr> <tr> <th>備品の種類</th> <th>軍手</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>数 量</th> <td>組</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>構内既存の施設 ○ 利用できる（※有償 ・ 無償） ・ 利用できない</p> <p>構内既存の施設 ○ 利用できる（※有償 ・ 無償） ・ 利用できない</p> <p>※ 指定しない ○ 指定する（図示）</p> <p>外部足場 ○ 設置する（ 設置範囲 ○ 図示 ） ・ 設置しない</p> <p>防護シート ○ 設置する（ 設置範囲 ○ 図示 ） ・ 設置しない</p> <p>内部足場 ○ 設置する（ 設置範囲 ○ 図示 ） ・ 設置しない</p> <p>・ 材料、撤去材等の運搬方法 種別（ ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種 ） C種：利用可能なエレベーター（ ） D種：利用可能な階段（ ）</p> <p>足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン（厚生労働省平成21年4月策定）」によるものとし、設置については「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」及び「働きやすい安心感のある足場に関する基準」によること。</p> <p>家具の移動 ・ 行う（図示） ○ 行わない 家具名称：</p> <p>既存ブラインド・カーテン等の養生及び保管 ・ 行う（図示） ○ 行わない</p> <p>養生の方法： 保管場所：</p> <p>・ 設ける（図示） ・ A種 ・ B種 ※ C種</p> <p>・ 設けない</p>	備品の種類	機・椅子	書 棚	約イド	掛時計	数 量	組	ケ	ケ	ケ	備品の種類	温度計	ゴム長靴	雨がっぱ	保護帽	数 量	ケ	組	組	ケ	備品の種類	安全帯	上履き	衣類（カー	懐中電灯	数 量	ケ	組	ケ	ケ	備品の種類	軍手				数 量	組				<p>5' シート防水</p> <p>⑥ シーリング材料の種類及び施工箇所</p> <p>⑦ シーリング改修工法</p> <p>8. と い</p> <p>9. ルーフドレン</p> <p>10. アルミニウム製雲木</p> <p>⑪ 防水保証</p>	<p>・ 塩ビシート防水機械的固定工法 S-M2、t1.5</p> <p>※ 被着体に応じたものとし、＜表3.7.1＞を標準とする。</p> <p>・ ＜表3.7.1＞によらない箇所及びシーリング材料 ＜表3.7.1＞によらない箇所 シーリング材料 ・カーテンウォール</p> <table border="1"> <tr> <th>改修工法の種別</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>改修工法の種類</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・シーリング充てん工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ シーリング再充てん工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 拡幅シーリング充てん工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ブリッジ工法（ ）</td> <td></td> </tr> </table> <p>＜3.7.2＞＜表3.7.1＞</p> <table border="1"> <tr> <th>材 種</th> <th>防 霽</th> </tr> <tr> <td>・ 配管用鋼管（SGP）</td> <td>※ ＜表3.8.3～4＞により行う</td> </tr> <tr> <td>・ 硬質塩化ビニル管（VP）</td> <td></td> </tr> </table> <p>特記無き限り既存のとい受け金物を使用する。</p> <p>鋼管製といの防露巻き ※ ＜表3.8.4＞による。 ＜3.8.3＞＜表3.8.4＞</p> <p>※水ははけく床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填する。 ＜3.8.3＞</p> <p>部材の種類 ・ 押出 250形 ・ 押出 300形 ・ 押出 350形 ・ 板材折曲げ形（ ・ オープン形式 ・ シール形式） 付属部品の材料、角各部並びに突当り部等の役物は、笠木本体製作所の仕様による。</p> <p>表面処理 ※ BB-1種 ・ BB-2種 ＜3.9.2＞＜表5.2.2＞</p> <p>下地の補修方法 ・ モルタル補修 既存笠木を撤去した後、下地となる構造体の状況を確認し、上記によること が困難な場合は、監督員と協議すること。</p> <p>⑪ 防水保証 アスファルト防水、改質アスファルトシート防水及び合成高分子系ルーフィングシート防水の保証期間は、引渡しの日から10年間とし、メーカー・施工業者との連名のうえ、保証書を作成し提出する。 塗膜防水及びケイ酸系塗布防水については、メーカー・施工業者が通常定めている期間とし、保証書を作成し提出する。</p>	改修工法の種別	施 工 箇 所	改修工法の種類		・シーリング充てん工法		○ シーリング再充てん工法		・ 拡幅シーリング充てん工法		・ブリッジ工法（ ）		材 種	防 霽	・ 配管用鋼管（SGP）	※ ＜表3.8.3～4＞により行う	・ 硬質塩化ビニル管（VP）	
				工事種目	技能検定職種（技能検定作業）																																																																																																								
以下の該当修繕	◎該当する作業がある以下の職種（作業）の全て																																																																																																												
仮設修繕	・とび（とび作業）																																																																																																												
鉄筋修繕	・鉄筋施工（鉄筋組立作業）																																																																																																												
コンクリート修繕	・型枠施工（型枠修繕作業） ・コンクリート圧送施工（コンクリート圧送修繕作業）																																																																																																												
鉄骨修繕	・とび（とび作業） ・鉄工（構造物鉄工作業）																																																																																																												
コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板修繕	・ブロック建築（コンクリートブロック修繕作業） ・ALCパネル施工（ALCパネル修繕作業）																																																																																																												
防水修繕	・防水施工（アスファルト防水修繕作業 ・ウレタンゴム系塗膜防水修繕作業 ・アクリルゴム系塗膜防水修繕作業 ・合成ゴム系シート防水修繕作業 ・塩化ビニル系シート防水修繕作業 ・セメント系防水修繕作業 ・シーリング防水修繕作業 ・改質アスファルトシート防水修繕作業 ・FRP防水修繕作業）																																																																																																												
石修繕	・石材施工（石張り作業）																																																																																																												
タイル修繕	・タイル張り（タイル張り作業）																																																																																																												
木修繕	・建築大工（大工修繕作業）																																																																																																												
屋根及びとい修繕	・建築板金（内外装板金作業） ・かわらぶき（かわらぶき作業）																																																																																																												
金属修繕	・内装仕上げ施工（鋼製下地修繕作業） ・建築板金（内外装板金作業） ・バルコニー施工（金属バルコニー修繕作業）																																																																																																												
左官修繕	・左官（左官作業）																																																																																																												
建具修繕	・サッシ施工（ビル用サッシ施工作業） ・ガラス施工（ガラス修繕作業）																																																																																																												
カーテンウォール修繕	・自動ドア施工（自動ドア施工作業） ・カーテンウォール施工（金属製カーテンウォール修繕作業） ・サッシ施工（ビル用サッシ施工作業） ・ガラス施工（ガラス修繕作業）																																																																																																												
塗装修繕	・塗装（建築塗装作業）																																																																																																												
内装修繕	・内装仕上げ施工（プラスチック系床仕上げ修繕作業 ・カーペット系床仕上げ作業 ・木質系床仕上げ修繕作業 ・ボード仕上げ修繕作業）																																																																																																												
排水修繕	・表装（壁装作業）																																																																																																												
舗装修繕	・配管（建築配管作業）																																																																																																												
植栽修繕	・路面表示施工（溶解融氷剤塗布作業 ・加熱融氷剤塗布作業）																																																																																																												
植栽修繕	・造園（造園修繕作業）																																																																																																												
備品の種類	機・椅子	書 棚	約イド	掛時計																																																																																																									
数 量	組	ケ	ケ	ケ																																																																																																									
備品の種類	温度計	ゴム長靴	雨がっぱ	保護帽																																																																																																									
数 量	ケ	組	組	ケ																																																																																																									
備品の種類	安全帯	上履き	衣類（カー	懐中電灯																																																																																																									
数 量	ケ	組	ケ	ケ																																																																																																									
備品の種類	軍手																																																																																																												
数 量	組																																																																																																												
改修工法の種別	施 工 箇 所																																																																																																												
改修工法の種類																																																																																																													
・シーリング充てん工法																																																																																																													
○ シーリング再充てん工法																																																																																																													
・ 拡幅シーリング充てん工法																																																																																																													
・ブリッジ工法（ ）																																																																																																													
材 種	防 霽																																																																																																												
・ 配管用鋼管（SGP）	※ ＜表3.8.3～4＞により行う																																																																																																												
・ 硬質塩化ビニル管（VP）																																																																																																													
<p>II 建築修繕仕様</p> <p>1. 共通仕様 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築修繕標準仕様書（最新版）」（以下、「標準仕様書」という。）による。ただし、標準仕様書に記載されていない事項は、「公共建築改修修繕標準仕様書（最新版）」（以下「改修標準仕様書」という。）及び「公共建築木造修繕標準仕様書（最新版）」（以下「木造標準仕様書」という。）及び「建築物解体修繕共通仕様書（最新版）」（以下「解体共通仕様書」という。）による。</p> <p>2. 特記仕様 1) 項目は、番号に○印のついたものを適用する。 2) 特記事項は、○印のついたものを適用する。○印のつかない場合は※印のついたものを適用する。○印と※印のついた場合は、共に適用する。 3) 特記事項に記載の（ ）、「< >及び[]」内の表示番号は、それぞれ「標準仕様書」、「改修標準仕様書」及び「解体共通仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。</p>	<p>⑩ 提出書類</p> <p>⑪ 施工図及び施工計画書</p> <p>⑫ 設備修繕との取合い</p> <p>⑬ 住宅瑕疵担保責任</p> <p>⑭ 施工条件</p>	<p>① 一般事項</p> <p>② 適用基準等</p> <p>③ 実施工程表</p> <p>④ 電気保安技術者</p> <p>⑤ 建築材料等</p> <p>⑥ 室内の空気中の化学物質濃度の測定</p> <p>⑦ 特別な材料の工法</p> <p>⑧ 施工調査</p>	<p>① ひび割れ部改修</p> <p>② モルタル塗り仕上外壁</p>																																																																																																										

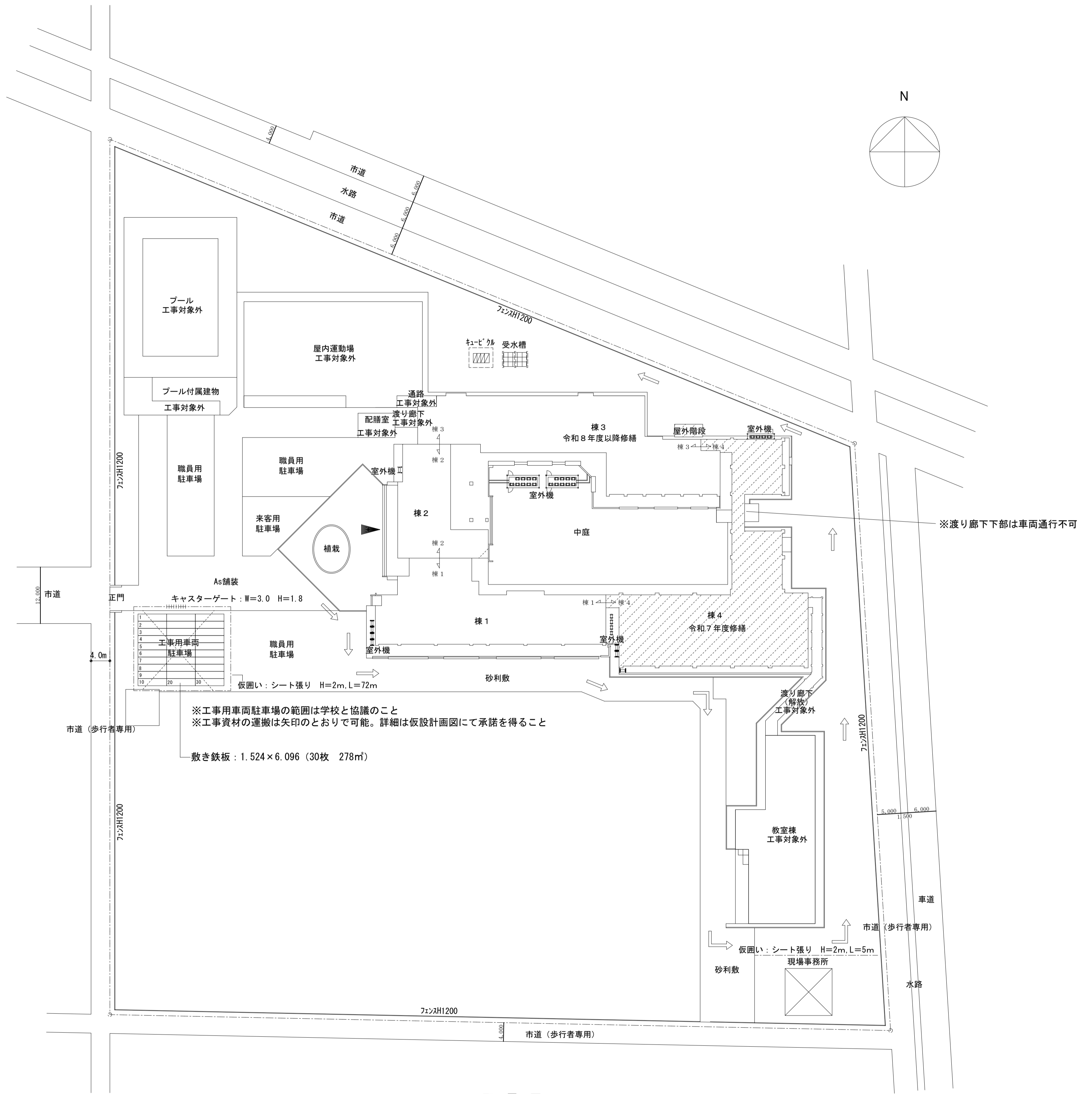
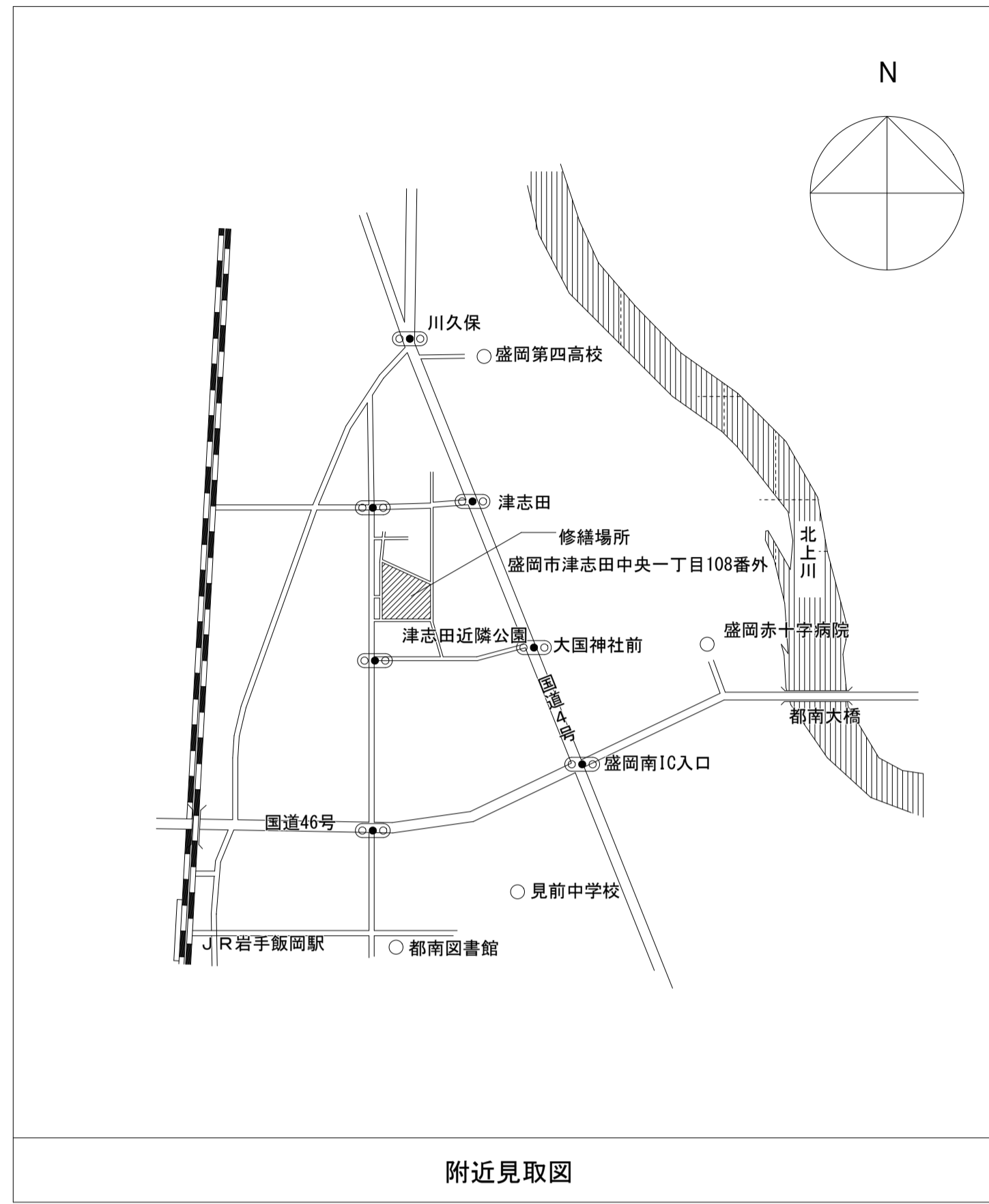
6 内装 改修 修繕	1. 改修範囲	既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲 ※ 壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。 ・ 図示の範囲 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲 ※ 壁より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。 ・ 図示の範囲 既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ※ 既存のまま ・ 図示の範囲	<6.1.3>
	2. 既存床の撤去 ・ 下地補修	合成樹脂塗床の除去方法 ・ 目荒工法 ・ 機械的除去工法	<6.2.2(1)>
	3. 改修後の床の清掃範囲	当居室全体 ・ 図示の範囲	<6.2.2(3)>
	4. 既存壁の撤去 ・ 下地補修	間仕切り壁撤去に伴う他の構造体の補修方法 ※ <4.4.9)>による	<6.3.2(1)>
	5. 木材	表面仕上げの程度 表面仕上げの種別	<6.5.1(3)>
	6. 集成材	造作用集成材は<6.5.2(3)>による 見付け材面等 ※ JASによる集成材等 ※ 1等 ・ 2等 ※ JAS集成材1等 その他	<6.5.2>
	7. 床張り用合板	下地用合板 ※ JASの構造用合板 種類 2等以上 CーD以上	<12.2.1)>
	8. 防蟻・防蟻 ・ 防虫処理	薬剤の加圧注入による防蟻・防蟻処理 適用部材 () 保存処理性能区分 ・ K2 ・ K3 ・ K4 薬剤の加圧注入処理を行ったのち、現場における加工、切断、孔あけ等を行った箇所は、現場にて薬剤の塗布等による防蟻・防蟻処理を行う。 防虫処理 ラワン材 保存処理性能区分 ※K1	<6.5.5)>
	9. 軽量鉄骨天井 下地材	野縁などの種類 屋内 ※ 19型 ・ 25型 (室名 :) 屋外 ※ 19型 ・ 25型	<6.6.2><表6.6.1)>
	10. 軽量鉄骨 壁下地材	インサート ・ 既存インサートを使用する ・ あと施工アンカーを設ける	<6.6.4(1)>
	11. 体育館の 鋼製床下地	あと施工アンカーの確認試験 ・ 行う ※ 行わない	<6.6.4(1)>
	12. ビニル床 シート張り	耐震性を考慮した補強 ※ 行わない ・ 行う (補強方法と補強箇所は図示による)	<6.6.4(10)>
	13. ビニル床 タイル張り	耐風圧性を考慮した補強 (ピロティ、屋外軒天井等) ※ 行わない ・ 行う (補強方法と補強箇所は図示による)	<6.6.4(11)>
	14. ビニル床 タイル・ビニル 床シートの特 殊機能	スタッド、ランナーなどの種類は表6.7.1)による。 ※ JIS A 6519のJIS表示認証製品	<6.7.3)><表6.7.1)>
	15. 視覚障害者用 床タイル	JIS A5705のJIS表示認証製品 種類 記号 色柄 厚さ(mm) 特殊機能 工法 ※ 発泡層のないもの ・ TS ・ マーブル ※ 2.0 ・ 帯電防止 ※ 熱溶接 ・ 発泡層のあるもの ・ HS ・ 2.5 ・ 耐動荷重 ・ 突付け	<6.8.2)><表6.8.3)>
16. ビニル幅木	目地処理する場合の工法 ・ 熱溶接工法	<6.8.2)>	

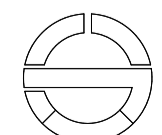
6 内装 改修 工	17. カーベツト敷き	・ タフトドカーベツト 施工箇所 バイエル形状 パイエル長さ (mm) 工法 品質 帯電性 ※ 全面接着工法 ・ グリッパ工法	<6.9.2~3)><表6.9.2)>
	18. 合成樹脂塗床	・ タイルカーベツト 施工箇所 種類 バイエル形状 寸法 総厚さ 帯電性 ※ 第1種 ※ ループパイエル ※ 500×500 ※ 6.5 ・ 第2種 ・ カットパイエル	<6.9.2~3)><表6.9.1)>
	19. フローリング張り	材料の種類 ・ 厚膜型塗床材 ・ 弾性ウレタン樹脂系塗床材 ・ エポキシ樹脂系塗床材 ・ 薄膜型塗床材 (エポキシ樹脂系塗床材)	<6.10.2)>
	20. 畳敷き	仕上の種類 ・ 平滑仕上げ ・ 防汚仕上げ	<6.10.3)>
	21. 石こうボード その他ボード張り	・ 単層フローリング 種別 樹種 厚さ(mm) 工法 塗装 ・ フローリング ※ なら ※ 1.5 幅 7.5 長さ400以上 ・ 釘止め工法 ※ ウレタン樹脂 ・ 接着工法 ・ フローリング ※ なら ※ 1.5 (303×303) 接着工法 ・ 接着工法 ・ 大型積層フローリング ・ さくら ・ ひのき ・ 行方 ・ 行わない ・ 特殊張り工法 (体育館床) ・ 既塗装品	<6.11.2~6)><表6.11.1~6)>
	22. 遮音シール材	畳の種類 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ()	<6.12.2)><表6.12.1)>
	23. 壁紙張り	種類又は記号 種別など 厚さ (mm) 規格番号 けい酸カルシウム板 (繊維強化セメント板) 0.8FK又は1.0FK 壁 ・ 8 (不燃) ・ 10 (不燃) ・ 12 (不燃) 天井 ・ 6 (不燃) ・ 12 (不燃)	JIS A 5430 (タイプ2)
	24. タイル張り	グラスウール 吸音ボード (吸音材料) GWーB ガラスクロス (JIS A 3414 / EP18程度) 額縁張り品 ロックウール 化粧吸音板 (吸音材料) DR ※ 内部用 ・ 軒天用 普通 ※ 9 (不燃) ・ 12 (不燃) 立体模様 ※ 12 (不燃) ・ 15 (不燃) ・ 19 (不燃)	JIS A 6301 (32K)
		せっこうボード (せっこうボード製品) GBーR 壁 ・ 9.5 (準不燃) ※12.5 (不燃) ・ 15 (不燃) 天井 ・ 9.5 (準不燃) ※12.5 (不燃)	JIS A 6901
		シーシング せっこうボード (せっこうボード製品) GBーS 壁 ・ 9.5 (準不燃) ※12.5 (準不燃) 天井 ・ 9.5 (準不燃) ※12.5 (準不燃)	JIS A 6901
		不燃積層 せっこうボード (せっこうボード製品) GBーNC トラパーチン模様 色 ※白 ・ 黄	JIS A 6901
		化粧せっこうボード (せっこうボード製品) GBーD 木目模様 壁 ・ 9.5 (準不燃) ※12.5 (不燃) 天井 ・ 9.5 (準不燃) ※12.5 (不燃)	JIS A 6901
		せっこうボードの目地処理 継目処理工法 ※ 突き付けV目地工法 ・ 突き付け工法 ・ 目透し工法	<6.13.2)>
		・ アクリル系シーリング材 ※ ジョイントコンパウンド	<6.13.2)>
		防火種別 ・ 不燃 ・ 準不燃 ・ その他 ・ 不燃 ・ 準不燃 ・ その他 ・ 不燃 ・ 準不燃 ・ その他	<6.14.2)>
	タイルの種類 JIS A 5209のJIS表示認証製品 施工箇所 形状寸法 (mm) うわぐすり 役物 色 再生材備考 施無有無 標準注文 利用 利用 ゆうゆう 利用 タイル	<6.16.3)>	
	内装タイルの工法 ・ 改良積上げ張り 施工箇所 () ・ 接着剤張り 施工箇所 ()	<6.16.3~4)>	

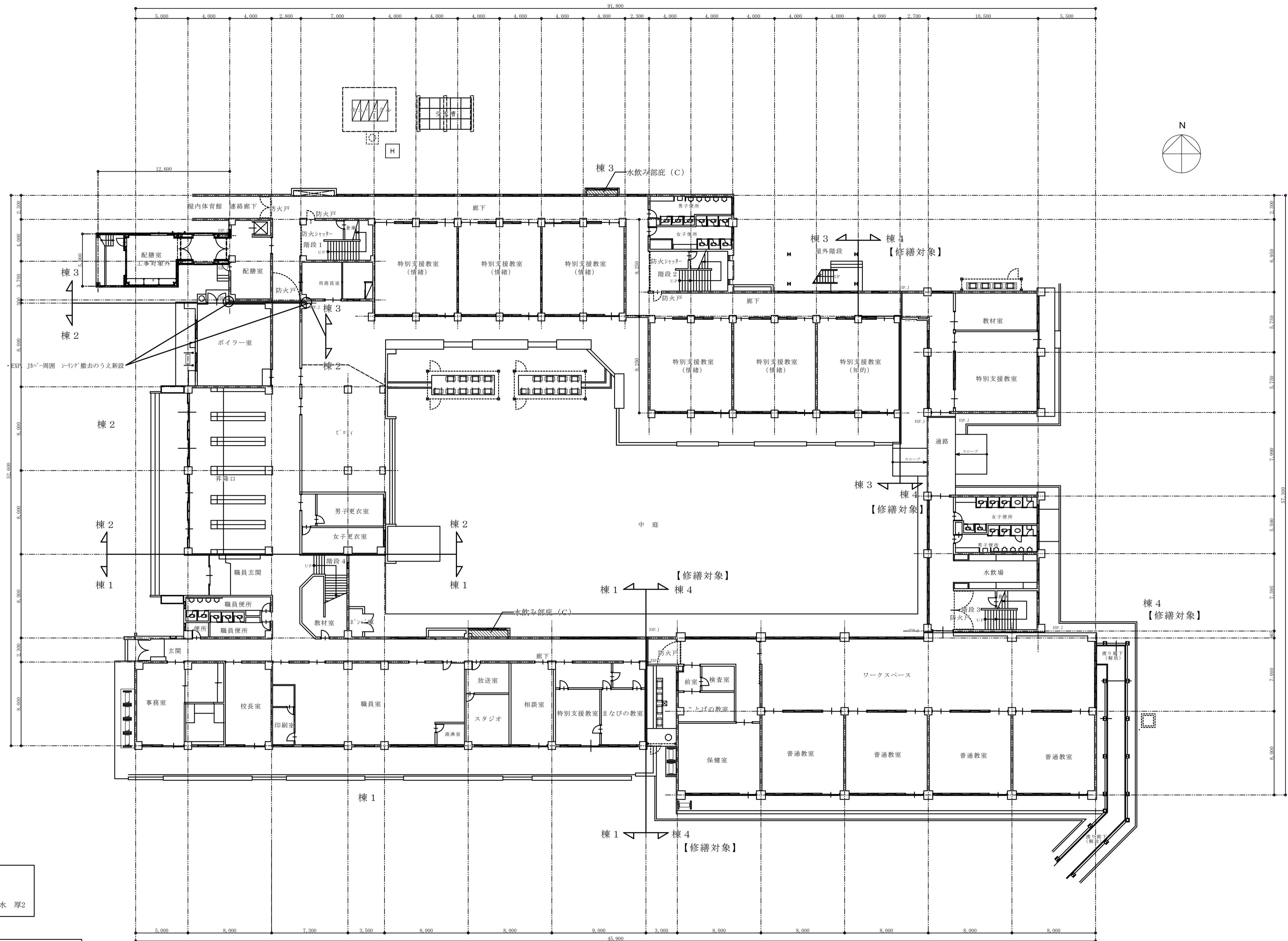
7 耐震 改修 修繕	25. セルフレベ リング材塗り	種別 ・ 石こう系 ・ セメント系 塗厚 ※ -10mm	<6.17.2~3)>
	1. 防火材料	<7.1.3)> ※ 室内の壁及び天井の仕上げは、建築基準法に基づく基材同等の認定表示のあるものとする。 ・ 次の箇所を除き防火材料とする。 ()	
	2. 下地調整	塗替えRB種の場合の既存塗膜の除去範囲 ※塗替え面積の30% ・ 図示	<7.2.1)>
	3. 錆止め塗料塗り	塗装面 塗料 工程 鉄鋼面 EPーG以外 塗替え 新規 A種 ※A種 新規見え隠れ A種 ※B種 塗替え B種 ※C種 EPーG 塗替え 新規見え隠れ B種 ※B種 塗替え ※B種 ※C種 亜鉛めっき鋼面 新規 (鋼製建具以外) ※B種 ※A種 新規 (鋼製建具以外) ※B種 ※C種 塗替え ※B種 ※C種 新規 (鋼製建具以外) ※B種 ※C種	<7.3.2~3)><表7.3.1~4)>
	3. 各種塗装	塗装の種類 塗装面 塗替え 新規 ①合成樹脂調合ペイント塗り (SOP) 木部屋外 ※B種 ※A種 木部屋内 ※B種 ※B種 鉄鋼面 ※B種 ※B種 塗料の種類 亜鉛めっき鋼面 ※A種 ※B種 亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具) ※B種 ※B種 ・クリヤラッカー塗り (CL) ※B種 ・ A種 ※B種 ・ A種 ・フタル酸樹脂エナメル塗り (FE) - - ・アクリル樹脂系非水分散型塗料塗り (NAD) ※B種 ・ A種 ※B種 ・ A種 ・耐候性塗料塗り (DP) 鉄鋼面 ※B種 A種 上塗り等級 () 級 亜鉛めっき鋼面 上塗り等級 () 級 コンクリート面 押出成形セメント板面 ※B種 ※B種 ・ A種 コンクリート面等 ※B種 ※B種 ・ A種 屋内の木部 ※B種 ・ A種 屋内の鉄鋼面 ※B種 ※B種 ・ A種 (EPーG) 屋内の亜鉛めっき鋼面 ※B種 ※B種 ・合成樹脂エマルションペイント塗り (EP) ※B種 ※B種 ・合成樹脂エマルション模様塗料塗り (EPーT) ※B種 ※B種 ・ A種 ・ウレタン樹脂ワニス塗り (UC) ※B種 ・ A種 ※B種 ・ A種 ・オイルステイン塗り (OS) - - ・木材保護塗料塗り (WP) ※B種 ・ A種 ※B種 ・ A種	<7.4.2~14.2)><表7.4.1~14.1)>
	1. 鉄筋の種類	規格名称 種類の記号 径 (mm) 鉄筋コンクリート用棒鋼 ※ SD295 A ※ D16以下 ※ SD345 ※ D19以上	<8.2.1)><表8.2.1)>
	2. 溶接金網	※ JIS G-3551のJIS表示認証製品 線径 (mm) 6.0 × 網目 (mm) 100 使用箇所 ()	<8.2.2)>
	3. 鉄筋の継手	径 19 mm 以上 ※ ガス圧接 ・ 重ね継手	<8.3.4)>
	4. 柱の帯筋	・ 図示	
	5. 圧接完了後の 抜取試験	試験方法 ※ 超音波探傷試験 ・ 引張り試験	<8.3.8)>
	1. 設計基準強度	普通コンクリート (N/mm ²) 設計基準強度 適用箇所 ※ 21	<8.1.3)>

8 耐震 改修 修繕	2. レディー ミクスト コンクリート	類別 ※ I類 ・ II類	<8.1.3)><表8.1.1)>
	3. 打放し 仕上げの種別	種別 適用箇所 ・ A種 ※ B種 ・ C種	<8.1.4)><表8.1.4)>
	4. セメントの 種類	セメントの種類 適用範囲 ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種 シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 ・高炉セメントB種 基礎、地中梁 ・フライアッシュセメントB種 基礎、地中梁	<8.2.5)>
	5. 骨 材	使用骨材のアルカリシリカ反応による区分 ※ A ・ B	<8.2.5)>
	6. 混和材料	混和剤 ※ AE剤、AE減水剤 I種又は高性能AE減水剤	<8.2.5)>
	7. 軽量 コンクリート	種別 適用箇所 気乾単位容積質量 (t/m ³)	<8.9.1)><表8.9.1)>
	8. 無筋 コンクリート	適用箇所	<8.11.1)>
	9. グラウト材	無収縮グラウト材は、製造所で調査された材料を使用する。 圧縮強度 (N/mm ²) : 30以上 コンシステンシー J14: ロート値 (秒) 6~10 乾燥収縮 (×10 ⁻⁴) : 0	<8.2.12)>
	10. 柱底等の 均しモルタル	無収縮モルタル材 ・ 使用する ・ 使用しない	<8.2.12)>
	11. 型 枠	せき板の種類 ※ 12mm合板 ・ せき板の塗料 ※ 無 ・ 有	<8.2.7)>
	12. コンクリートの 打込み工法	※ 流込み工法 ・ 圧入工法	<8.21.8)><8.23.5)>
	13. 既存部分の 撤去	既存仕上げの撤去範囲 ※ 図示 既存躯体の撤去範囲 ※ 図示	<8.21.2)>
	1. あと施工 アンカー	※ 接着系アンカー [引張耐力 (KN)、せん断耐力 (KN)] アンカーの種類 ※カプセル型回転・打撃式 ・ 接着剤 ※有機系 ・ 無機系 ・ 金属系アンカー [引張耐力 (KN)、せん断耐力 (KN)] ※ 本体打込み式改良型	<8.2.4)>
	2. あと施工 アンカーの 試験	性能確認試験 ※ 行わない 施工確認試験 ※ 行う	<8.2.4)> <8.12.7)>
	3. 埋込配管等 の探査	範囲 ※ 穿孔箇所すべて ・ 図示	<8.12.4)>
1. 鉄骨製作工場	※ 指定性能評価機関の性能評価を受けて、国土交通大臣の認定を受けた下記のグレード以上の工場 ・ S ・ H ・ M ・ R ・ J ・ 本物件と同等規模構造の施工実績を有している工場で、監督職員の承諾する工場	<8.1.5)>	
2. 鋼材の種類	材 質 規 格 ・ SS400 ・ SSC400 ・ STK400 ・ STKR400 ・ SN400B, C ・ SN490B, C ・ SM400 ・ SM490 JIS表示認証製品	<8.2.8)><表8.2.7)>	
3. 高力ボルト	ボルト種別 セットの種類 ※トルシア形高力ボルト ※建築基準法に基づき認定を受けたもの ・ J 1 S形高力ボルト ※2種 (F10T) ・ 溶融亜鉛メッキ高力ボルト ※1種 (F8T相当)	<8.2.9)>	
4. 溶接部の試験	※超音波探傷試験	<8.15.12)>	
5. 錆び止め塗装	<7.3.2~3)>による。	<8.17.4)>	
6. 耐火被覆	種類 材料・工法 性能 (耐火時間) 適用箇所 (部位・部分)	<8.18.2~8)>	
	・耐火材吹き付け ・ 乾式 吹付けロックウール ・ 半乾式 吹付けロックウール ・ 湿式ロックウール		
	・耐火板張り ・ 繊維混入 けい酸カルシウム板 ・		
	・耐火材巻き付け ・ 高断熱ロックウール ・		
	・ラス張り モルタル塗り ・耐火塗料		

7. アンカーボルト 8. 既存部分の撤去 8.6 耐震改修修繕種(柱補強修繕種) 8.6 耐震改修修繕種(スリット) 8.7 耐震改修修繕種(連続繊維補強修繕種) 8.8 土修繕及び地業修繕 9.1 環境配慮(石綿含有建材の処理修繕種)	種別 ・ A種 ※ B種 ・ C種	適用箇所 (7.2.4)	・ 石綿粉じん濃度測定 測定点 測定時期、場所及び 適用 測定名称 測定時期 測定場所 測定個数	上記以外に用いる断熱材 種類 厚さ(mm) 備考 ・ JISA発泡プラスチック保温材 ※ A種ビーズ法 2種b ※ 25 JIS表示認証製品 ・ グラスウール保温材 ※ 24K品 ※ 100 JIS表示認証製品 ※ グラスウール使用部分の室内側防湿シート ※ 被覆品 ・ 防湿層ポリエチレンフィルム(t0.15)張り (重ね100)	ボーダー部 ※ 一般部分の仕様準ずる 図示による 床表面仕上げ材の品質は標準仕様書19章による。 配線取出し用切り欠きパネルは1枚/㎡以上とする。 空調用吹き出し(吸い込み)パネル ※ なし 有り(※固定式 施工箇所は図示)	
	1. 工法 ・ 溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法 溶接金網の継ぎ手 ※ 重ね継ぎ手 コンクリート及び構造躯体用のモルタルの打設 ・ 圧入工法 ・ 流し込み工法	既存仕上げの撤去範囲 ※ 図示 既存躯体の撤去範囲 ※ 図示	(8.22.2) (8.23.5) (8.23.6) (8.23.6)	測定1 処理作業前 処理作業室内 ・ 計 点 測定2 処理作業室内 調査対象室外部の付近 ・ 計 点 測定3 処理作業室内 ・ 計 点 測定4 セキュリティゾーン入口 ・ 計 点 測定5 処理作業中 集じん・排気装置の排出口(処理作業室内の場合) 出口吹出し風速1m/sec以下の位置 測定6 処理作業室外 施工区画周辺(救地境界) (計 点)	・ グラスウール保温材 ※ 24K品 ※ 100 JIS表示認証製品 ※ グラスウール使用部分の室内側防湿シート ※ 被覆品 ・ 防湿層ポリエチレンフィルム(t0.15)張り (重ね100)	2. 可動間仕切(パーティション) 3. 移動間仕切(スライディングドア) 4. トイレブース 5. 階段滑り止め(ノンスリップ) 6. 床目地棒 7. 鏡 8. 表示 9. 点検口 10. 視覚障害者用誘導ブロック
	1. スリットの種類 2. スリットの充填材 3. 連続繊維シート	・ 完全スリット ・ 部分スリット 耐火材の使用 適用箇所 ※ 使用する ・ 使用しない 遮音材の使用 適用箇所 ※ 使用する ・ 使用しない	(8.25.1) (8.25.2)	測定方法 ・ 自動測定器による測定 測定名称 測定方法 ・ 測定4 粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器(リアルタイムファイバーモニター)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定 ・ 測定5	1. コンクリートブロック帳壁及びび ブロックの種類 ※ 空洞ブロック C(16) (8.3.2)(表8.3.1)	構造形式による種類 スタッド式(内蔵) 構成基材 ・ アルミニウム合金系 ・ スチール系 パネル表面材 焼付塗装鋼板(標準色) t=0.5以上 遮音性 3.6dB/500Hz以上 防火性能 不燃
	1. 埋戻し及び盛土 2. 建設発生土の処理 3. 山留めの撤去 4. 砂利地業 5. 捨コンクリート地業 6. 床下防湿層	埋戻し及び盛土 ・ A種 適用場所() ・ B種 適用場所() ・ C種 適用場所() 土質() ・ D種 受渡場所() ・ D種 適用場所() ・ 構外に搬出し適切に処理する。 ・ 構外指示の場所に搬出する。 ・ 受入れ施設名・住所(km) ・ 構内指示の場所に敷きならす。 ・ 構内指示の場所にたい積する。 鋼矢板等の抜き後の処理 ※ 直ちに砂で充填する 山留めの存置 ・ 行う (存置範囲 ※ 図示()) 材料 ※ 再生クラッシュラン ・ 切込み砂利又は切込み砕石 厚さ及び適用範囲 厚さ ※ 60 適用箇所 ・ 基礎スラブ下 ・ 基礎梁下 ・ 土間コンクリート下 ・ 土に接するスラブ下 厚さ及び適用範囲 (8.2.15)(8.28.4) 厚さ ※ 50 適用箇所 ・ 基礎スラブ下 ・ 基礎梁下 ・ 土間コンクリート下 ・ 土に接するスラブ下 材料 ・ ※ ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上 施工範囲 ・ 図示()	(8.28.3) (8.28.3) (8.28.3) (8.2.15)(8.28.4) (8.2.15)(8.28.4) (4.6.2) (4.6.5)	測定7 処理作業後(シート養生中) 処理作業室内 ・ 計 点 測定8 処理作業後シート 処理作業室内 ・ 計 点 測定9 撤去後1週間以降 調査対象室外部の付近 ・ 計 点 測定方法 ・ 自動測定器による測定 測定名称 測定方法 ・ 測定4 粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器(リアルタイムファイバーモニター)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定 ・ 測定5	1. 再生材 ※ 使用する ・ 使用しない (22.1.3) 2. 盛土材料 路床の盛土材料 ・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ D種 (22.2.3) 3. フィルター層及び凍上抑制層用材料 フィルター層 ※ 砂 凍上抑制層 ※ 再生クラッシュラン (22.2.2)(22.2.3)(表22.2.1) 4. 路床安定処理 路床安定処理添加材料 ※ 普通ポルトランドセメント ・ 高炉セメントB種 ※ フライアッシュセメントB種 ・ 生石灰(・特号・1号) ・ 消石灰(・特号・1号) 5. 砂の粒度試験 ※ 行わない ・ 行う (22.2.3) 6. 路床土の支持力比(OBR)試験 ※ 行わない ・ 行う(※ 乱した土 ・ 乱さない土) (22.2.5) 7. 路床の締固め度の試験 ・ 行わない ※ 行う(箇所:埋戻し及び盛土部) (22.2.5) 8. 路盤材料 ※ 再生クラッシュラン RC-40 (22.3.3)(表22.3.1) (透水性舗装の場合を除く) ・ クラッシュラン C-40 ・ クラッシュランスラグ CS-40 9. 路盤の締固め度の試験 ※ 行う (22.3.5) 10. アスファルト舗装 加熱アスファルト混合物の種類 (22.4.2)(22.4.4)(表22.4.4) 表層 ※ 再生密粒度アスファルト混合物(13) ・ 密粒度アスファルト混合物(13) ・ 細粒度アスファルト混合物(13) 基層 ※ 再生粗粒度アスファルト混合物(20) ・ 粗粒度アスファルト混合物(20) 舗装の厚さは図示による 舗装の平坦性は、通行の支障となる水たまりを生じない程度とする アスファルト混合物等の抽出試験 ※ 行わない ・ 行う (22.4.6)	
	1. 石綿含有建材の除去修繕	施工調査 ※ 石綿含有建材の事前調査 修繕着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等によって石綿を含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査する。 調査範囲() 図示() 貸与資料() ・ 分析による石綿含有建材の調査 分析対象 アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソライト、クロシドライト、トレモライト ※ 調査報告書有 分析方法 定性分析方法 JIS A 1481 または JIS A 1481-2 定量分析方法 JIS A 1481-3 または JIS A 1481-4 材料名 ・ 箇所 ・ 箇所 ・ 箇所 ・ 箇所 サンプル数 1箇所あたり3サンプル 採取箇所 図示	(9.1.1, 3~5)	断熱材の打込み及び現場発泡工法 (19.9.2)(19.9.3) 種類 箇所 厚さ(mm) 備考 ・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材 ※ A種ビーズ法 2種b ※ 25 JIS A 9521のJIS表示認証製品 ※ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材(A種) ・ 2種b ・ 3種b (下記以外 接地面部分及び屋根防水部分ビット内部) ※ 25 ・ 硬質ウレタンフォーム断熱材 ・ フェノールフォーム断熱材 ・ 吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材 ※ A種1H ※ 30 JIS A 9526による難燃性・2級 ※ 3級	1. フリーアクセスフロア (20.2.2) 施工場所 工法 仕上高(mm) 適用地震時水平力(Ks) 耐衝撃性能(N) 表面仕上げ ・ 溝工法(置敷工法) ・ 1.0G ・ 3,000 ・ 帯電防止床タイル ・ ※ 0.6G ・ 5,000 ・ 支柱一体型パネル工法(置敷工法) ・ 支柱分離型パネル工法(支柱調整式工法)	断熱材の打込み及び現場発泡工法 (19.9.2)(19.9.3) 種類 箇所 厚さ(mm) 備考 ・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材 ※ A種ビーズ法 2種b ※ 25 JIS A 9521のJIS表示認証製品 ※ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材(A種) ・ 2種b ・ 3種b (下記以外 接地面部分及び屋根防水部分ビット内部) ※ 25 ・ 硬質ウレタンフォーム断熱材 ・ フェノールフォーム断熱材 ・ 吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材 ※ A種1H ※ 30 JIS A 9526による難燃性・2級 ※ 3級
	1. 石綿含有建材の除去修繕	厚さ及び適用範囲 (8.2.15)(8.28.4) 厚さ ※ 60 適用箇所 ・ 基礎スラブ下 ・ 基礎梁下 ・ 土間コンクリート下 ・ 土に接するスラブ下 厚さ及び適用範囲 (8.2.15)(8.28.4) 厚さ ※ 50 適用箇所 ・ 基礎スラブ下 ・ 基礎梁下 ・ 土間コンクリート下 ・ 土に接するスラブ下 材料 ・ ※ ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上 施工範囲 ・ 図示()	(8.2.15)(8.28.4) (8.2.15)(8.28.4)	石綿含有建材除去後の仕上げ修繕 図示 石綿含有建材等調査結果(設計業務委託時) 調査日令和5年7月19日 試料No. 調査試料名称 調査箇所 石綿の有無 石綿等の種類 1 外壁アクリルリシン 外壁 無 2 シーリング材 サッシ廻り PCB分析の要否 不要	11. コンクリート舗装 早強ポルトランドセメント 使用する ※ 使用しない (22.5.3) 溶接金網 ※ あり ・ なし 12. カラー舗装 種類 部位 厚さ(mm) 加熱系 ※ アスファルト混合物 ・ 車道部 ・ 歩道部 図示による ・ 石油樹脂系混合物 ・ 車道部 ・ 歩道部 ・ ニート工法 ・ 車道部 ・ 歩道部 3~5 常温系 ・ 塗布工法 ・ 車道部 ・ 歩道部 1程度以下 着色資材・自然石() (22.6.3) 13. 透水性アスファルト舗装 構成 ・ 図示 (22.7.2)(22.7.6) 開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ※ 行わない ・ 行う 舗装の平坦性は著しい陸がないものとする 14. ブロック系舗装 ・ インターロッキングブロック舗装 (22.8.2)(22.8.4)(表22.8.1) ・ コンクリート平板舗装 ※ 砂目地 ・ モルタル目地 ・ 舗石舗装基層 ※ コンクリート版 ・ アスファルト混合物 15. 砂利敷き ※ A種(通路) ※ B種(建物周囲その他) (22.9.2) 16. 区画線 ※ JIS K 5665 3種1号	
	1. 石綿含有建材の除去修繕	厚さ及び適用範囲 (8.2.15)(8.28.4) 厚さ ※ 60 適用箇所 ・ 基礎スラブ下 ・ 基礎梁下 ・ 土間コンクリート下 ・ 土に接するスラブ下 厚さ及び適用範囲 (8.2.15)(8.28.4) 厚さ ※ 50 適用箇所 ・ 基礎スラブ下 ・ 基礎梁下 ・ 土間コンクリート下 ・ 土に接するスラブ下 材料 ・ ※ ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上 施工範囲 ・ 図示()	(8.2.15)(8.28.4) (8.2.15)(8.28.4)	断熱材の打込み及び現場発泡工法 (19.9.2)(19.9.3) 種類 箇所 厚さ(mm) 備考 ・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材 ※ A種ビーズ法 2種b ※ 25 JIS A 9521のJIS表示認証製品 ※ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材(A種) ・ 2種b ・ 3種b (下記以外 接地面部分及び屋根防水部分ビット内部) ※ 25 ・ 硬質ウレタンフォーム断熱材 ・ フェノールフォーム断熱材 ・ 吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材 ※ A種1H ※ 30 JIS A 9526による難燃性・2級 ※ 3級	11. コンクリート舗装 早強ポルトランドセメント 使用する ※ 使用しない (22.5.3) 溶接金網 ※ あり ・ なし 12. カラー舗装 種類 部位 厚さ(mm) 加熱系 ※ アスファルト混合物 ・ 車道部 ・ 歩道部 図示による ・ 石油樹脂系混合物 ・ 車道部 ・ 歩道部 ・ ニート工法 ・ 車道部 ・ 歩道部 3~5 常温系 ・ 塗布工法 ・ 車道部 ・ 歩道部 1程度以下 着色資材・自然石() (22.6.3) 13. 透水性アスファルト舗装 構成 ・ 図示 (22.7.2)(22.7.6) 開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ※ 行わない ・ 行う 舗装の平坦性は著しい陸がないものとする 14. ブロック系舗装 ・ インターロッキングブロック舗装 (22.8.2)(22.8.4)(表22.8.1) ・ コンクリート平板舗装 ※ 砂目地 ・ モルタル目地 ・ 舗石舗装基層 ※ コンクリート版 ・ アスファルト混合物 15. 砂利敷き ※ A種(通路) ※ B種(建物周囲その他) (22.9.2) 16. 区画線 ※ JIS K 5665 3種1号	
	1. 石綿含有建材の除去修繕	厚さ及び適用範囲 (8.2.15)(8.28.4) 厚さ ※ 60 適用箇所 ・ 基礎スラブ下 ・ 基礎梁下 ・ 土間コンクリート下 ・ 土に接するスラブ下 厚さ及び適用範囲 (8.2.15)(8.28.4) 厚さ ※ 50 適用箇所 ・ 基礎スラブ下 ・ 基礎梁下 ・ 土間コンクリート下 ・ 土に接するスラブ下 材料 ・ ※ ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上 施工範囲 ・ 図示()	(8.2.15)(8.28.4) (8.2.15)(8.28.4)	断熱材の打込み及び現場発泡工法 (19.9.2)(19.9.3) 種類 箇所 厚さ(mm) 備考 ・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材 ※ A種ビーズ法 2種b ※ 25 JIS A 9521のJIS表示認証製品 ※ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材(A種) ・ 2種b ・ 3種b (下記以外 接地面部分及び屋根防水部分ビット内部) ※ 25 ・ 硬質ウレタンフォーム断熱材 ・ フェノールフォーム断熱材 ・ 吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材 ※ A種1H ※ 30 JIS A 9526による難燃性・2級 ※ 3級	11. コンクリート舗装 早強ポルトランドセメント 使用する ※ 使用しない (22.5.3) 溶接金網 ※ あり ・ なし 12. カラー舗装 種類 部位 厚さ(mm) 加熱系 ※ アスファルト混合物 ・ 車道部 ・ 歩道部 図示による ・ 石油樹脂系混合物 ・ 車道部 ・ 歩道部 ・ ニート工法 ・ 車道部 ・ 歩道部 3~5 常温系 ・ 塗布工法 ・ 車道部 ・ 歩道部 1程度以下 着色資材・自然石() (22.6.3) 13. 透水性アスファルト舗装 構成 ・ 図示 (22.7.2)(22.7.6) 開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ※ 行わない ・ 行う 舗装の平坦性は著しい陸がないものとする 14. ブロック系舗装 ・ インターロッキングブロック舗装 (22.8.2)(22.8.4)(表22.8.1) ・ コンクリート平板舗装 ※ 砂目地 ・ モルタル目地 ・ 舗石舗装基層 ※ コンクリート版 ・ アスファルト混合物 15. 砂利敷き ※ A種(通路) ※ B種(建物周囲その他) (22.9.2) 16. 区画線 ※ JIS K 5665 3種1号	



令和7年度盛岡市立津志田小学校校舎安全対策（外壁・屋根等）修繕  1級建築士事務所 岩手県知事登録第7(2705)384号 (有) 白浜建築設計事務所 1級建築士建設大臣登録第140869号 代表取締役 白濱 成明 岩手県盛岡市浅草1丁目12番12号 電話 0196-22-5888	校図 製図 計画 監考	1級建築士 岩手県知事登録第140869号	作図年月日 訂正年月日	図面内容 附近見取図・配置図 仮設計画図	縮尺 A1: 1/500 A3: 1/1000	図面番号 A-06 校の内 区分 意匠図
	校図 製図 計画 監考	1級建築士 岩手県知事登録第140869号	作図年月日 訂正年月日	図面内容 附近見取図・配置図 仮設計画図	縮尺 A1: 1/500 A3: 1/1000	図面番号 A-06 校の内 区分 意匠図

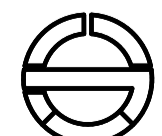


水飲み部底 (C)

- ・高圧洗浄
- ・凹凸部立上り用ウレタン樹脂しごき塗り
- ・平部：ウレタン塗膜防水 厚2、立上り：ウレタン塗膜防水 厚2

シーリング改修

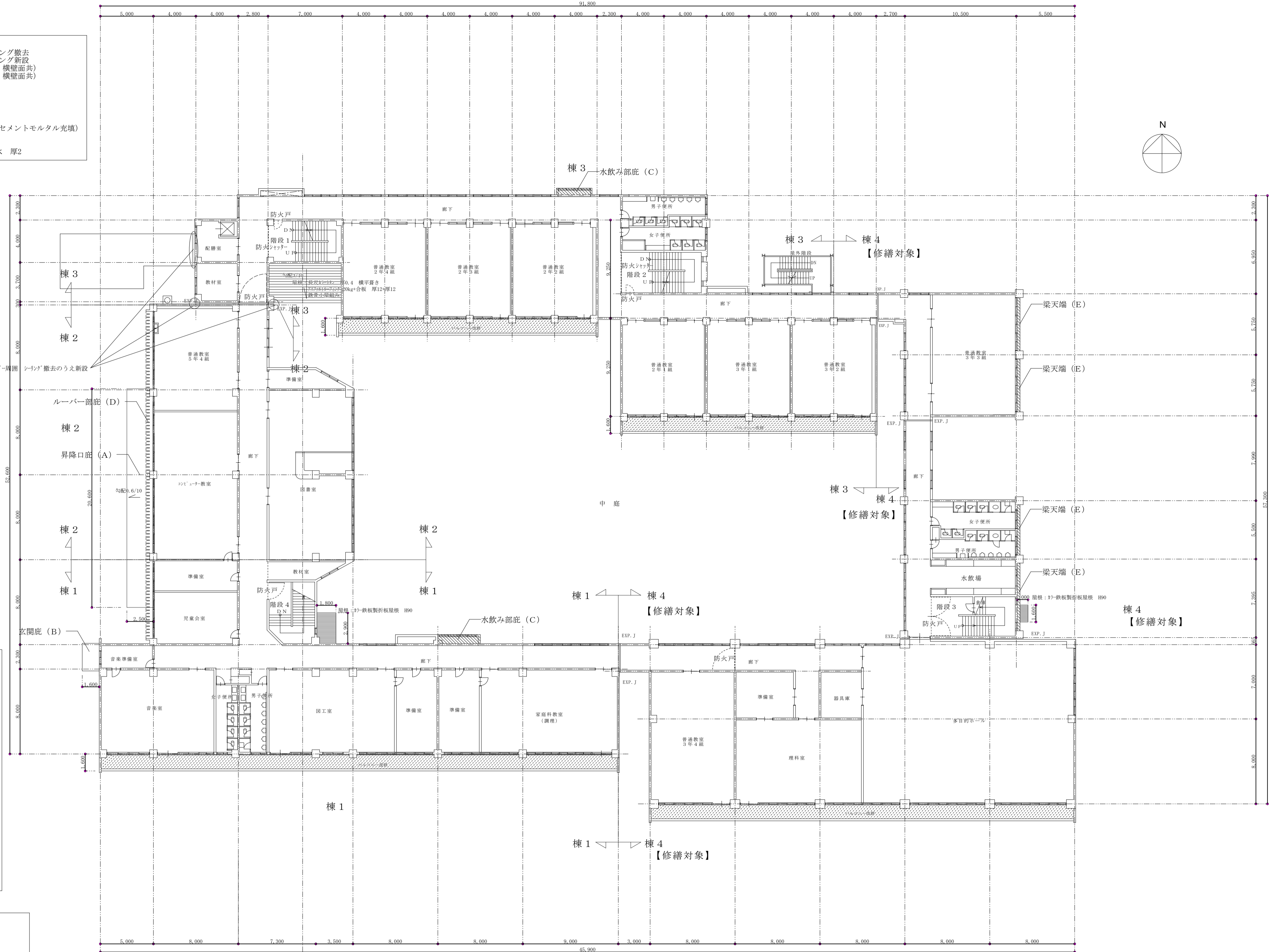
- ・既存鋼製建具周囲シーリング（水切り部共）撤去、打継目地シーリング撤去
- ・既存鋼製建具周囲シーリング（水切り部共）新設、打継目地シーリング新設
- ・バルコニー打継目地シーリング撤去（棟4のみバルコニー手摺壁面、横壁面共）
- ・バルコニー打継目地シーリング新設（棟4のみバルコニー手摺壁面、横壁面共）
- ・打継目地撤去のうえ新設（棟4のみ、棟1～3はバルコニー部外壁のみ）
- ・EXP、J3a-7周囲 シーリング撤去のうえ新設（棟2、3のみ）

令和7年度盛岡市立志田小学校校舎安全対策（外壁・屋根等）修繕	 1級建築士事務所 白浜建設設計事務所 1級建築士 代表取締役 白濱 成明 岩手県盛岡市浅野町1丁目12番12号 電話 0196-54-7900(代表)	設計	監理	計画	備考	作成年月日 R.11	図面内容 1階平面図	縮尺 A1: 1/200 A3: 1/400	→ 図面番号 A-01	校の内
		白浜 博之 1級建築士 事務所 40889号				訂正年月日	区分 意匠図			

- シーリング改修**
- ・既存鋼製建具周囲シーリング（水切り部共）撤去、打継目地シーリング撤去
 - ・既存鋼製建具周囲シーリング（水切り部共）新設、打継目地シーリング新設
 - ・バルコニー打継目地シーリング撤去（棟4のみバルコニー手摺壁面、横壁面共）
 - ・バルコニー打継目地シーリング新設（棟4のみバルコニー手摺壁面、横壁面共）
 - ・打継目地撤去のうえ新設（棟4のみ、棟1～3はバルコニー部外壁のみ）
 - ・EXP. J18へ周囲シーリング撤去のうえ新設（棟2,3のみ）
- バルコニー改修**
- ・高圧洗浄
 - ・クレンク 浮き処理（無機質型注入補修 一材型）
 - ・欠損部等処理（脆弱コンクリートはつり撤去、防錆処理、ポリマーセメントモルタル充填）
 - ・高圧洗浄
 - ・凹凸部立上り用ウレタン樹脂しごき塗り
 - ・平部：ウレタン塗膜防水 厚2（防滑）、立上り：ウレタン塗膜防水 厚2

- 昇降口底 (A)**
- ・高圧洗浄
 - ・下地調整材C-1吹付
 - ・凹凸部立上り用ウレタン樹脂しごき塗り
 - ・平部：ウレタン塗膜防水 厚2、見付面：ウレタン塗膜防水 厚2
- 玄関底 (B)**
- ・高圧洗浄
 - ・下地調整材C-1吹付
 - ・凹凸部立上り用ウレタン樹脂しごき塗り
 - ・平部：ウレタン塗膜防水 厚2、見付面：ウレタン塗膜防水 厚2
- 水飲み部底 (C)**
- ・高圧洗浄
 - ・凹凸部立上り用ウレタン樹脂しごき塗り
 - ・平部：ウレタン塗膜防水 厚2、立上り：ウレタン塗膜防水 厚2
- ルーバー部底 (D)**
- ・高圧洗浄
 - ・凹凸部立上り用ウレタン樹脂しごき塗り
 - ・平部：ウレタン塗膜防水 厚2、立上り：ウレタン塗膜防水 厚2
- 梁天端 (E)**
- ・高圧洗浄
 - ・凹凸部立上り用ウレタン樹脂しごき塗り
 - ・平部：ウレタン塗膜防水 厚2、立上り：ウレタン塗膜防水 厚2

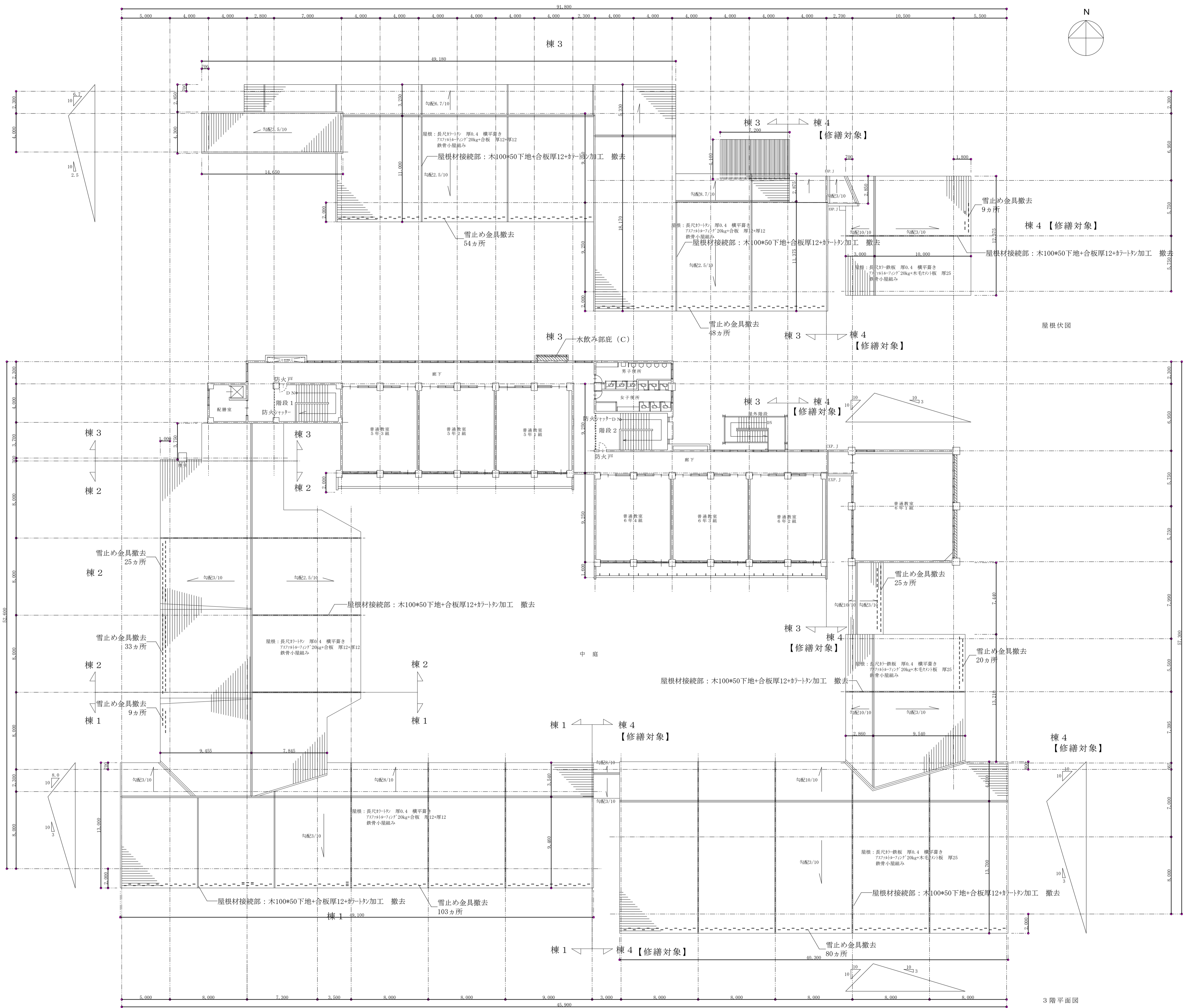
- 屋根改修**
- 既存屋根：長尺ケートン 厚0.4 横段葺き
 ア7フタ+フタ 20kg+合板 厚12+厚12
 鉄骨小屋組み+母屋C-100*50*20*2, 36600
- 改修屋根：既存屋根+定尺横段葺き（ダツツキハゼ工法）W240 おへ工法
 カラーガルバリウム鋼板t0.4 耐風圧性能（静圧）：4900Pa
- 各所取り合い部は詳細図参照
- 既存屋外階段屋根：鉄板折板 H166
 改修屋外階段屋根：高圧洗浄のうえSOP



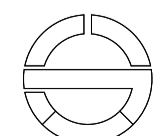
棟号	製図	計画	備考
棟1	岩手県知事登録第40889号		
棟2			
棟3			
棟4			

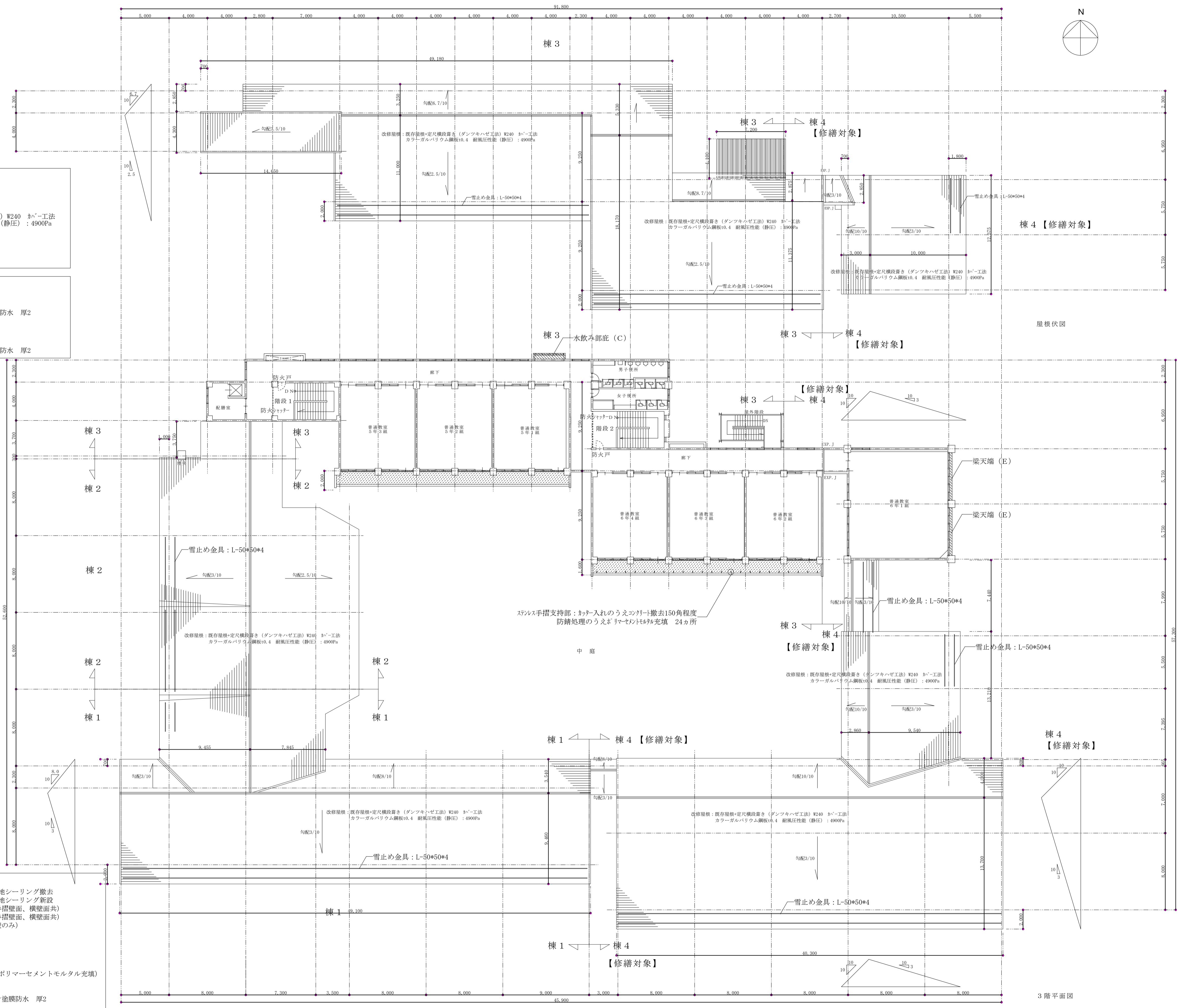
作成年月日	2025.11	図面内容	2階平面図
訂正年月日			

縮尺	A1: 1/200 A3: 1/400	図面番号	A-08
区分	意匠図	枚の内	枚の内



3階平面図

令和7年度盛岡市立津志田小学校校舎安全対策（外壁・屋根等）修繕	 1級建築士事務所 岩手県知事登録第7(2705)384号 (有)白浜建築設計事務所 1級建築士 建設大臣登録第40889号 代表取締役 白濱 成樹 岩手県盛岡市浅草1丁目12番12号 電話 0196-58-7800 0196-58-7801	棟図	製図	計画	備考	作成年月日	図面内容	縮尺	寸法番号	図面番号
		岩手県知事登録第7(2705)384号 1級建築士事務所 建設大臣登録第40889号 代表取締役 白濱 成樹 岩手県盛岡市浅草1丁目12番12号	製図 岩手県知事登録第7(2705)384号 1級建築士事務所				R.11 訂正年月日	3階平面図・屋根伏図(既存)	A1: 1/200 A3: 1/400	A-09 枚の内



屋根改修

既存屋根：長尺7-トシ 厚0.4 横段葺き
 アスファルトフィッシュ 20kg+合板 厚12+厚12
 鉄骨小屋組み+母屋C-100*50*20*2.386000

改修屋根：既存屋根+定尺横段葺き（ダンツキハゼ工法）W240 ｶﾞｰ工法
 カラーガルバリウム鋼板10.4 耐風圧性能（静圧）：4900Pa

各所取り合い部は詳細図参照

既存屋外階段屋根：ｶﾞｰ鉄板折板 H166

改修屋外階段屋根：高圧洗浄のうえSOP

水飲み部底 (C)

- ・高圧洗浄
- ・凹凸部立上り用ウレタン樹脂しごき塗り
- ・平部：ウレタン塗膜防水 厚2、立上り：ウレタン塗膜防水 厚2

梁天端 (E)

- ・高圧洗浄
- ・凹凸部立上り用ウレタン樹脂しごき塗り
- ・平部：ウレタン塗膜防水 厚2、立上り：ウレタン塗膜防水 厚2

シーリング改修

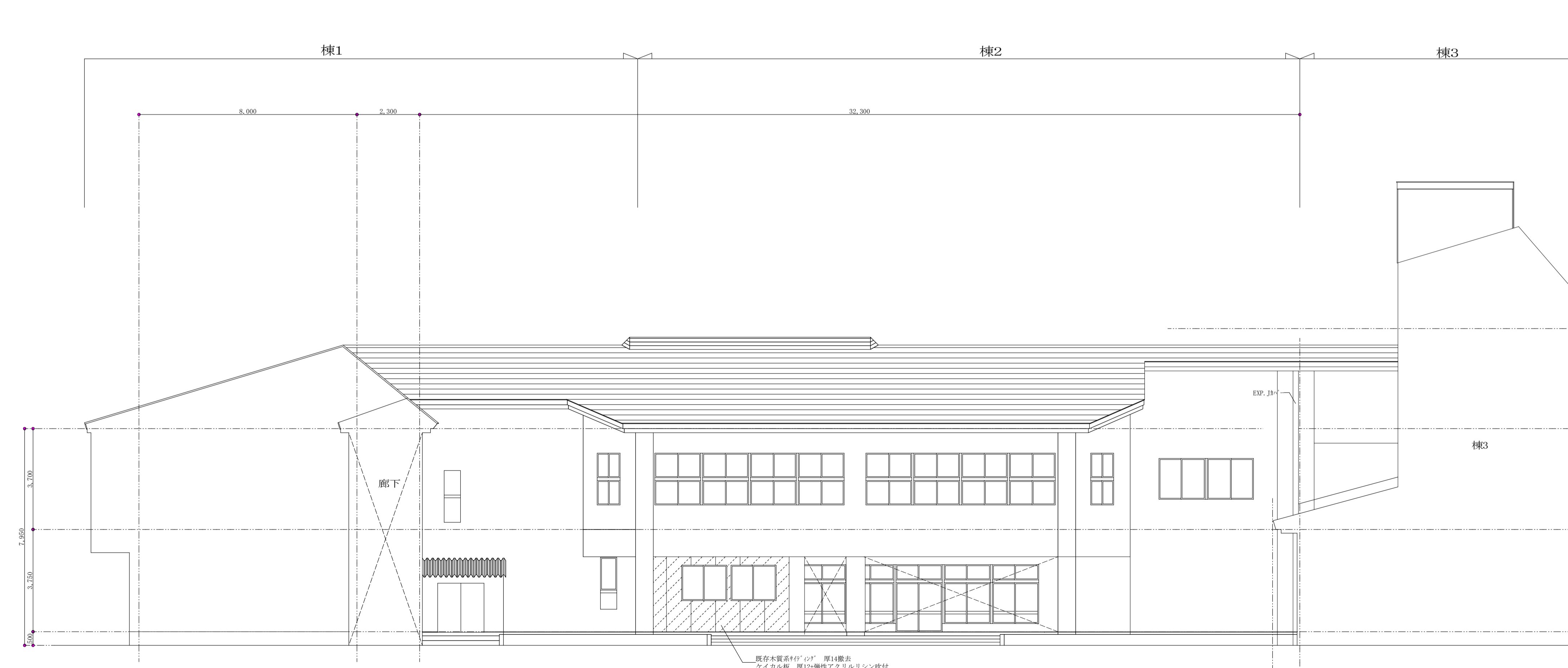
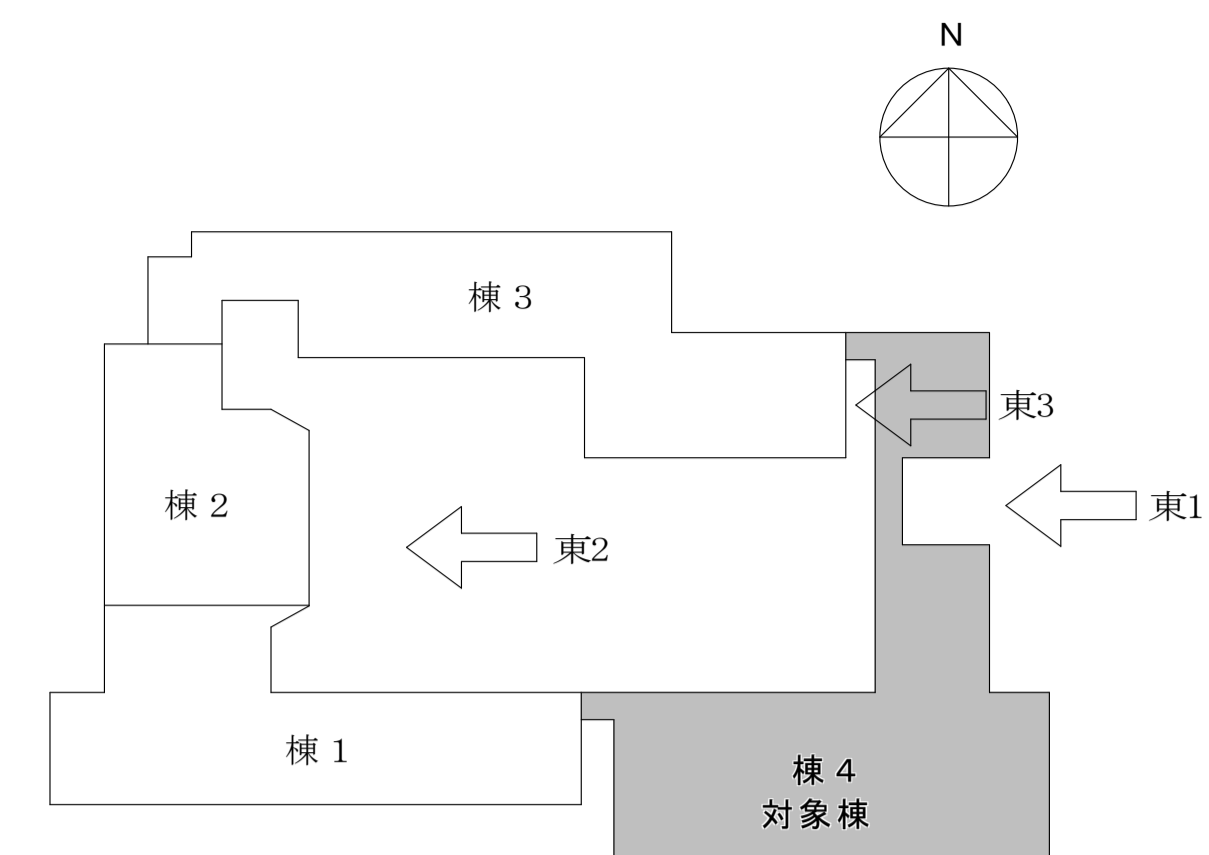
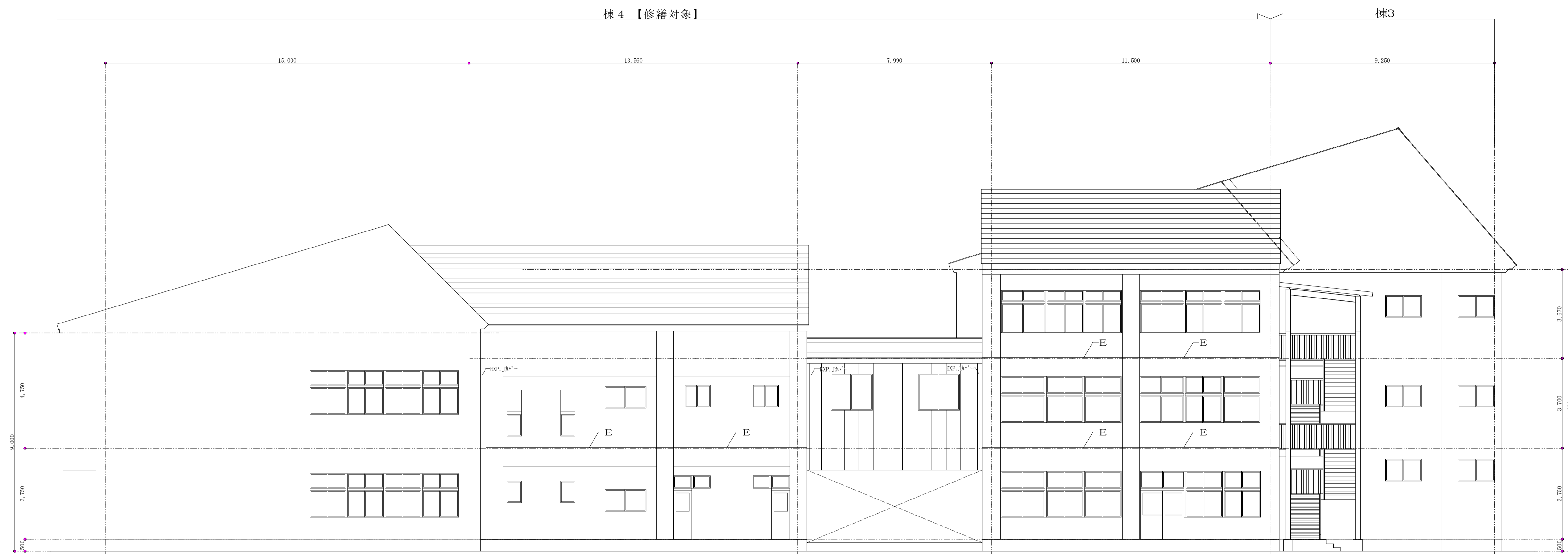
- ・既存鋼製建具周囲シーリング（水切り部共）撤去、打継目地シーリング撤去
- ・既存鋼製建具周囲シーリング（水切り部共）新設、打継目地シーリング新設
- ・バルコニー打継目地シーリング撤去（棟4のみバルコニー手摺壁面、横壁面共）
- ・バルコニー打継目地シーリング新設（棟4のみバルコニー手摺壁面、横壁面共）
- ・打継目地撤去のうえ新設（棟4のみ、棟1～3はﾊﾞﾙｺﾆｰ部外壁のみ）
- ・EXP.ｼｰﾘﾝｸﾞ周囲 シｰﾘﾝｸﾞ撤去のうえ新設（棟2,3のみ）

バルコニー改修

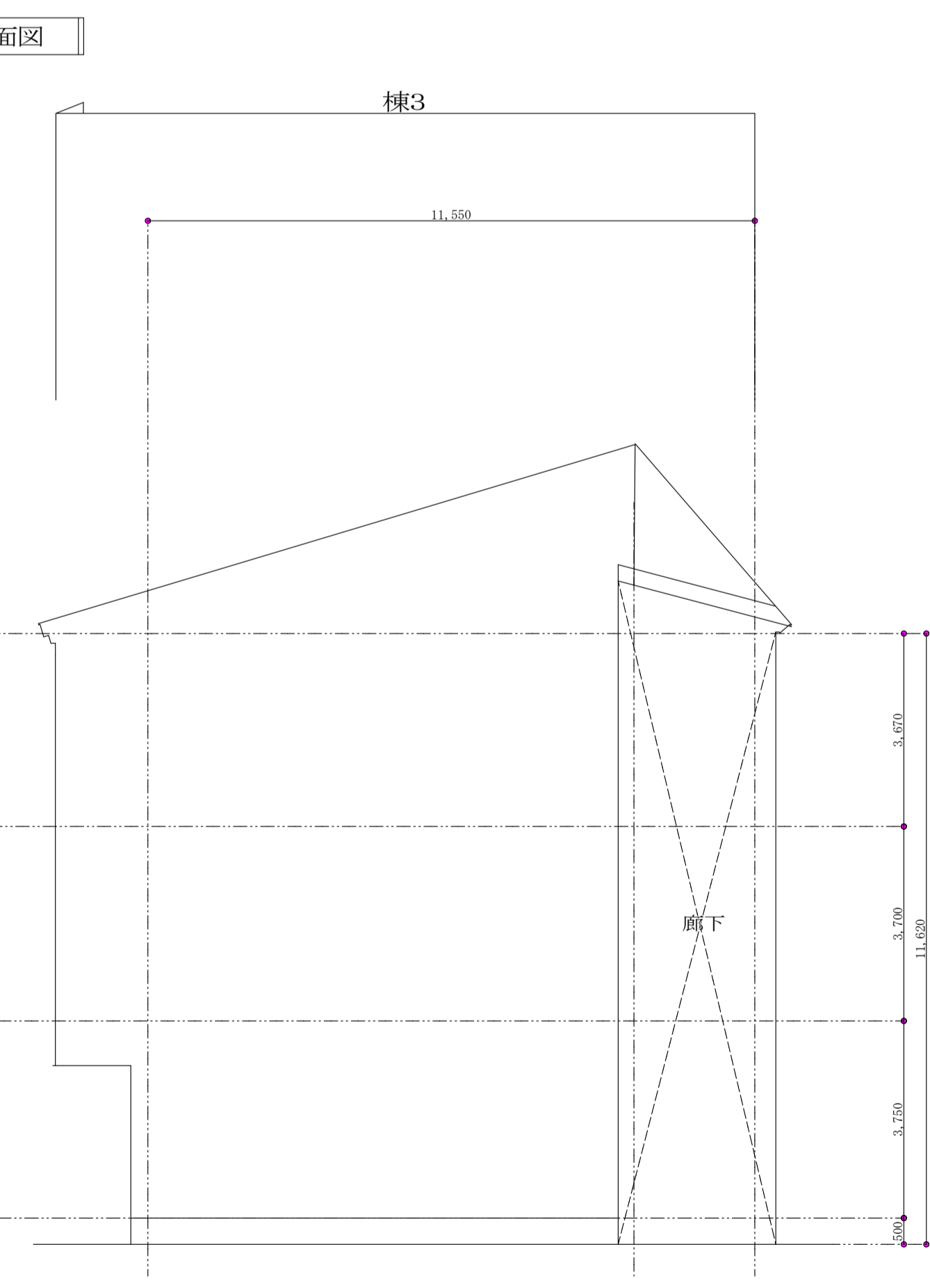
- ・高圧洗浄
- ・クラック、浮き処理（無機質型注入補修 一材型）
- ・欠損部等処理（脆弱コンクリートはつり撤去、防錆処理、ポリマーセメントモルタル充填）
- ・高圧洗浄
- ・凹凸部立上り用ウレタン樹脂しごき塗り
- ・平部：ウレタン塗膜防水 厚2（防滑）、立上り：ウレタン塗膜防水 厚2

棟図	製図	計画	備考
	豊崎 博之 1級建築士 No.7062号		

作成年月日 R.11	図面内容 3階平面図・屋根内図(改修)	縮尺 A1: 1/200 A3: 1/400	シート番号 A-10
訂正年月日			枚の内 1

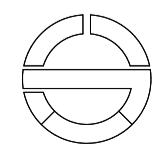


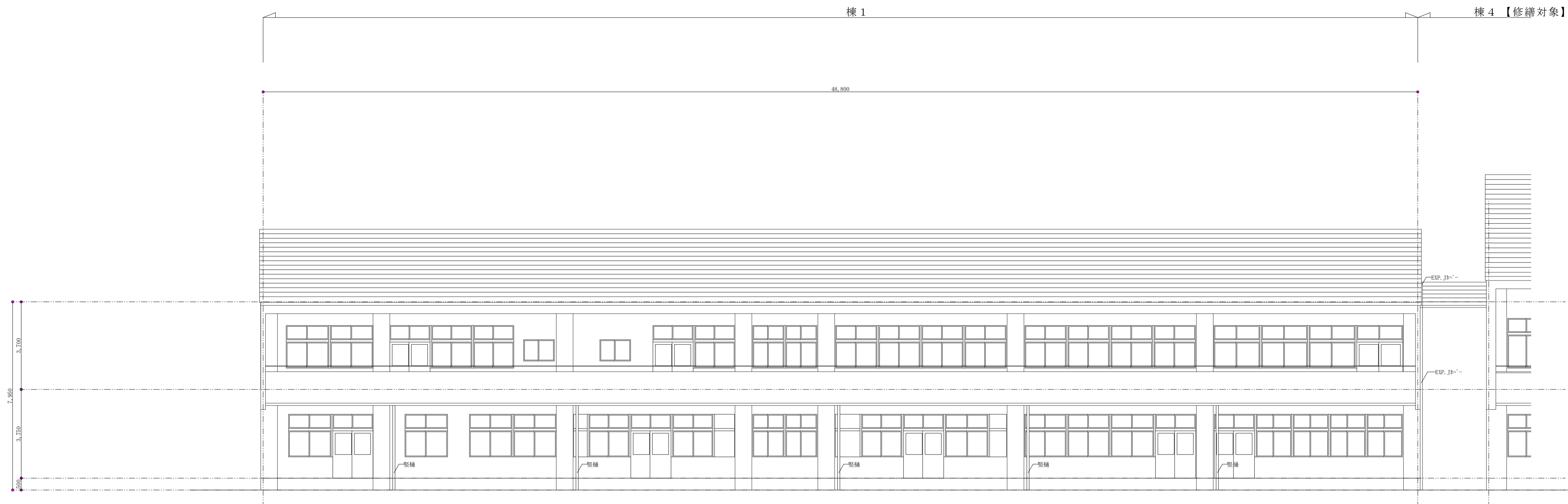
東1 立面図



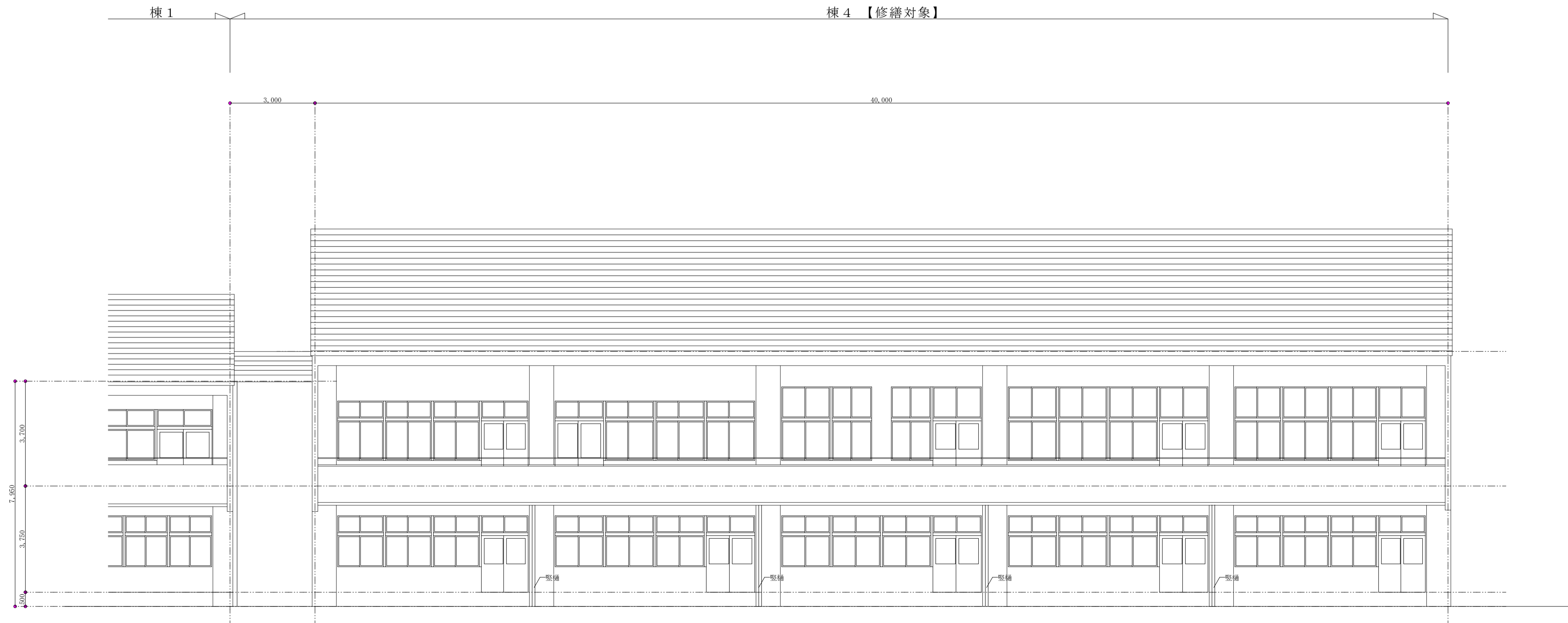
棟2 立面図

棟3 立面図

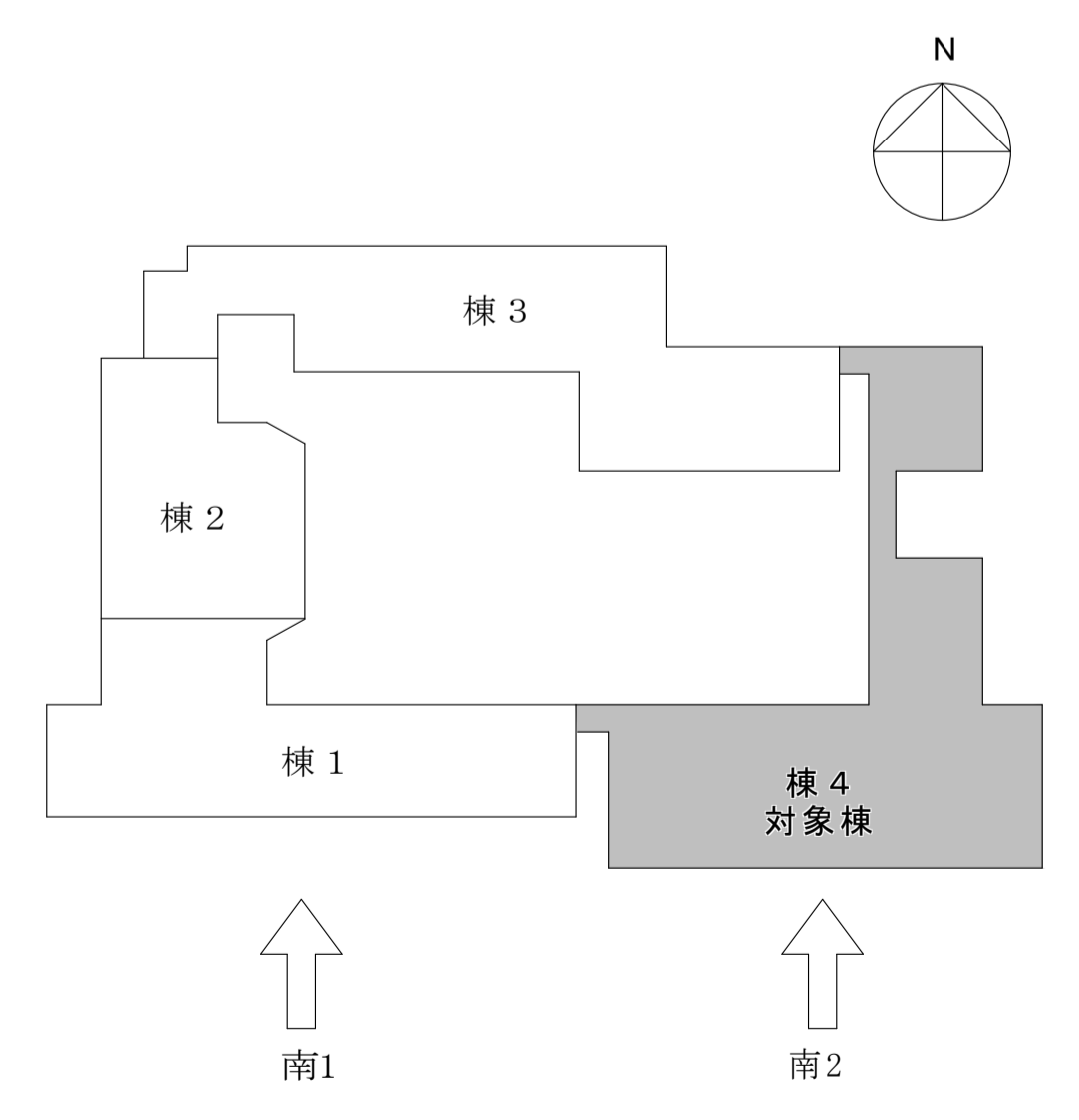
令和7年度盛岡市立津志田小学校校舎安全対策（外壁・屋根等）修繕	 1級建築士事務所岩手県知事登録第7(2705)384号 (有)白浜建築設計事務所 1級建築士建設大臣登録第140889号 代表取締役 白濱 成朋 岩手県盛岡市浅草1丁目12番12号 電話0196258-5909(6253)	棟図	製図	計画	備考	作成年月日 R.11	図面内容 立面図 - 1	縮尺 A1: 1/100 A3: 1/200	シート番号 区分 意匠図	図面番号 A-11 枚の内
		豊崎 博之 1級建築士 第070622号				訂正年月日				



南1 立面图

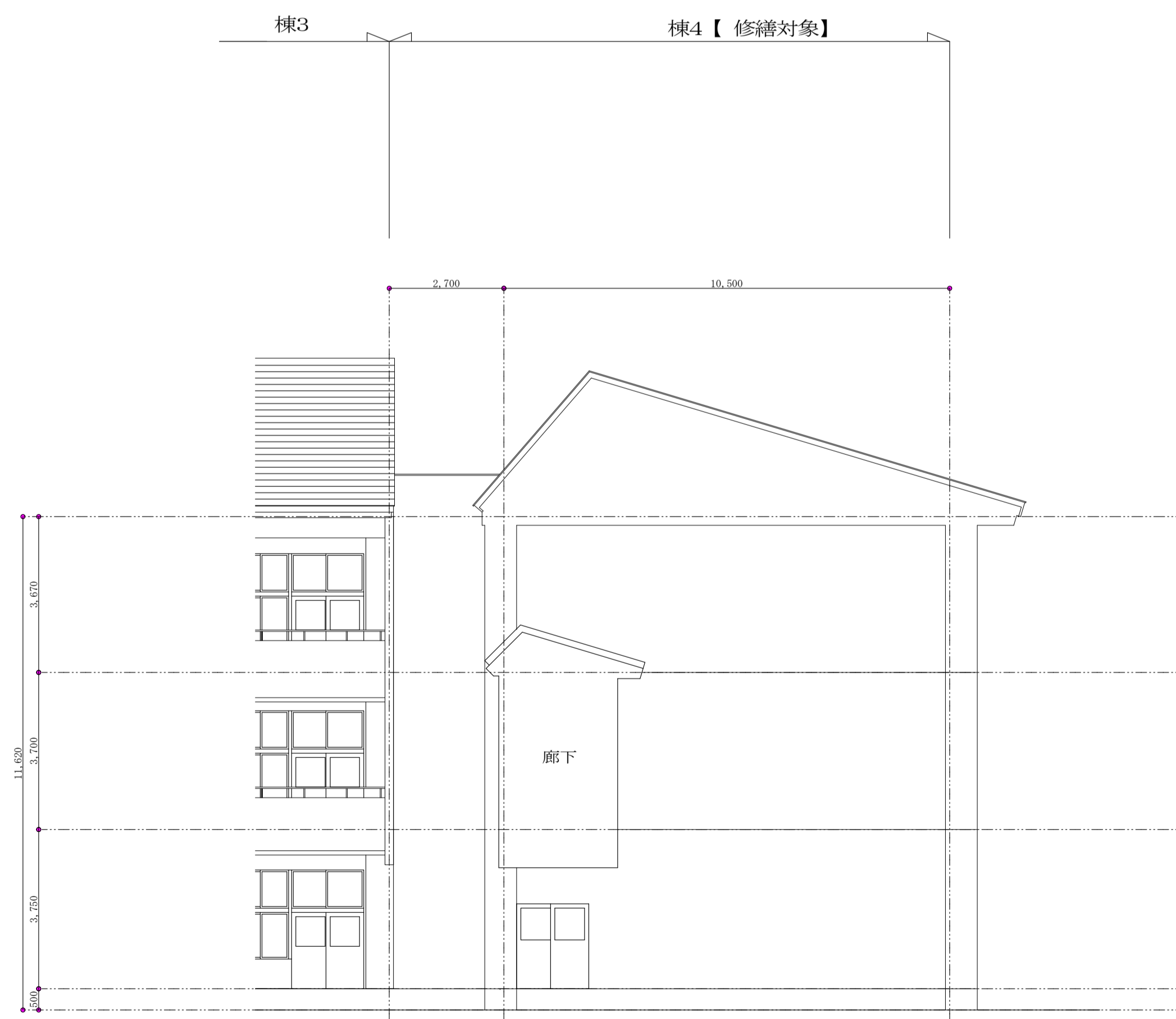


南2 立面图

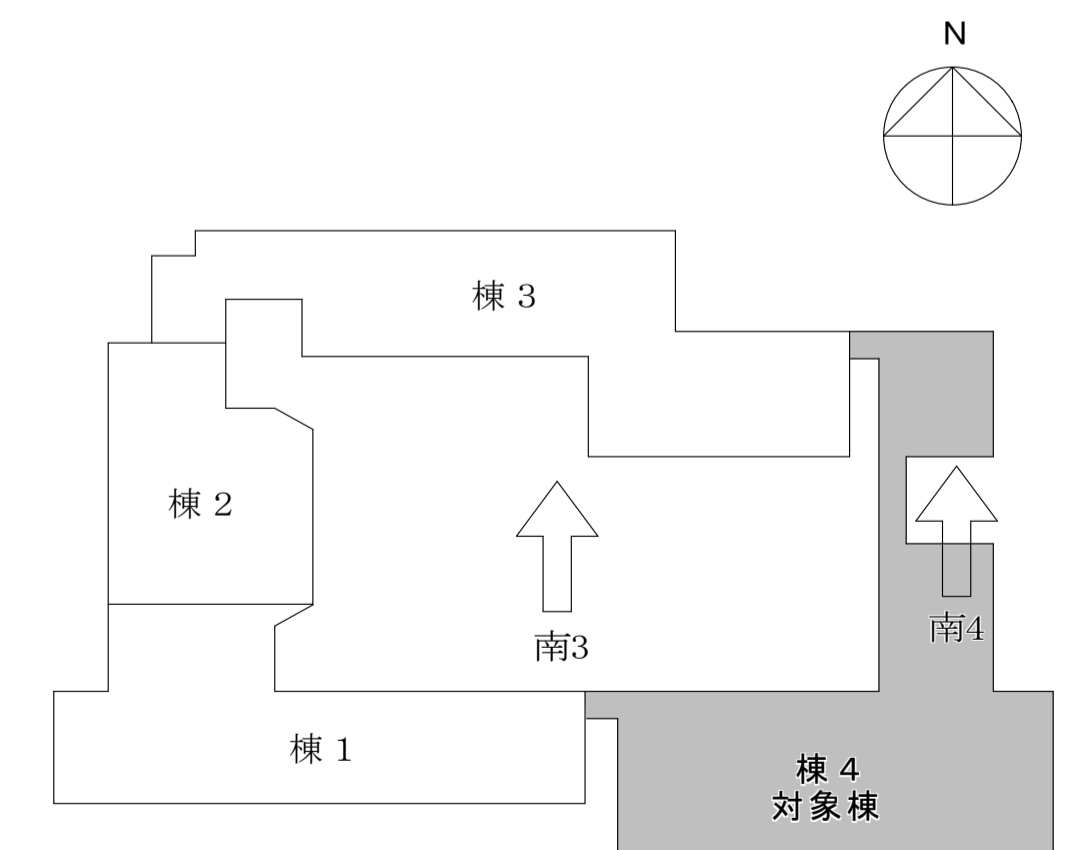


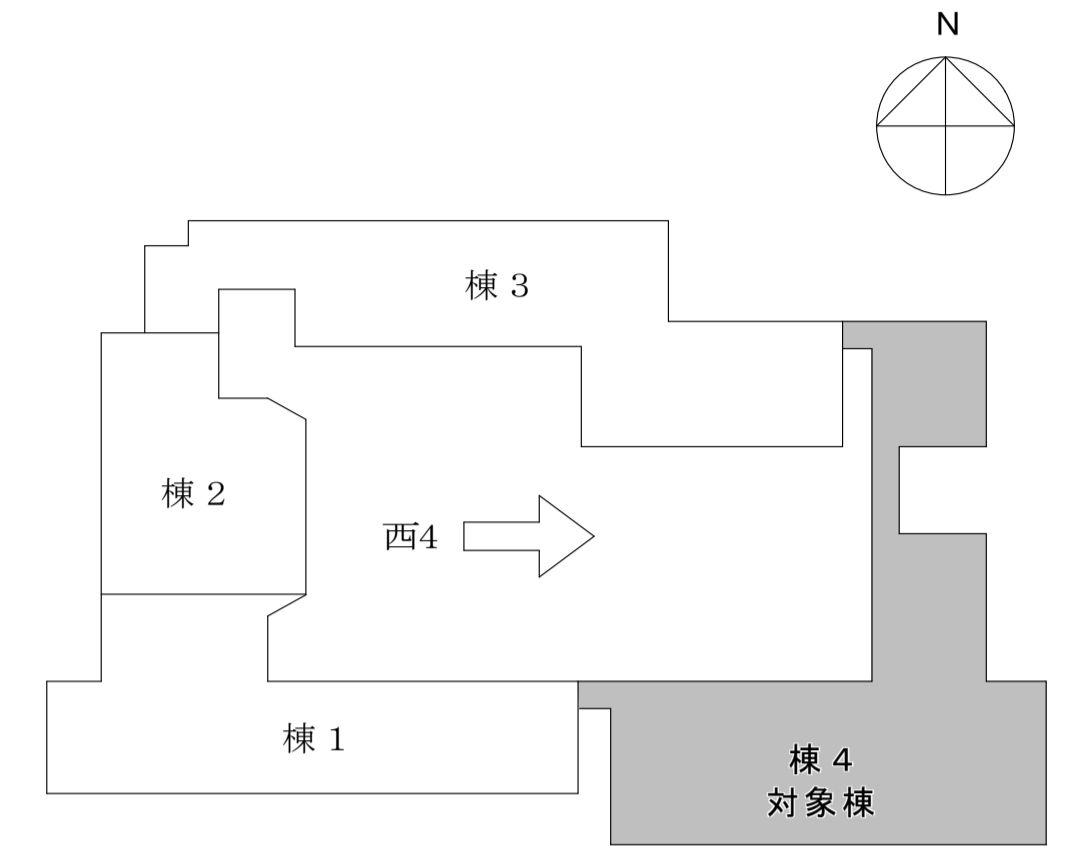
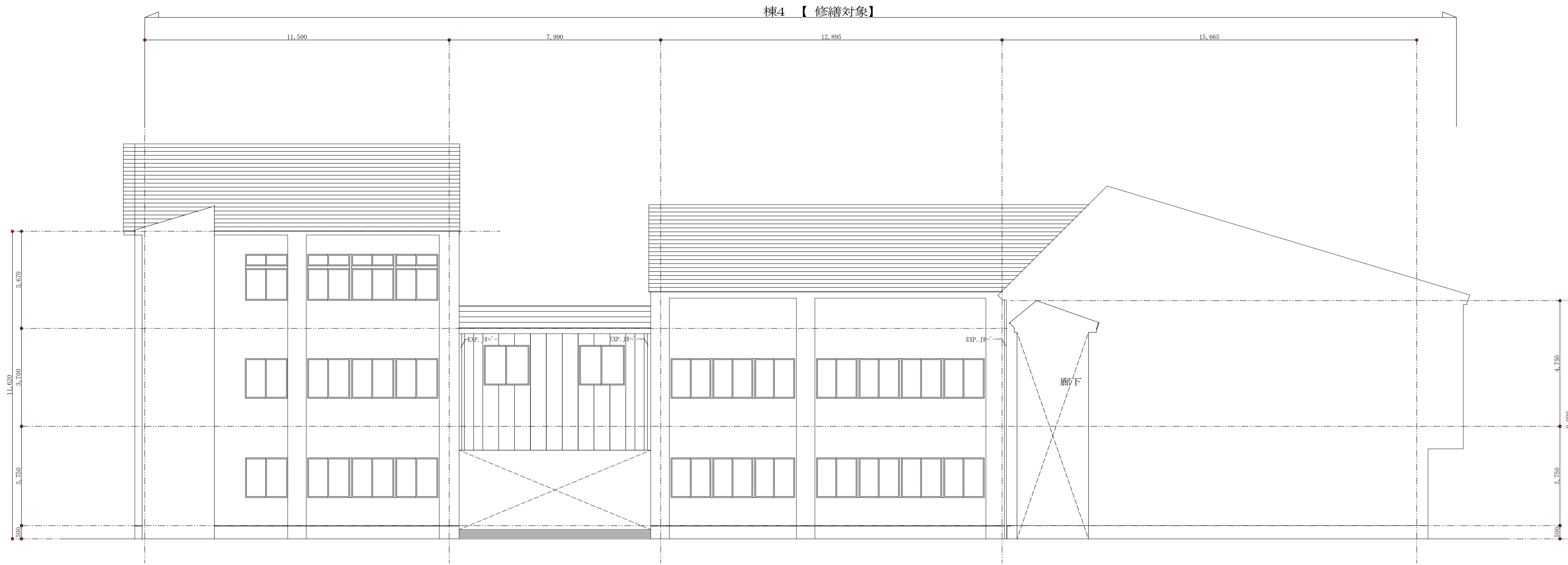


南3 立面图



南4 立面图



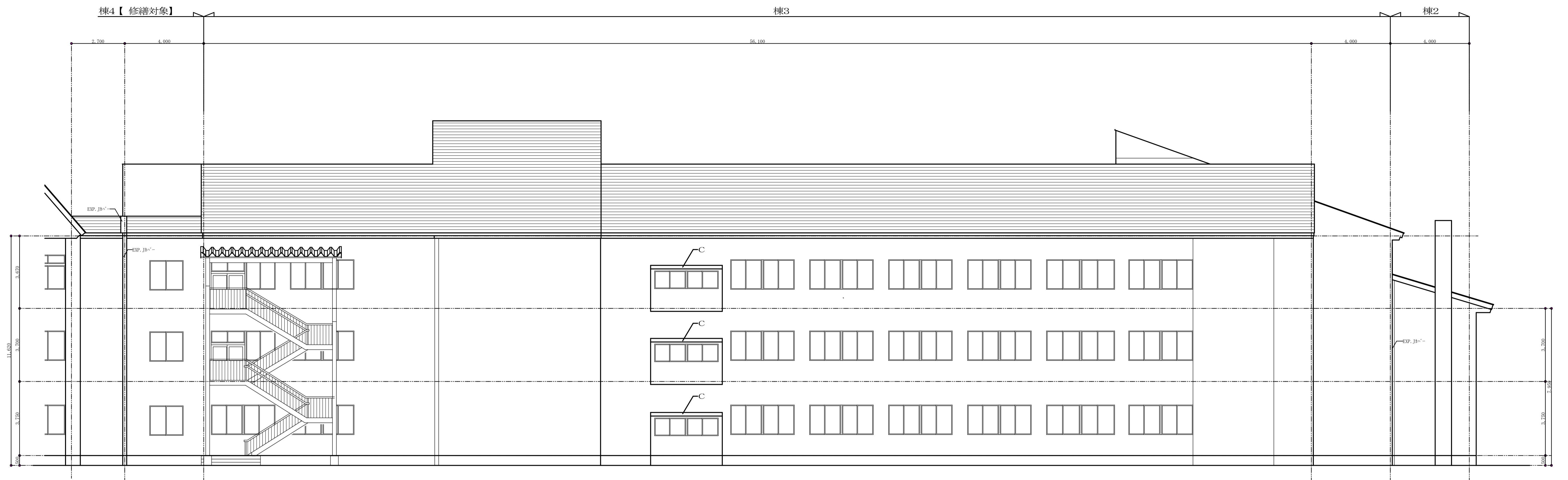


西4 立面図

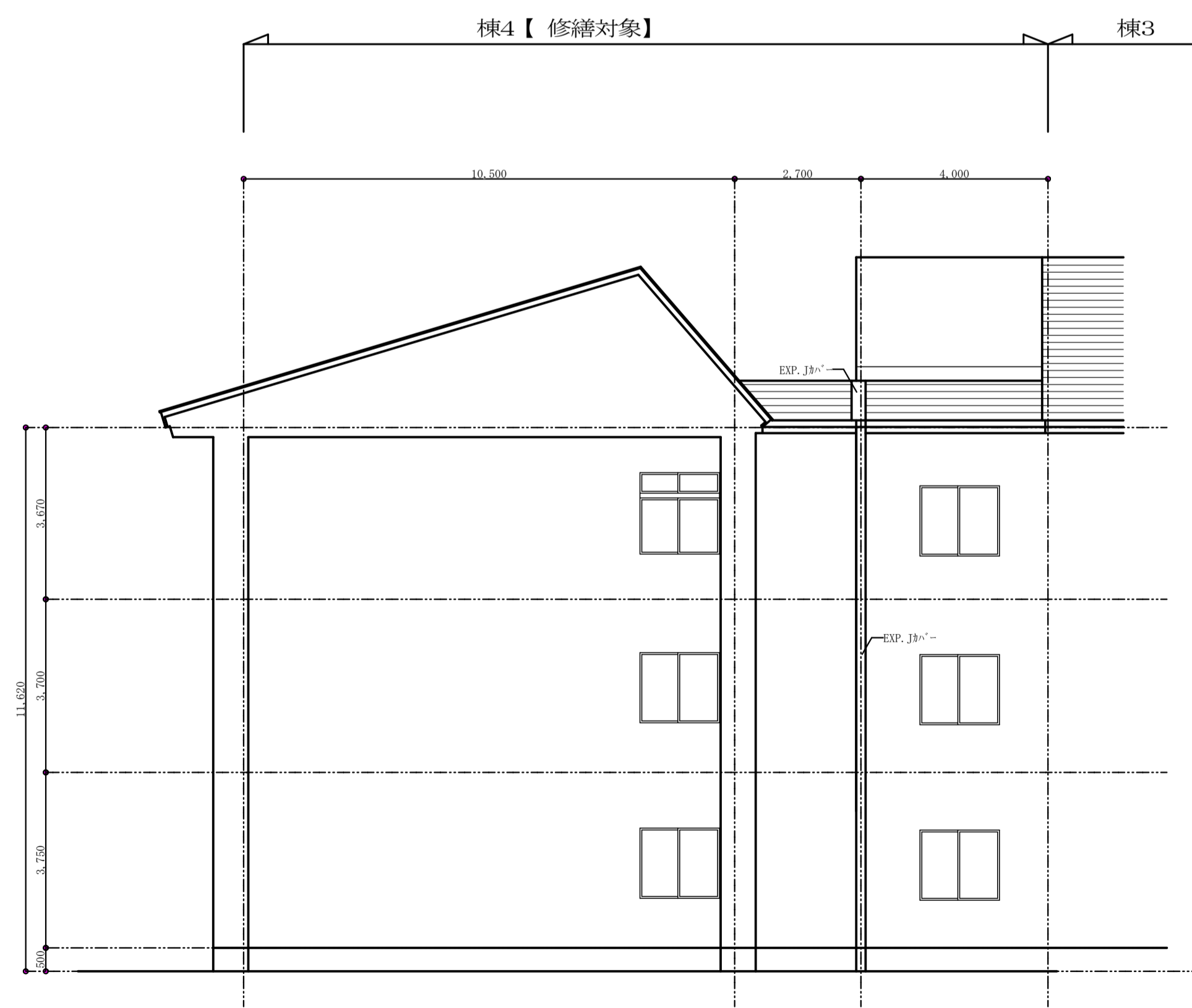
既存外部仕上
 コンクリート打放しのうえアクリル系弾性リシン吹付
 ※現況仕上塗材にアスベストは含有していない

- 外壁改修（コンクリート、ALC面）**
- 既存塗膜撤去（サンダーケレン）のうえ高圧洗浄
 - クラック等施工数量調査（報告書を監督員へ提出、承諾を得ること）
 - クラック処理（無機質型注入補修 一材型）
 - 爆裂部、浮き、Pコン部、欠損部等処理（脆弱コンクリートはつり撤去、防錆処理、ポリマーセメントモルタル充填）
 - 高圧洗浄
 - 下地調整材C-1吹付
 - 防水形複層塗材（RE）
- 外壁改修（ボード面）棟2のみ**
- 既存塗膜撤去（RB種）のうえ高圧洗浄
 - 下地調整材C-1吹付
 - 防水形複層塗材（RE）
- 外壁改修（ボード面）棟2のみ**
- 既存木質系サイディング 厚14撤去
 - ケイカル板 厚12+弾性アクリルリシン吹付
- シーリング改修**
- 既存鋼製建具周囲シーリング（水切り部共）撤去、打継目地シーリング撤去
 - 既存鋼製建具周囲シーリング（水切り部共）新設、打継目地シーリング新設
 - バルコニー打継目地シーリング撤去（棟4のみバルコニー手摺壁、横壁面共）
 - バルコニー打継目地シーリング新設（棟4のみバルコニー手摺壁面、横壁面共）
 - 打継目地撤去のうえ新設（棟4のみ）
 - EXP. Jカー周囲 シーリング撤去のうえ新設（棟2.3のみ）
- バルコニー改修**
- 高圧洗浄
 - クラック、浮き処理（無機質型注入補修 一材型）
 - 欠損部等処理（脆弱コンクリートはつり撤去、防錆処理、ポリマーセメントモルタル充填）
 - 高圧洗浄
 - 凹凸部立上用ウレタン樹脂しごき塗り
 - 平部：ウレタン塗膜防水 厚1.5 (X-2)、立上り：ウレタン塗膜防水 厚1.5 (X-2)
- 屋外階段塗装改修・鋼管製堅樋改修・ボンデ鋼板製軒樋改修・ボンデ鋼板製屋根破風改修**
- 既存塗膜撤去（RB種）
 - 錆止め塗り 工程C種 塗料A
 - SOP塗り 工程B種 塗料1種
- 軒裏塗装改修（ボード面）**
- 既存塗膜撤去（RB種）
 - EP-G塗 工程B種

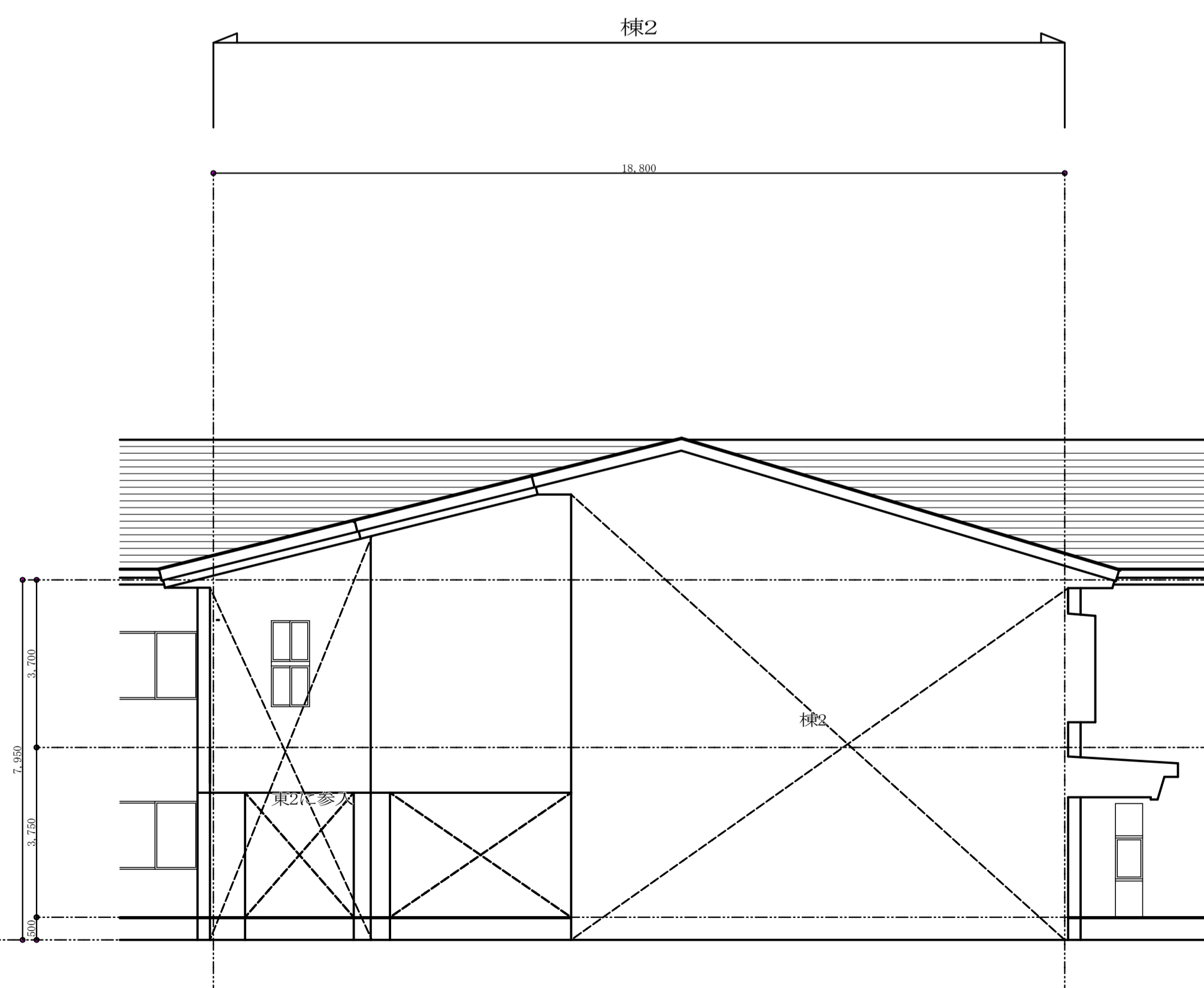
- 昇降口庇（A）**
- 高圧洗浄
 - 下地調整材C-1吹付
 - 凹凸部立上用ウレタン樹脂しごき塗り
 - 平部：ウレタン塗膜防水 厚2、見付面：ウレタン塗膜防水 厚2
- 玄関庇（B）**
- 高圧洗浄
 - 凹凸部立上用ウレタン樹脂しごき塗り
 - 平部：ウレタン塗膜防水 厚2、見付面：ウレタン塗膜防水 厚2
- 水飲み部庇（C）**
- 高圧洗浄
 - 凹凸部立上用ウレタン樹脂しごき塗り
 - 平部：ウレタン塗膜防水 厚2、立上り：ウレタン塗膜防水 厚2
- ルーバー部庇（D）**
- 高圧洗浄
 - 凹凸部立上用ウレタン樹脂しごき塗り
 - 平部：ウレタン塗膜防水 厚2、立上り：ウレタン塗膜防水 厚2
- 梁天端（E）**
- 高圧洗浄
 - 凹凸部立上用ウレタン樹脂しごき塗り
 - 平部：ウレタン塗膜防水 厚2、立上り：ウレタン塗膜防水 厚2



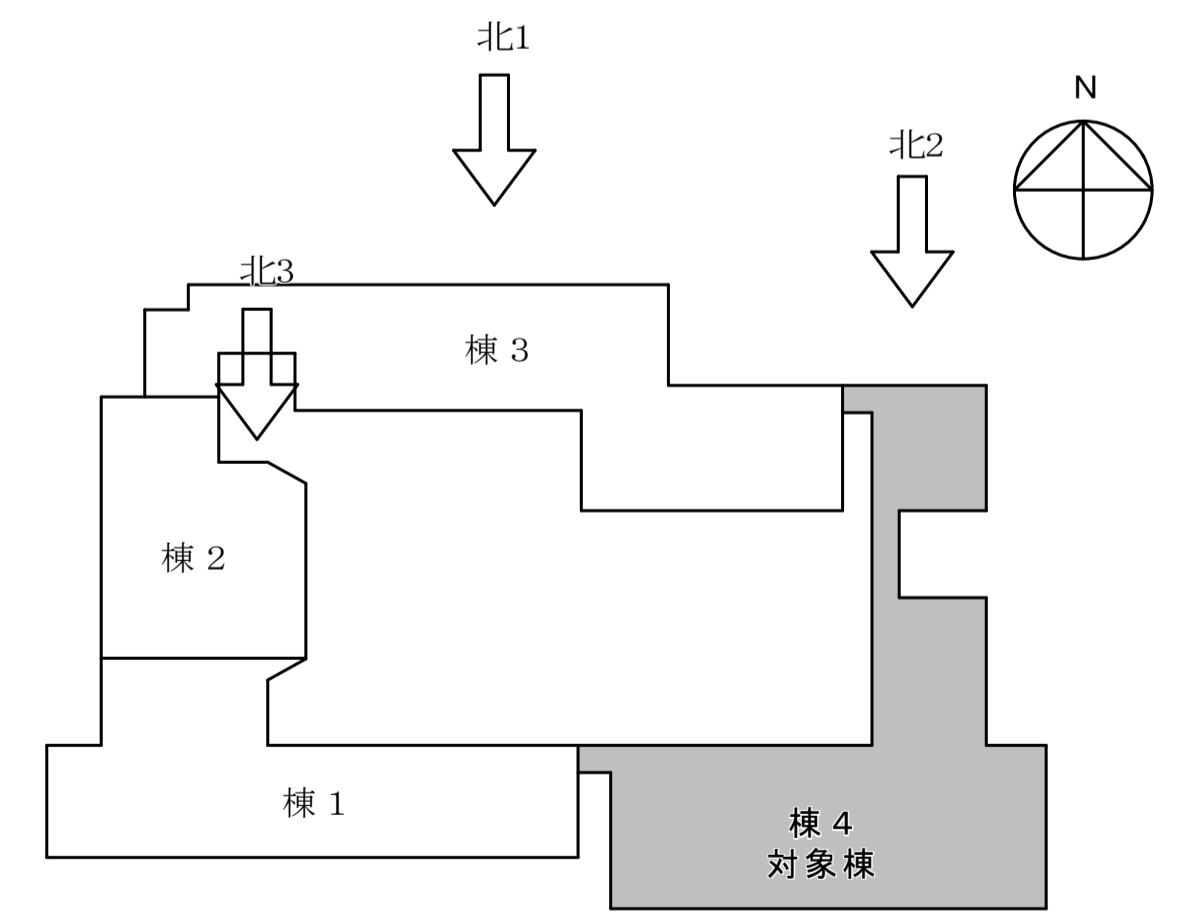
北1 立面图

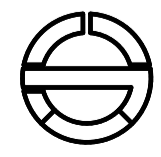


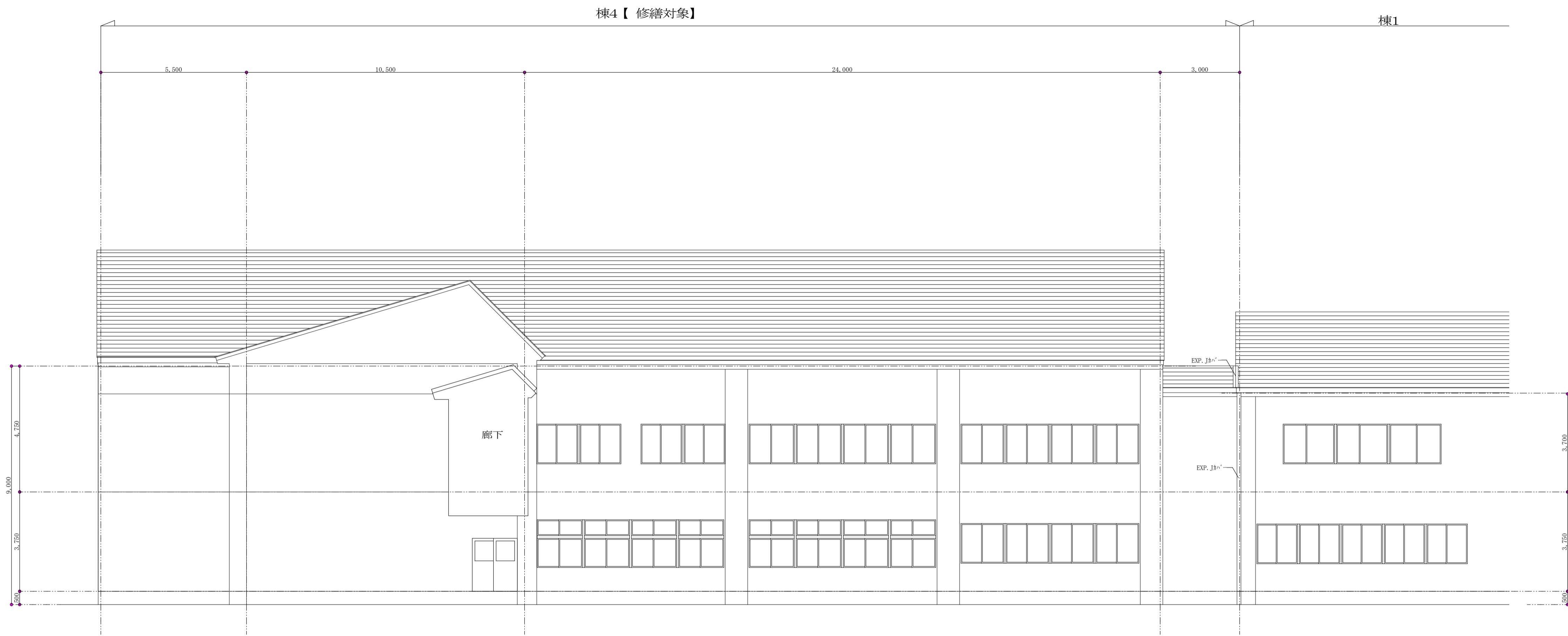
北2 立面图



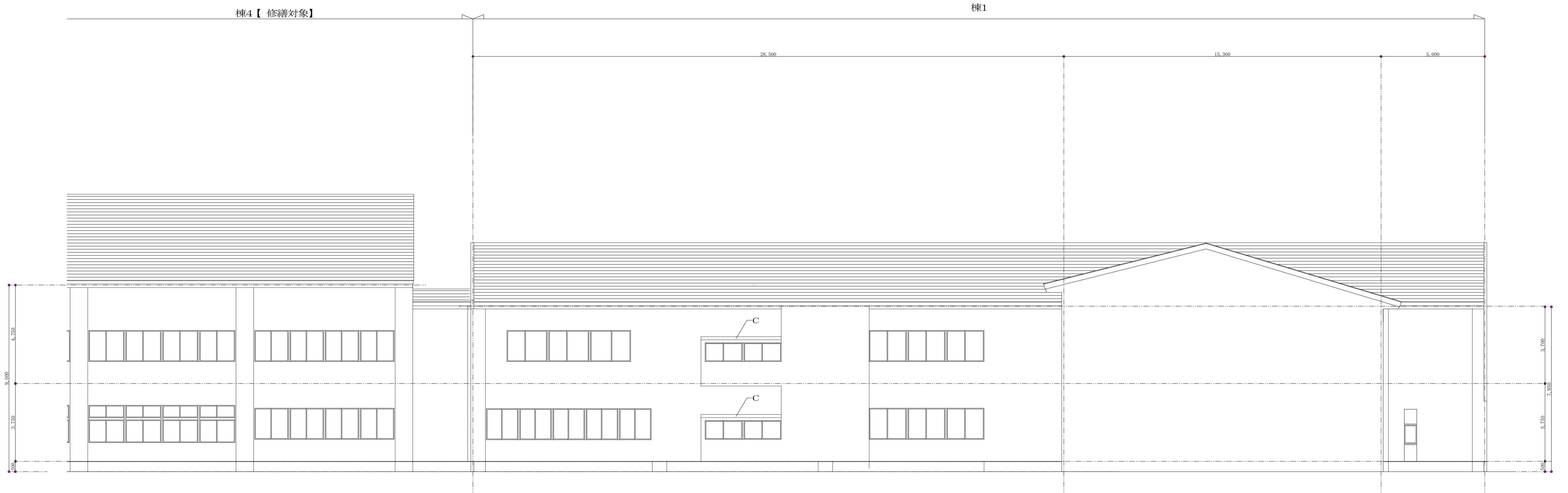
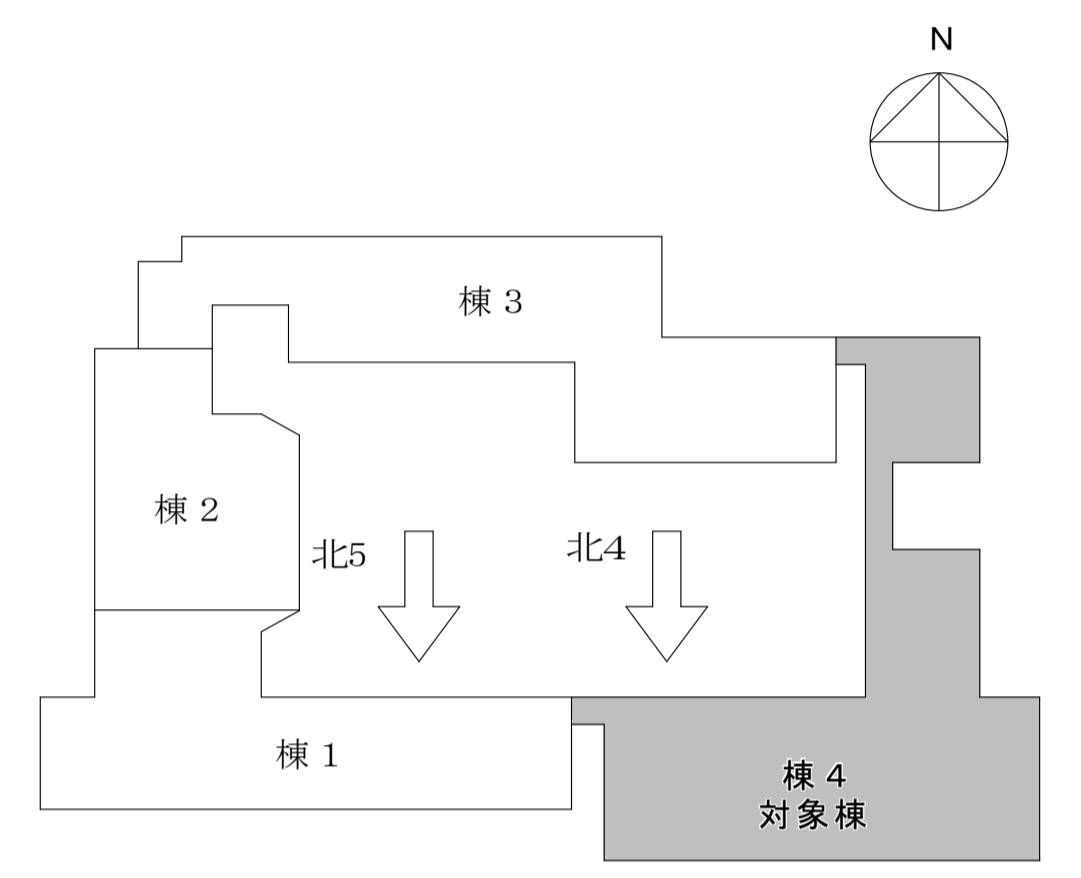
北3 立面图



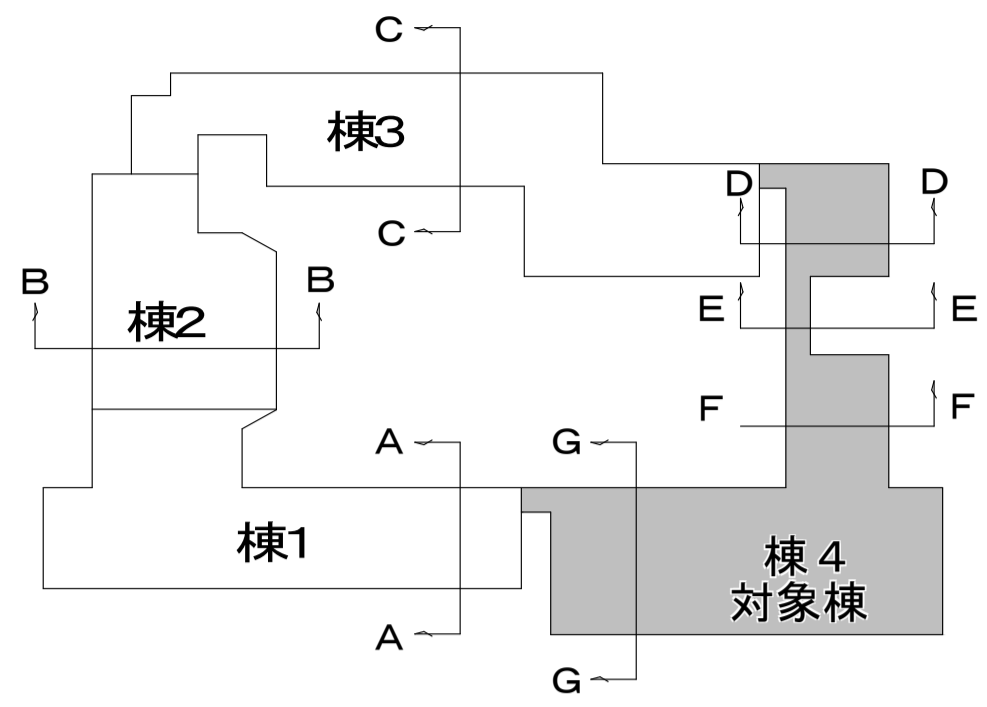
令和7年度盛岡市立津志田小学校校舎安全対策（外壁・屋根等）修繕	 1級建築士事務所 岩手県知事登録第7(2705)384号 (有)白浜建築設計事務所 1級建築士建設大臣登録第140889号 代表取締役 白濱成朋 岩手県盛岡市浅井1丁目12番12号 電話0193-54-5900(代表)	棟図	製図	計画	備考	作成年月日 R.11	図面内容 立面图-6	縮尺 A1: 1/100 A3: 1/200	シート番号 A-16	図面番号 A-16
		設計 白濱成朋 1級建築士 岩手県知事登録第140889号				訂正年月日			校の内	



北4 立面图

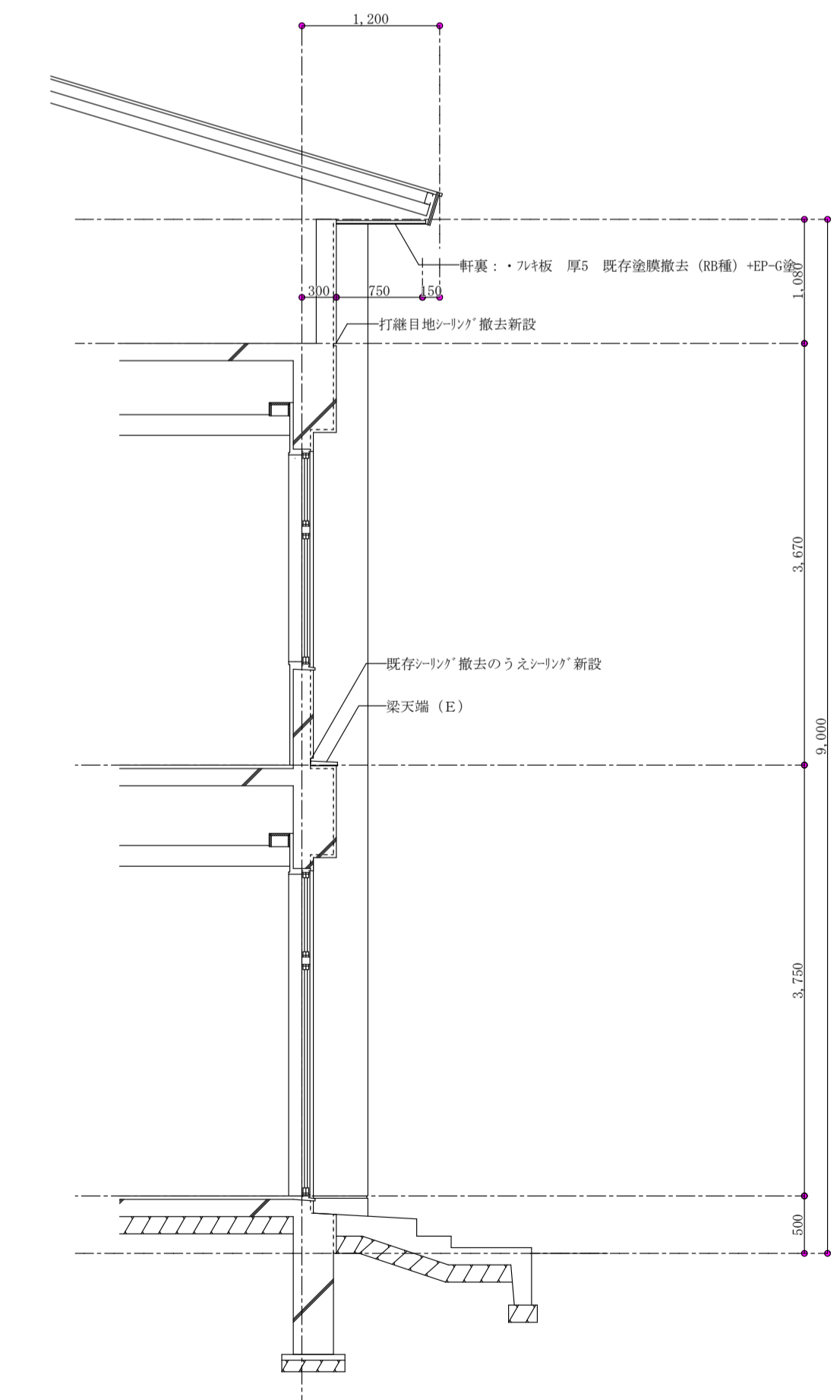
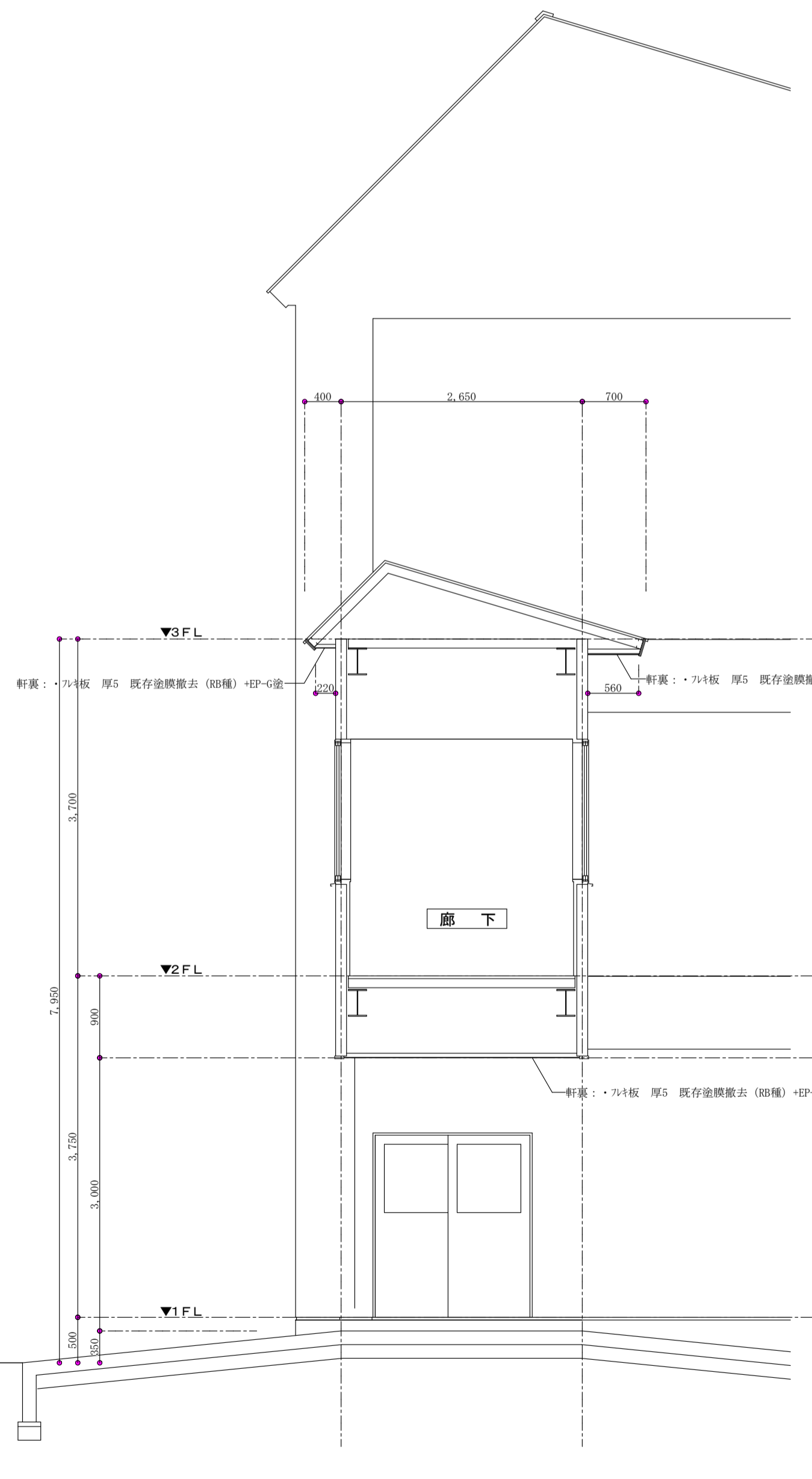
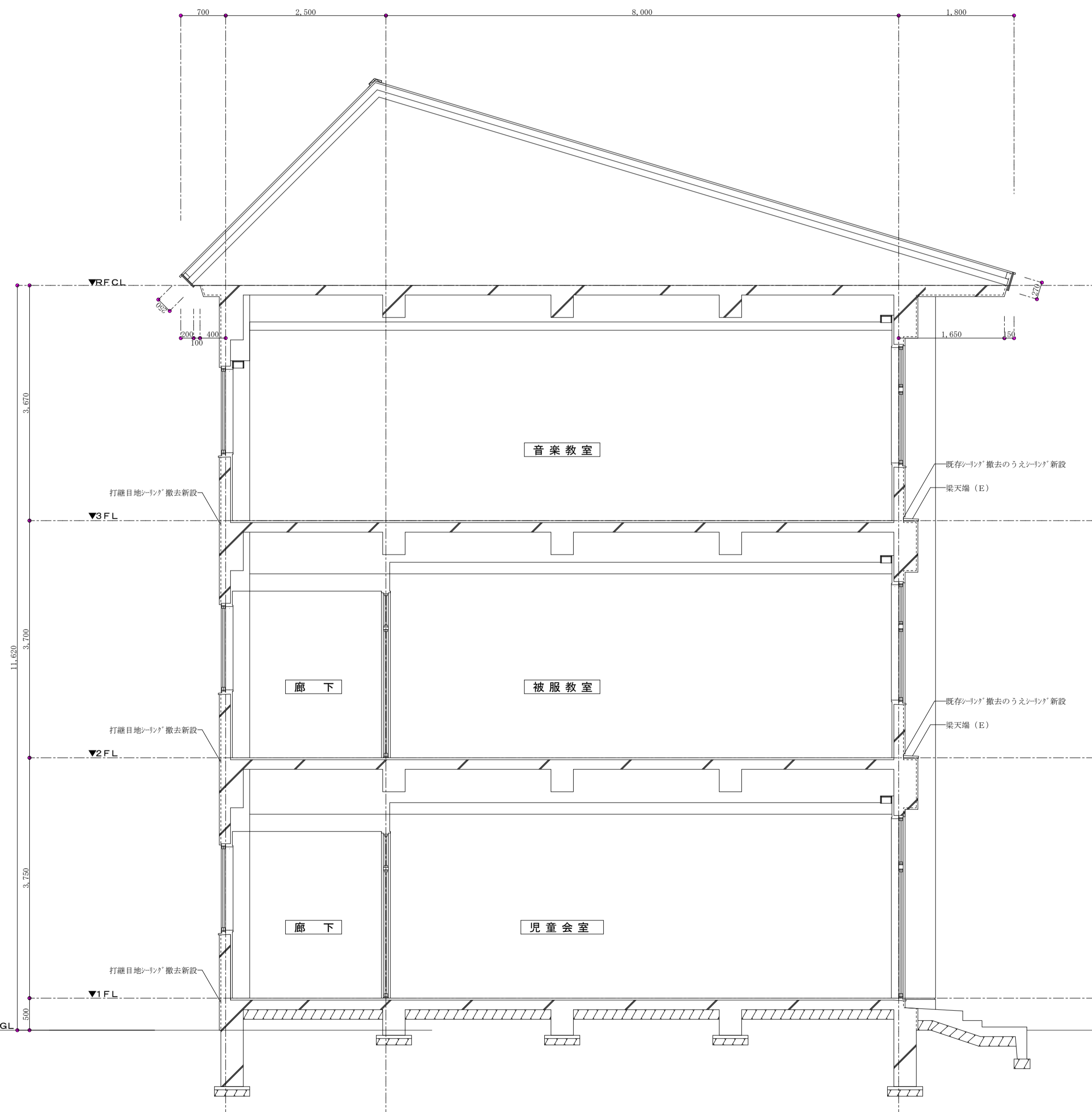


北5 立面图



- 昇降口庇 (A)**
- ・ 高压洗浄
 - ・ 下地調整材C-1吹付
 - ・ 凹凸部立上り用ウレタン樹脂しごき塗り
 - ・ 平部：ウレタン塗膜防水 厚2、見付面：ウレタン塗膜防水 厚2
- 玄関庇 (B)**
- ・ 下地調整材C-1吹付
 - ・ 凹凸部立上り用ウレタン樹脂しごき塗り
 - ・ 平部：ウレタン塗膜防水 厚2、見付面：ウレタン塗膜防水 厚2
- 水飲み部庇 (C)**
- ・ 高压洗浄
 - ・ 凹凸部立上り用ウレタン樹脂しごき塗り
 - ・ 平部：ウレタン塗膜防水 厚2、立上り：ウレタン塗膜防水 厚2
- ルーバー部庇 (D)**
- ・ 高压洗浄
 - ・ 凹凸部立上り用ウレタン樹脂しごき塗り
 - ・ 平部：ウレタン塗膜防水 厚2、立上り：ウレタン塗膜防水 厚2
- 梁天端 (E)**
- ・ 高压洗浄
 - ・ 凹凸部立上り用ウレタン樹脂しごき塗り
 - ・ 平部：ウレタン塗膜防水 厚2、立上り：ウレタン塗膜防水 厚2

- 外壁改修 (コンクリート、ALC面)**
- ・ 既存塗膜撤去 (サンダーケレン) のうえ高压洗浄
 - ・ クラック等施工数量調査 (報告書を監督員へ提出、承諾を得ること)
 - ・ クラック処理 (無機質型注入補修 一材型)
 - ・ 爆裂部、浮き、Pコン部、欠損部等処理 (脆弱コンクリートはつり撤去、防錆処理、ポリマーセメントモルタル充填)
 - ・ 高压洗浄
 - ・ 下地調整材C-1吹付
 - ・ 防水形複層塗材 (RE)
- 外壁改修 (ボード面) 棟2のみ**
- ・ 既存塗膜撤去 (R B種) のうえ高压洗浄
 - ・ 下地調整材C-1吹付
 - ・ 防水形複層塗材 (RE)
- 外壁改修 (ボード面) 棟2のみ**
- ・ 既存木質系サイディング 厚14撤去
 - ・ ケイカル板 厚12+弾性アクリルリシン吹付
- シーリング改修**
- ・ 既存鋼製建具周囲シーリング (水切り部共) 撤去、打継目地シーリング撤去
 - ・ 既存鋼製建具周囲シーリング (水切り部共) 新設、打継目地シーリング新設
 - ・ バルコニー打継目地シーリング撤去 (棟4のみバルコニー手摺壁、横壁面共)
 - ・ バルコニー打継目地シーリング新設 (棟4のみバルコニー手摺壁面、横壁面共)
 - ・ 打継目地撤去のうえ新設 (棟4のみ)
 - ・ EXP. ジャバー周囲 シーリング 撤去のうえ新設 (棟2, 3のみ)
- バルコニー改修**
- ・ 高压洗浄
 - ・ クラック、浮き処理 (無機質型注入補修 一材型)
 - ・ 欠損部等処理 (脆弱コンクリートはつり撤去、防錆処理、ポリマーセメントモルタル充填)
 - ・ 高压洗浄
 - ・ 凹凸部立上り用ウレタン樹脂しごき塗り
 - ・ 平部：ウレタン塗膜防水 厚1.5 (X-2)、立上り：ウレタン塗膜防水 厚1.5 (X-2)
- 屋外階段塗装改修・鋼管製堅樋改修・ボンド鋼板製軒樋改修・ボンド鋼板製屋根破風改修**
- ・ 既存塗膜撤去 (R B種)
 - ・ 錆止め塗り 工程C種 塗料A
 - ・ SOP塗り 工程B種 塗料1種
- 軒裏塗装改修 (ボード面)**
- ・ 既存塗膜撤去 (R B種)
 - ・ EP-G塗 工程B種

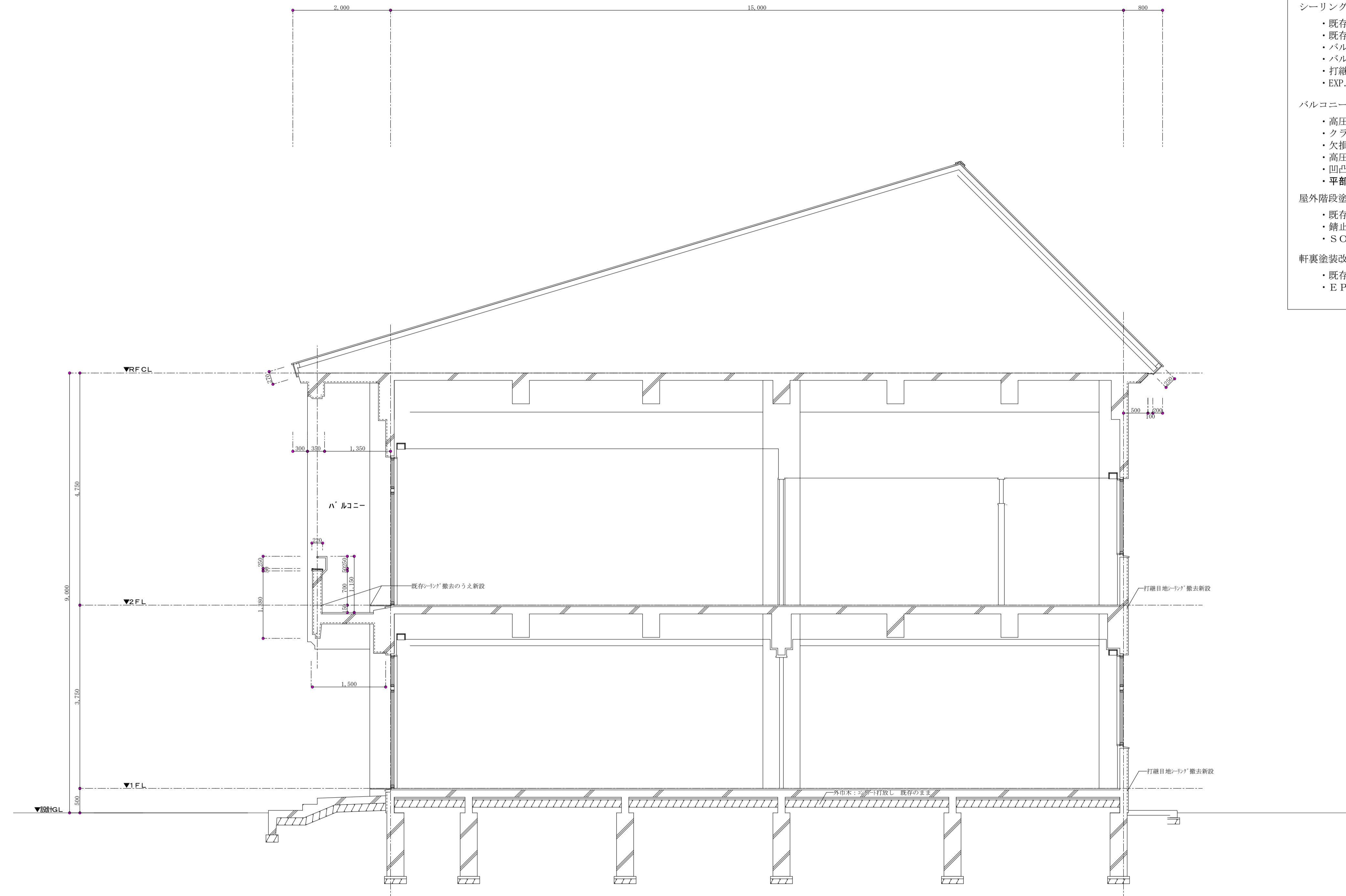


D-D 矩計図

E-E 矩計図

F 矩計図

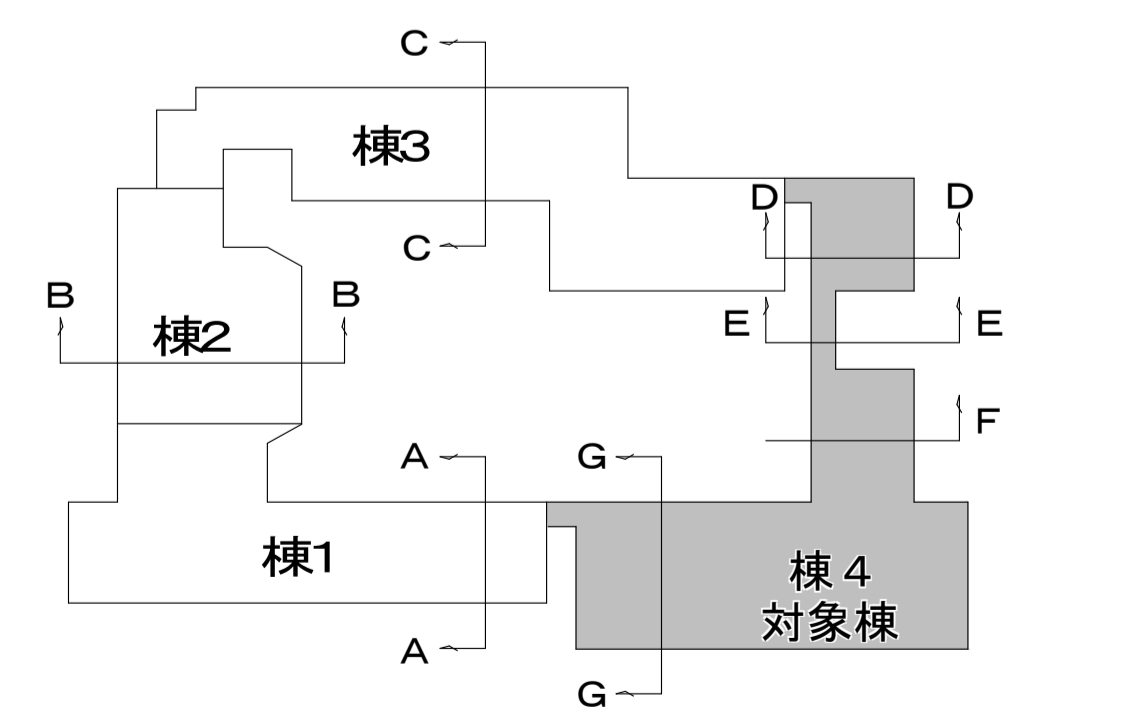
令和7年度盛岡市立津志田小学校校舎安全対策(外壁・屋根等)修繕	1級建築士事務所 岩手県知事登録第1(2705)384号 (有)白浜建築設計事務所 1級建築士 建設大臣登録第140869号 代表取締役 白濱 成明 岩手県盛岡市荒井丁112番12号 電話 019-632-5888 FAX 019-632-5531	検査	製図	計画	備考	作成年月日 R.11	図面内容 矩計図-4	縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100	→ 番号 40	図面番号 A-21
		岩手県盛岡市荒井丁112番12号	岩手県盛岡市荒井丁112番12号	岩手県盛岡市荒井丁112番12号	岩手県盛岡市荒井丁112番12号	訂正年月日	区分 意匠図	枚数 枚の内		

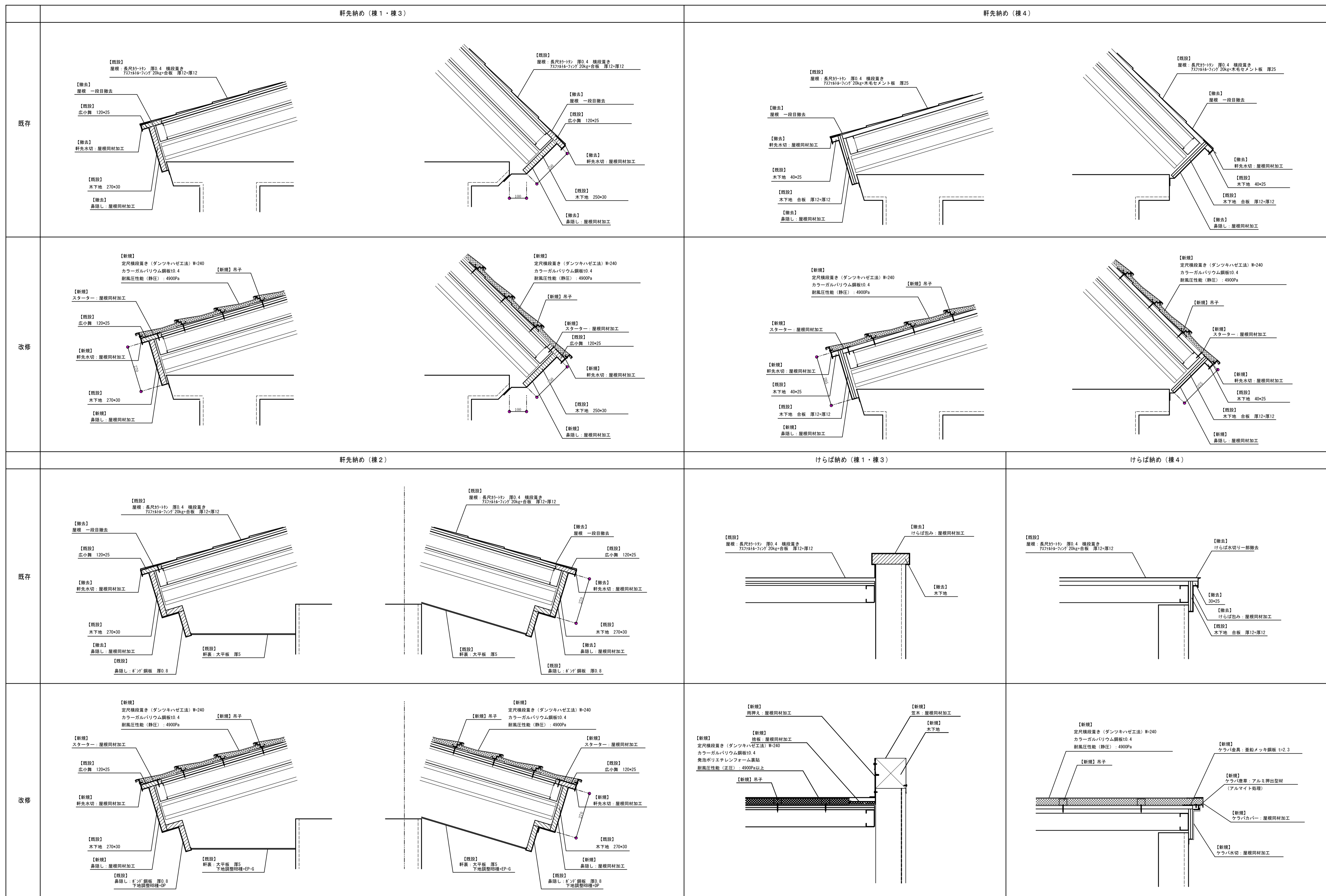


G-G 矩計図

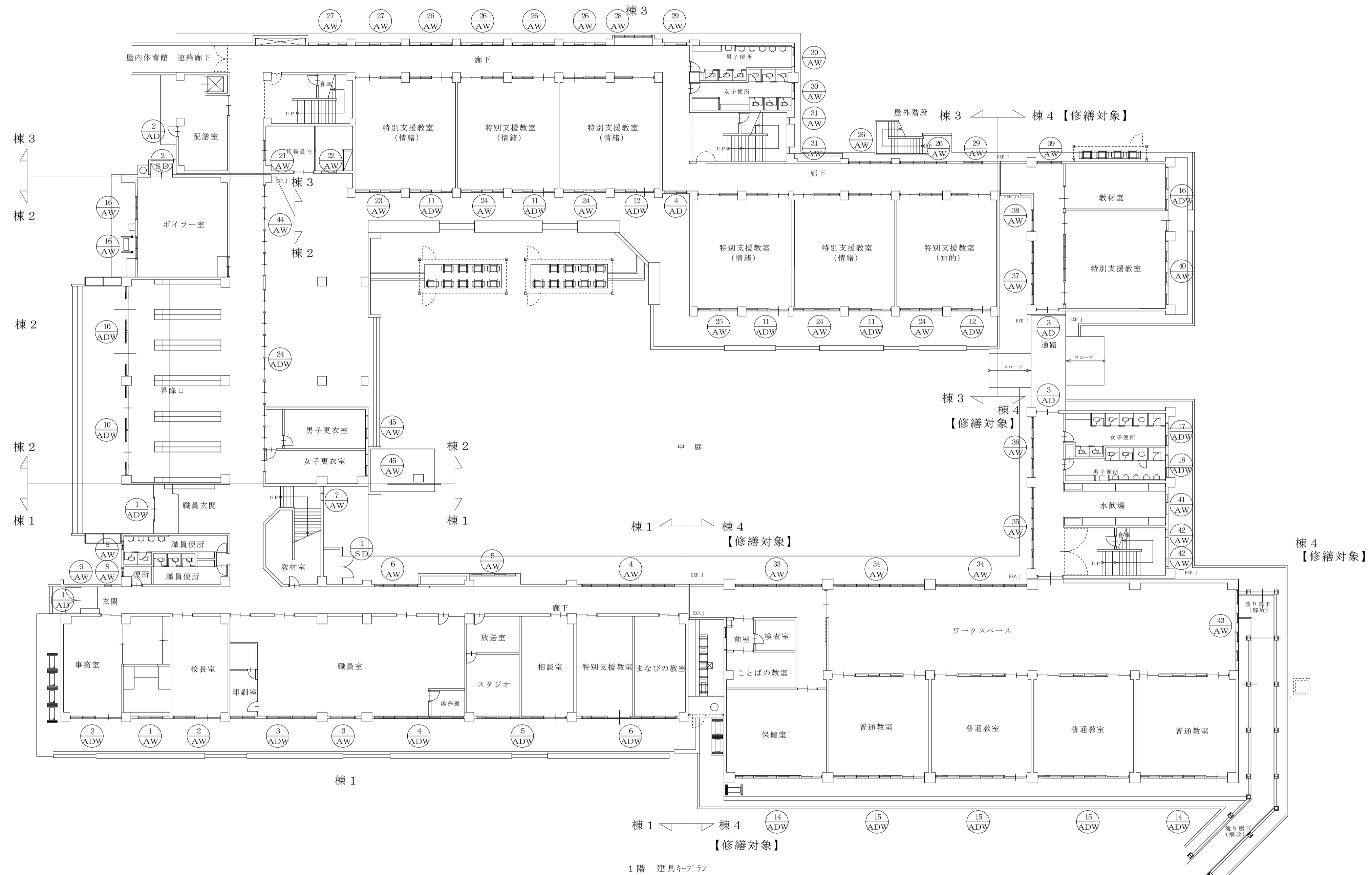
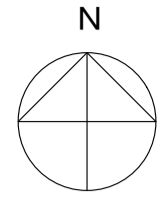
- 外壁改修 (コンクリート、ALC面)
- ・既存塗膜撤去 (サンダーケレン) のうえ高压洗浄
 - ・クラック等施工数量調査 (報告書を監督員へ提出、承諾を得ること)
 - ・クラック処理 (無機質型注入補修 一材型)
 - ・爆裂部、浮き、Pコン部、欠損部等処理 (脆弱コンクリートはつり撤去、防錆処理、ポリマーセメントモルタル充填)
 - ・高压洗浄
 - ・下地調整材C-1吹付
 - ・防水形複層塗材 (RE)
- 外壁改修 (ボード面) 棟2のみ
- ・既存塗膜撤去 (サンダーケレン) のうえ高压洗浄
 - ・下地調整材C-1吹付
 - ・防水形複層塗材 (RE)
- 外壁改修 (ボード面) 棟2のみ
- ・既存木質系サッシ 厚14撤去
 - ・ケイカル板 厚12+弾性アクリルリシン吹付
- シーリング改修
- ・既存鋼製建具周囲シーリング (水切り部共) 撤去、打継目地シーリング撤去
 - ・既存鋼製建具周囲シーリング (水切り部共) 新設、打継目地シーリング新設
 - ・バルコニー打継目地シーリング撤去 (棟4のみバルコニー手摺壁、横壁面共)
 - ・バルコニー打継目地シーリング新設 (棟4のみバルコニー手摺壁面、横壁面共)
 - ・打継目地撤去のうえ新設 (棟4のみ)
 - ・EXP. Jカー周囲 シーリング撤去のうえ新設 (棟2.3のみ)
- バルコニー改修
- ・高压洗浄
 - ・クラック、浮き処理 (無機質型注入補修 一材型)
 - ・欠損部等処理 (脆弱コンクリートはつり撤去、防錆処理、ポリマーセメントモルタル充填)
 - ・高压洗浄
 - ・凹凸部立上用ウレタン樹脂しごき塗り
 - ・平部：ウレタン塗膜防水 厚1.5 (X-2)、立上り：ウレタン塗膜防水 厚1.5 (X-2)
- 屋外階段塗装改修・鋼管製堅樋改修・ボンド鋼板製軒樋改修・ボンド鋼板製屋根破風改修
- ・既存塗膜撤去 (RB種)
 - ・錆止め塗り 工程C種 塗料A
 - ・SOP塗り 工程B種 塗料1種
- 軒裏塗装改修 (ボード面)
- ・既存塗膜撤去 (RB種)
 - ・EP-G塗 工程B種

- 昇降口底 (A)
- ・高压洗浄
 - ・下地調整材C-1吹付
 - ・凹凸部立上用ウレタン樹脂しごき塗り
 - ・平部：ウレタン塗膜防水 厚2、見付面：ウレタン塗膜防水 厚2
- 玄関底 (B)
- ・下地調整材C-1吹付
 - ・凹凸部立上用ウレタン樹脂しごき塗り
 - ・平部：ウレタン塗膜防水 厚2、見付面：ウレタン塗膜防水 厚2
- 水飲み部底 (C)
- ・高压洗浄
 - ・凹凸部立上用ウレタン樹脂しごき塗り
 - ・平部：ウレタン塗膜防水 厚2、立上り：ウレタン塗膜防水 厚2
- ルーバー部底 (D)
- ・高压洗浄
 - ・凹凸部立上用ウレタン樹脂しごき塗り
 - ・平部：ウレタン塗膜防水 厚2、立上り：ウレタン塗膜防水 厚2
- 梁天端 (E)
- ・高压洗浄
 - ・凹凸部立上用ウレタン樹脂しごき塗り
 - ・平部：ウレタン塗膜防水 厚2、立上り：ウレタン塗膜防水 厚2

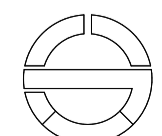


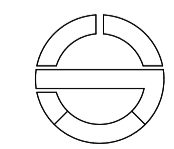
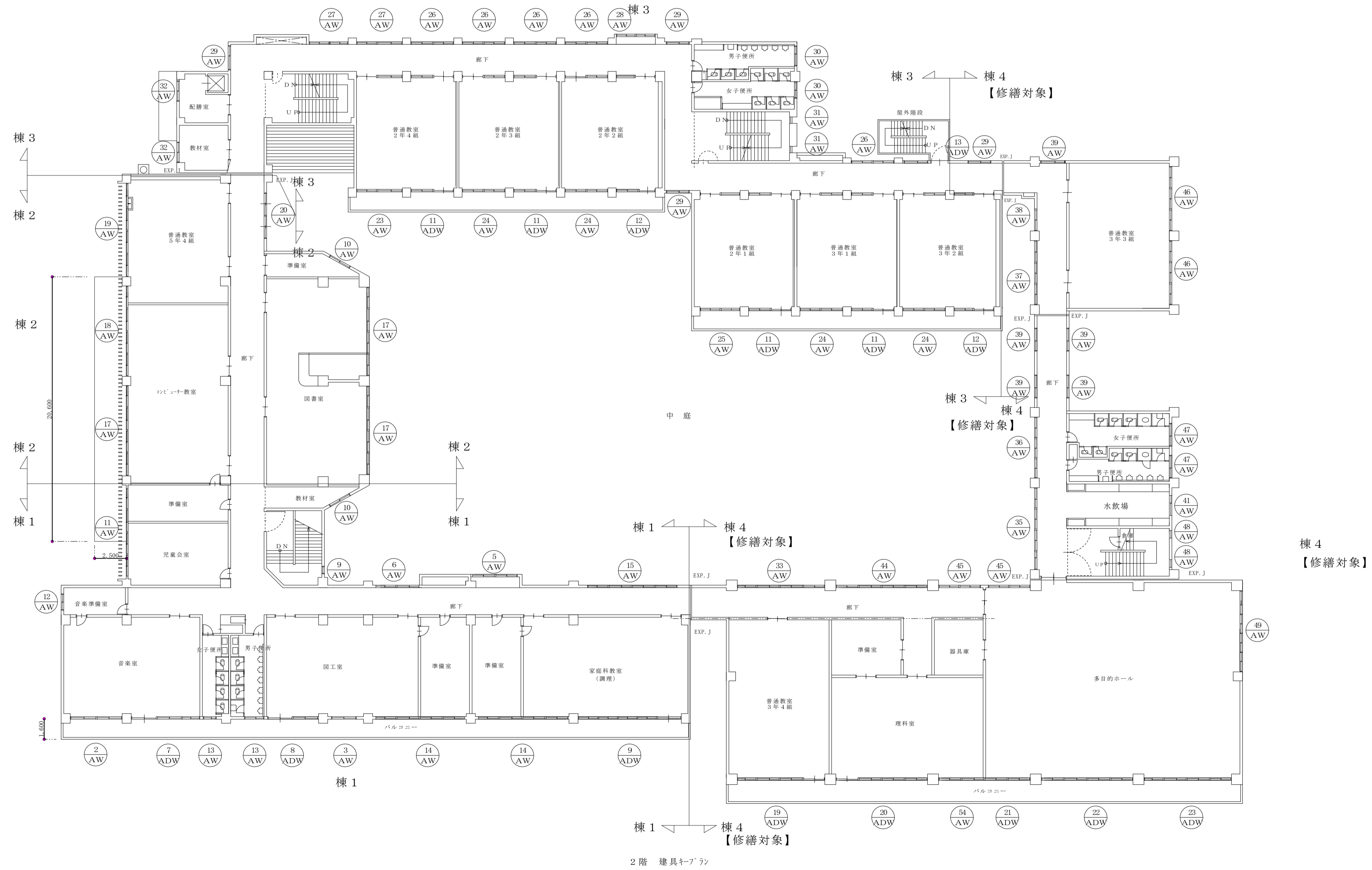
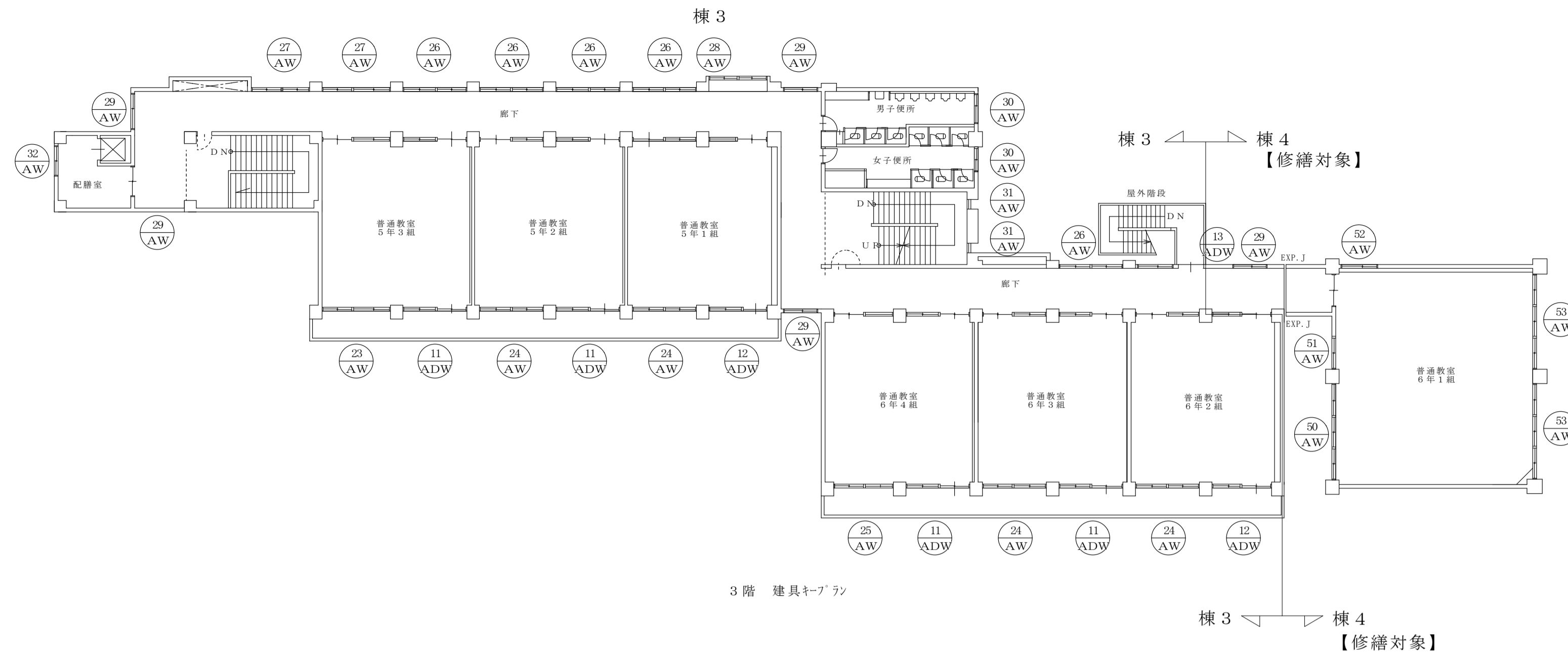
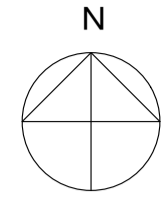


	壁取合い納め (共通)	谷納め (共通)	棟納め (共通)
既存	<p>【撤去】 水切り：屋根同材加工 150×25</p> <p>【既設】 屋根：長尺91×19、厚0.4 構造葺き 727A18-F10g 20kg+合板 厚12+厚12</p> <p>【既設】 水切り：屋根同材加工 屋根立上り 木下地 150×25</p>	<p>【既設】 屋根：長尺91×19、厚0.4 構造葺き 727A18-F10g 20kg+合板 厚12+厚12 棟4のみ木毛むすび板 厚25</p> <p>【撤去】 谷部：屋根同材加工</p>	<p>【既設】 屋根：長尺91×19、厚0.4 構造葺き 727A18-F10g 20kg+合板 厚12+厚12 棟4のみ木毛むすび板 厚25</p> <p>【撤去】 棟金物：合板 厚12+厚12+屋根同材加工 一部既設構造物干渉部</p>
改修	<p>【新規】 雨押え：屋根同材加工 下地：ガルバリウム鋼板t=0.8</p> <p>【新規】 定尺構造葺き (ダンツキハゼ工法) W=240 カラーガルバリウム鋼板t0.4 発泡ポリエチレンフォーム裏貼 耐風圧性能 (静圧) : 4900Pa以上</p> <p>【新規】吊子</p> <p>【既設】 屋根：長尺91×19、厚0.4 構造葺き 727A18-F10g 20kg+合板 厚12+厚12</p> <p>【既設】 水切り：屋根同材加工 屋根立上り 木下地 150×25</p> <p>【既設】 下地：ガルバリウム鋼板t=0.8</p> <p>【新規】 雨押え：屋根同材加工 下地：ガルバリウム鋼板t=0.8</p> <p>【既設】 定尺構造葺き (ダンツキハゼ工法) W=240 カラーガルバリウム鋼板t0.4 耐風圧性能 (静圧) : 4900Pa</p> <p>【新規】吊子</p>	<p>【新規】 定尺構造葺き (ダンツキハゼ工法) W=240 カラーガルバリウム鋼板t0.4 耐風圧性能 (静圧) : 4900Pa</p> <p>【新規】吊子</p> <p>【既設】 屋根：長尺91×19、厚0.4 構造葺き 727A18-F10g 20kg+合板 厚12+厚12 棟4のみ木毛むすび板 厚25</p> <p>【撤去】 谷部：屋根同材加工</p> <p>【新規】吊子</p>	<p>【新規】 定尺構造葺き (ダンツキハゼ工法) W=240 カラーガルバリウム鋼板t0.4 耐風圧性能 (静圧) : 4900Pa</p> <p>【既設】 棟金物：合板 厚12+厚12+屋根同材加工 一部既設構造物干渉部</p> <p>【新規】吊子</p> <p>【既設】 棟金物：合板 厚12+厚12+屋根同材加工 一部既設構造物干渉部</p> <p>【新規】吊子</p> <p>【既設】 下地：ガルバリウム鋼板t=0.8</p> <p>【新規】吊子</p>
	片流れ頂部 (共通)		横材接合部 (共通)
既存	<p>【既設】 屋根：長尺91×19、厚0.4 構造葺き 727A18-F10g 20kg+木毛セメント板 厚25</p> <p>【既設】 150×25</p> <p>【撤去】 既設屋根干渉部は一部撤去</p> <p>【既設】 下地：ガルバリウム鋼板t=0.8</p> <p>【既設】 木下地 合板 厚12+厚12</p> <p>【撤去】 横金物：屋根同材加工</p>		<p>【既設】 木下地100×50+合板 厚12 屋根同材巻き</p>
改修	<p>【新規】 定尺構造葺き (ダンツキハゼ工法) W=240 カラーガルバリウム鋼板t0.4 耐風圧性能 (静圧) : 4900Pa</p> <p>【既設】 150×25</p> <p>【既設】 下地：ガルバリウム鋼板t=0.8</p> <p>【既設】 木下地 合板 厚12+厚12</p> <p>【撤去】 横金物：屋根同材加工</p> <p>【新規】吊子</p>		

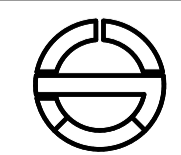


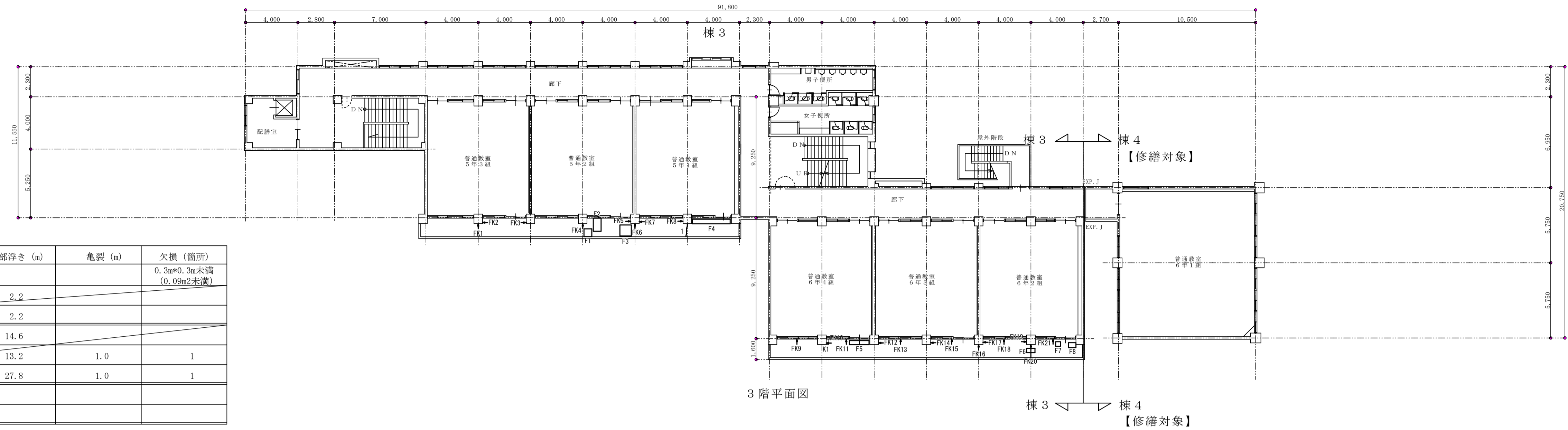
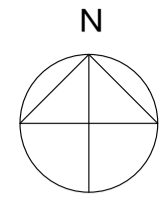
1階 建具キープラン

令和7年度盛岡市立津志田小学校校舎安全対策（外壁・屋根等）修繕	 1級建築士事務所 岩手県知事登録第7(2705)384号 (有)白浜建築設計事務所 1級建築士建設大臣登録第40869号 代表取締役 白濱成朋 岩手県盛岡市浅草1丁目12番12号 電話 0196-622588	棟図	製図	計画	備考	作成年月日 R.11	図面内容 1階 建具キープラン	縮尺 A1: 1/200 A3: 1/400	寸法 A-26	図面番号 校の内
		岩手県知事登録第7(2705)384号	岩手県知事登録第7(2705)384号	岩手県知事登録第7(2705)384号	岩手県知事登録第7(2705)384号	訂正年月日	区分 意匠図			



記号	14 ADW	15 ADW	16 ADW	17 ADW	18 ADW	19 ADW
室名	保健室・普通教室	保健室・普通教室	教材室	女子便所	男子便所	普通教室
員数	2	3	1	1	1	1
姿図						
記号	20 ADW	21 ADW	22 ADW	22 ADW		
室名	理科室	多目的ホール	多目的ホール	多目的ホール		
員数	1	1	1	1		
姿図						
記号	33 AW	34 AW	35 AW	36 AW	37 AW	38 AW
室名	廊下	ワークスペース	廊下	廊下	廊下	廊下
員数	2	2	2	2	2	2
姿図						
記号	39 AW	40 AW	41 AW	42 AW	43 AW	44 AW
室名	廊下	特別支援教室	水飲み場	階段室	ワークスペース	廊下
員数	6	1	2	2	1	1
姿図						
記号	45 AW	46 AW	47 AW	48 AW	49 AW	50 AW
室名	廊下・多目的ホール	普通教室	男子便所・女子便所	階段室	多目的ホール	普通教室
員数	2	2	2	2	1	1
姿図						
記号	51 AW	52 AW	53 AW	54 AW	59 AW	3 AD
室名	普通教室	普通教室	普通教室	普通教室	廊下	通路
員数	1	1	2	1	2	2
姿図						

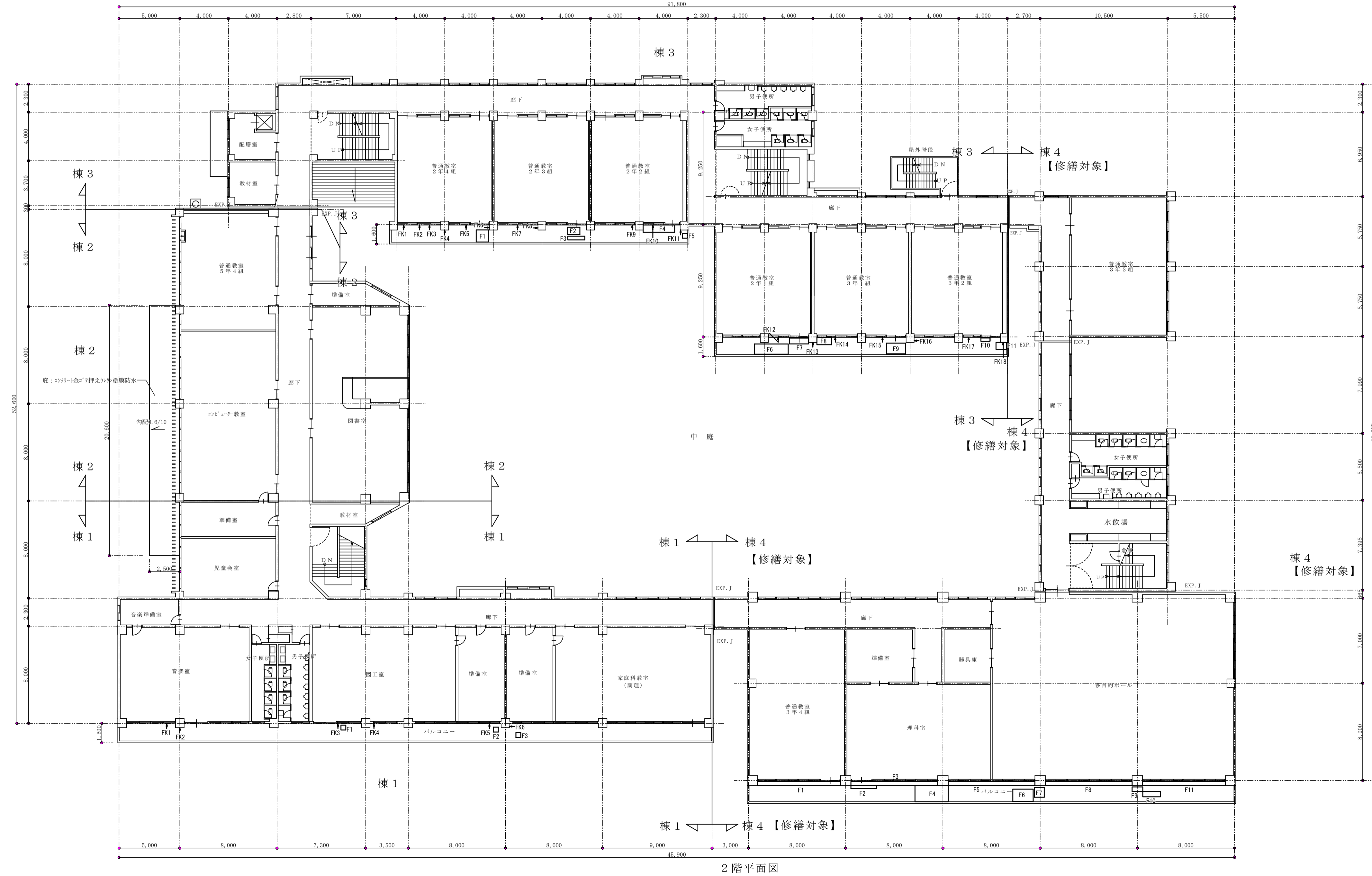




3階平面図

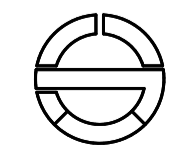
ハコニ床 調査数量表

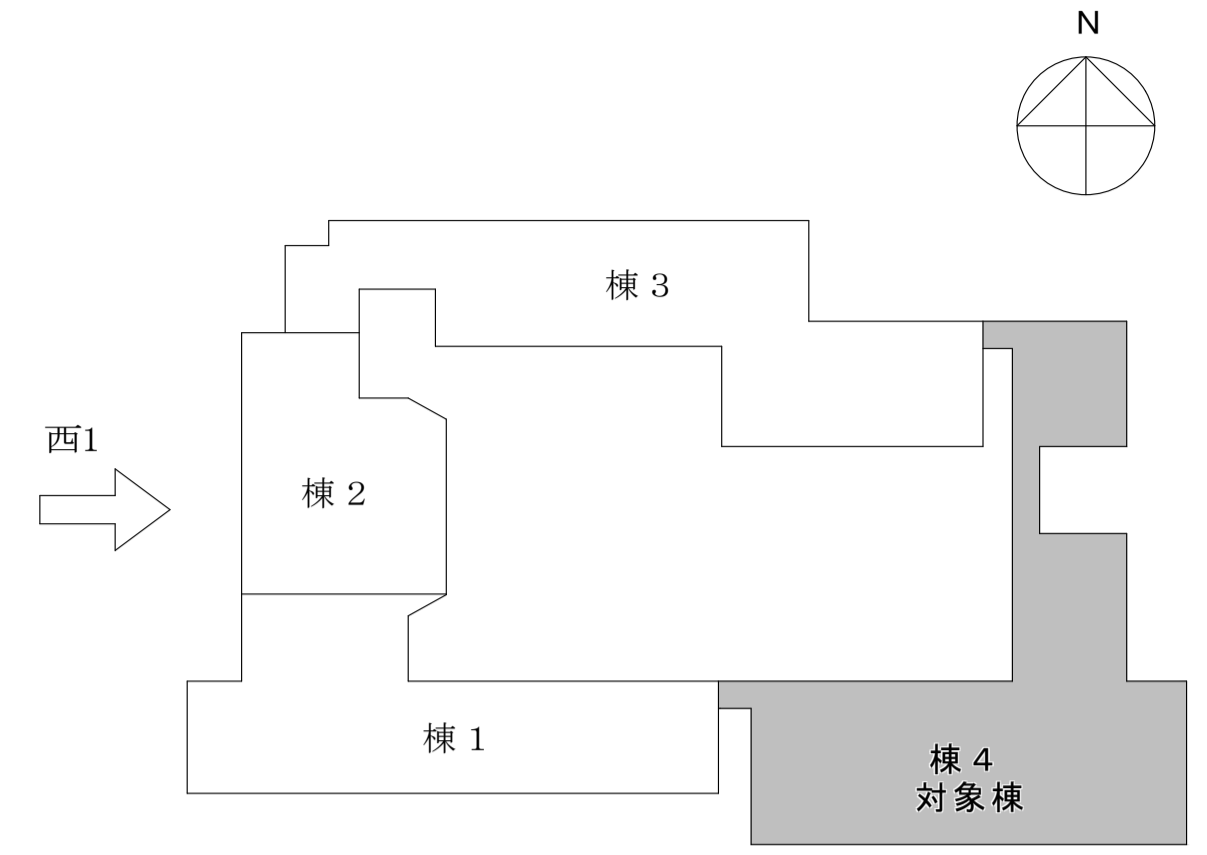
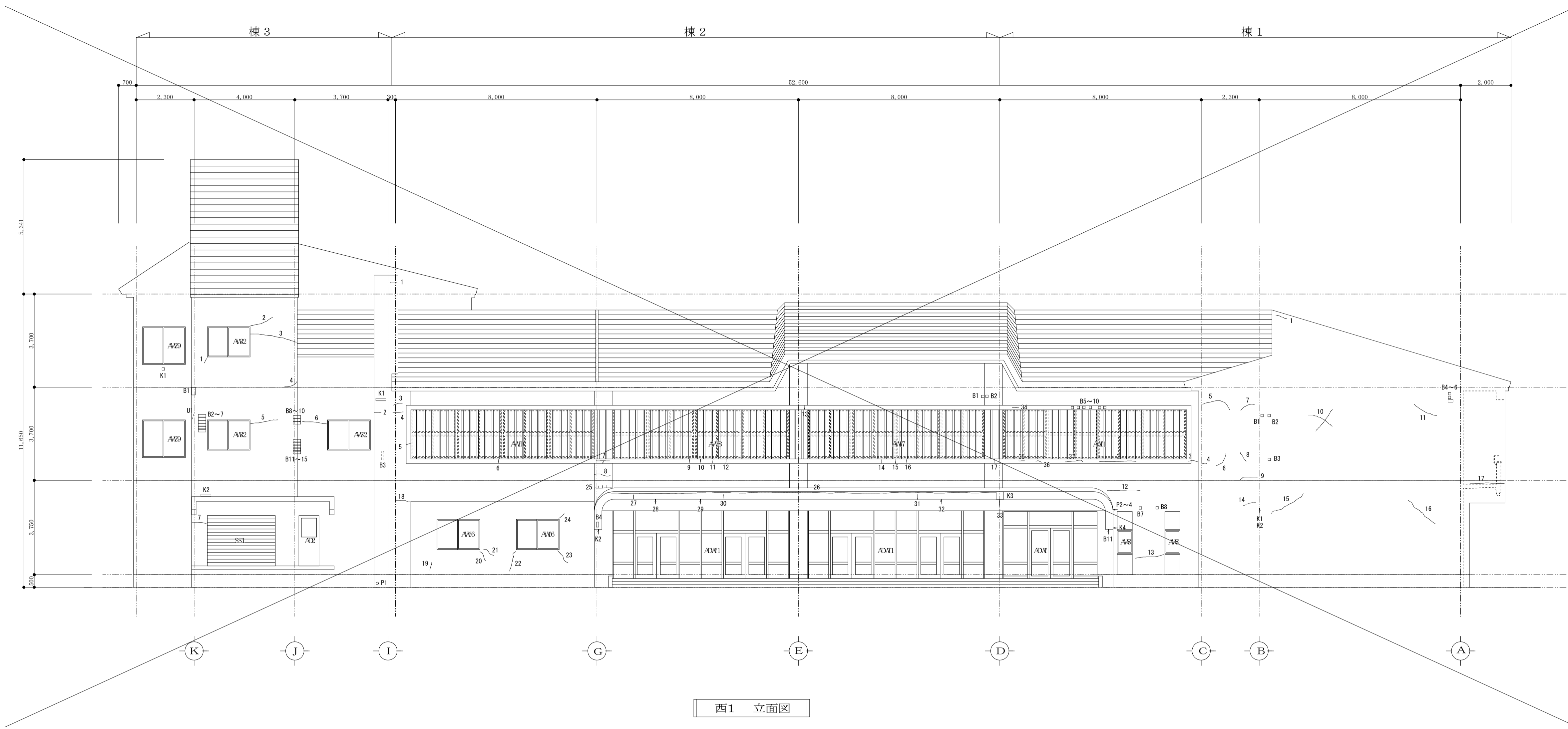
棟	階	調査数量			
		一般部浮き (m2)	狭幅部浮き (m)	亀裂 (m)	欠損 (箇所) 0.3m*0.3m未満 (0.09m2未満)
棟1	2F	0.1	2.2		
	合計	0.1	2.2		
棟3	2F	7.4	14.6	1.0	1
	3F	2.5	13.2	1.0	1
棟4	2F	13.6			
	合計	13.6			



2階平面図

凡例	
	1. 2. 3... 亀裂を示す
	K1. K2. K3... 欠損を示す
	FK1. FK2... 浮き (狭幅部) を示す
	F1. F2. F3... 浮きを示す
※通し番号は各階ごととする	





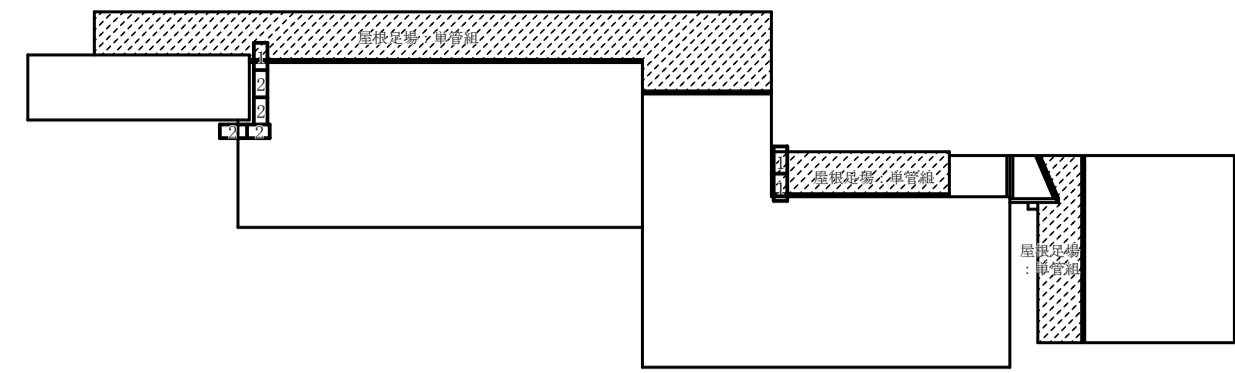
- 凡例
- 1. 2. 3. ... Uカットを示す
 - 1. 2. 3. ... 亀裂を示す
 - K1. K2. K3... 欠損を示す
 - B1. B2. B3... 爆裂を示す
 - F1. F2. F3... 浮きを示す
 - P1. P2. P3... Pコンを示す

西1 立面図

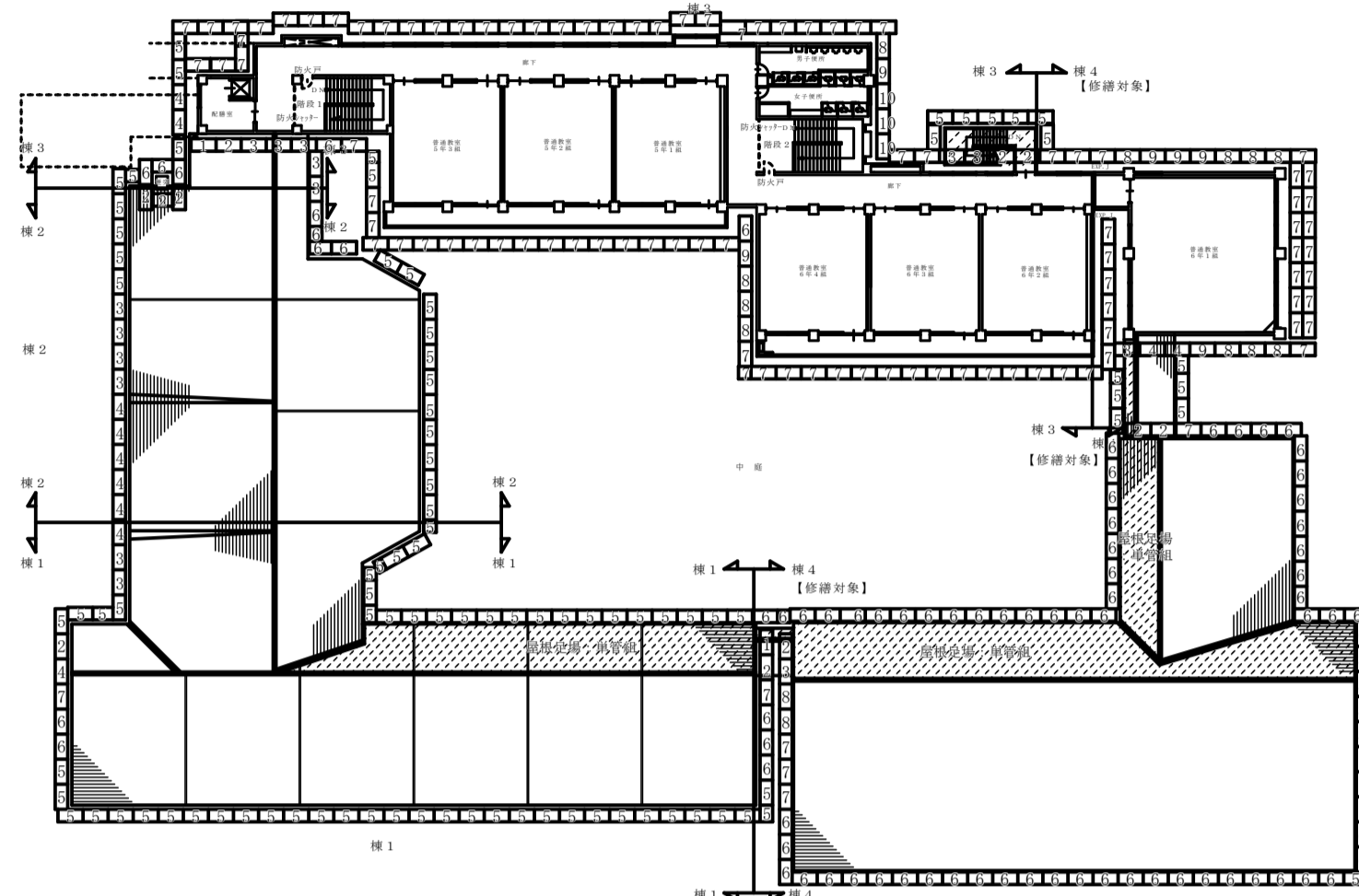
外壁調査数量

		亀裂 (m)	Uカット (m)	浮き (m ²)	Pコン部	欠損 (箇所)		爆裂 (箇所)			
						0.3m*0.3m未満 (0.09m ² 未満)	0.5m*0.5m未満 (0.25m ² 未満)	L300未満 (箇所)	L600未満 (箇所)	L1000未満 (箇所)	L1000以上 (m)
棟1	北面	37.3				2		13	1		
	南面	105.5		3.3	2	12		4			
	東面	14.9				2				1	
	西面	15.5				2		8			
	合計	173.2		3.3	2	18		25	1	1	
	推定数量	270.2		3.3	3	28		33	2	2	
棟2	北面	7.4				4					
	東面	12.1	1.1		4	2					
	西面	28.5				3	1	10	1		
	合計	48.0	1.1		4	9	1	10	1		
	推定数量	74.9	1.7		6	12	2	14	2		
	棟3	北面	31.3			1	23	1	31	4	
南面		85.2		1.6	4	29	1	17	3	1	1.2
東面		2.1				1		17			
西面		6.7	0.3			2			15		
合計		125.3	0.3	1.6	5	55	2	65	22	1	1.2
推定数量		195.5	0.5	1.6	7	73	3	86	30	2	1.6
棟4	北面	18.8	0.9			1		1			
	南面	46.3		0.1		1		1			
	東面	17.9			17	1		3	1		
	西面	14.4				5					
	合計	97.4	0.9	0.1	17	8		5	1		
	推定数量	151.9	1.4	0.1	23	11		7	2		

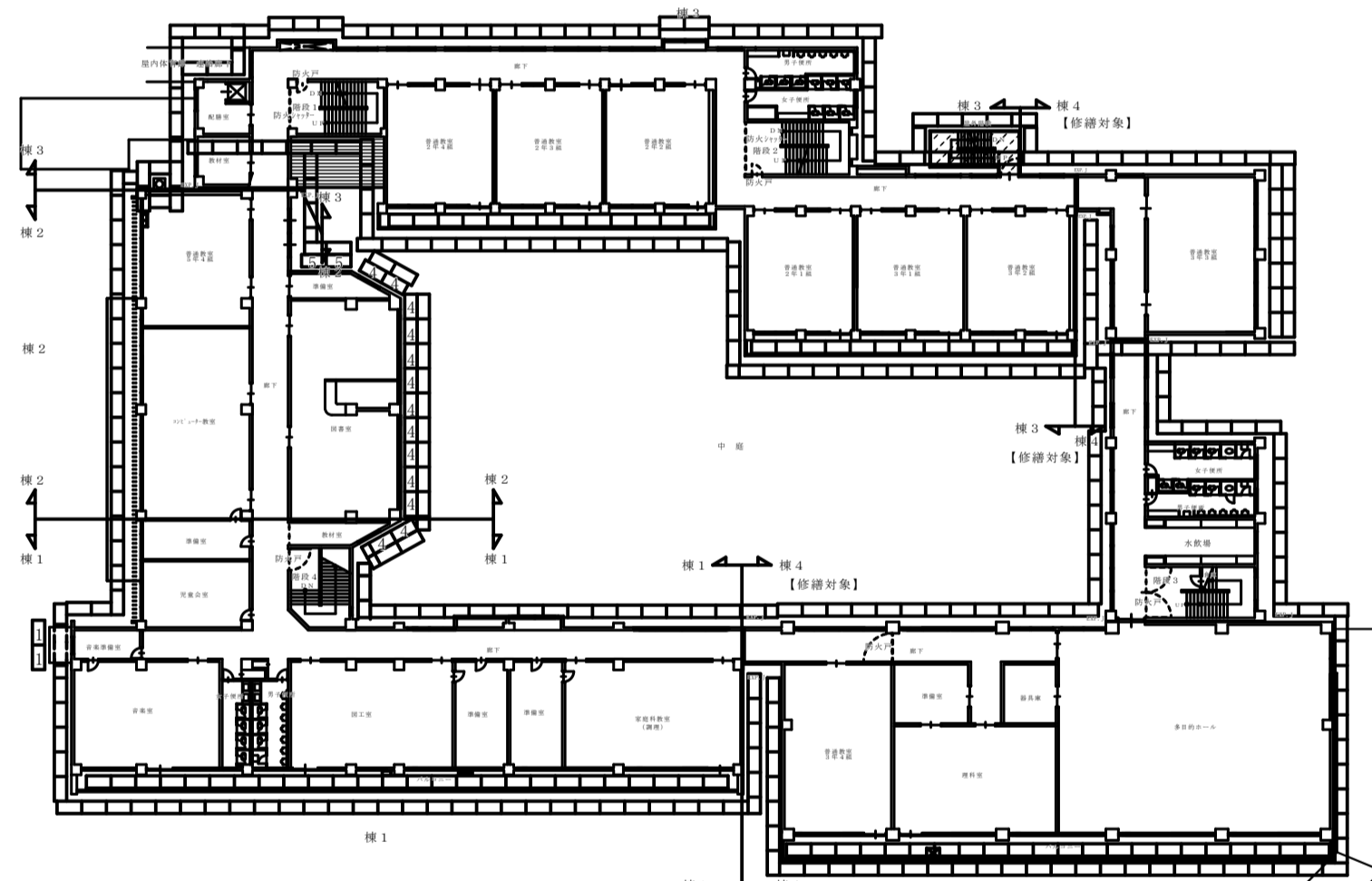
※推定数量は調査会社の実績による数量。但し、浮きは調査数量とする



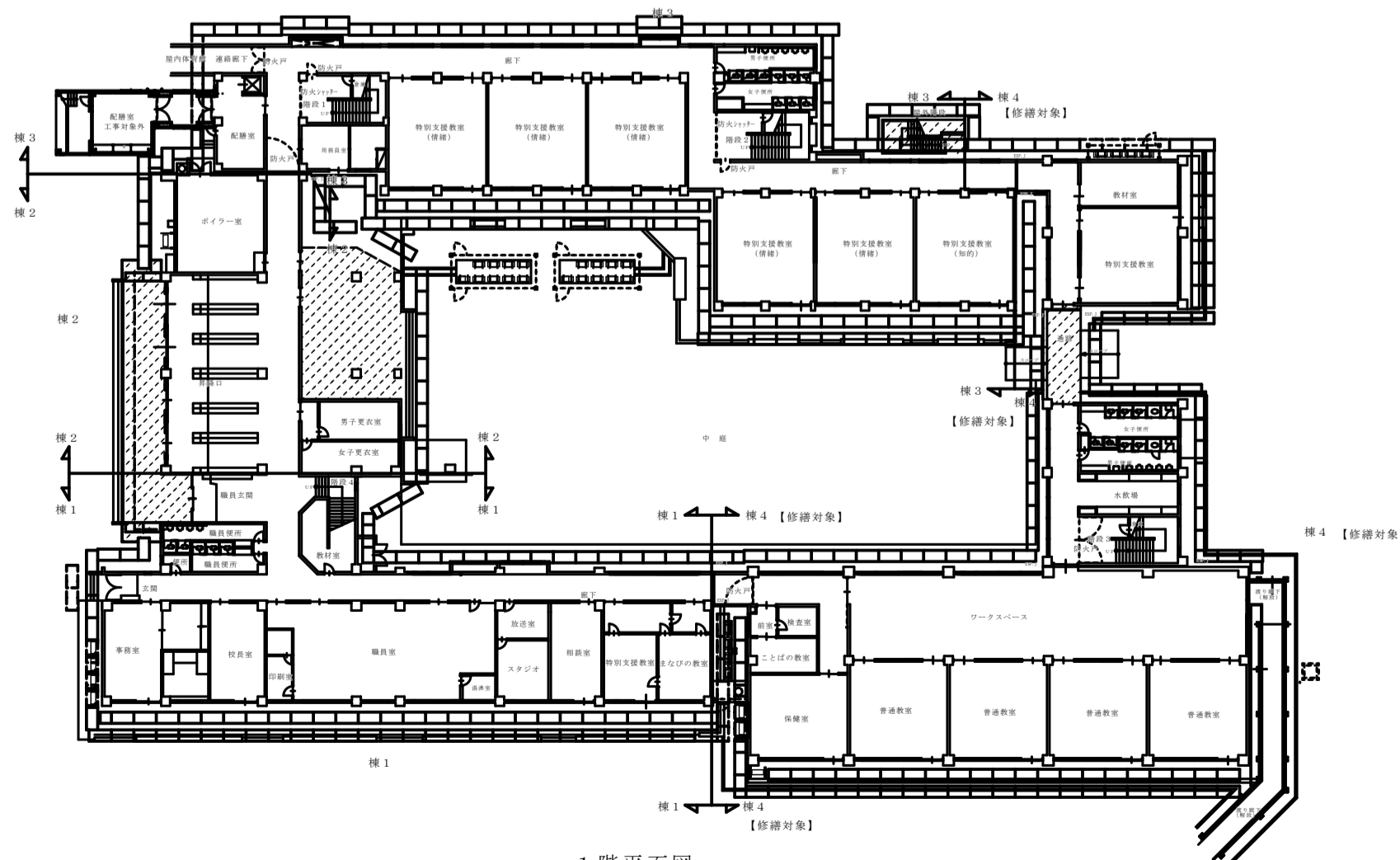
屋根伏図



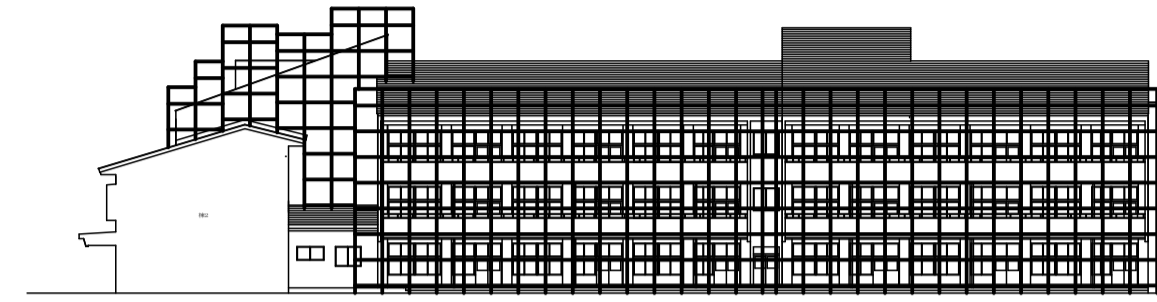
3階平面図



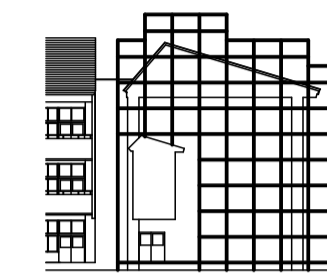
2階平面図



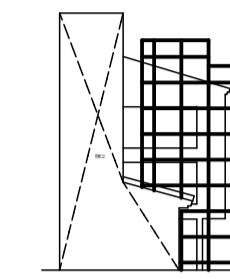
1階平面図



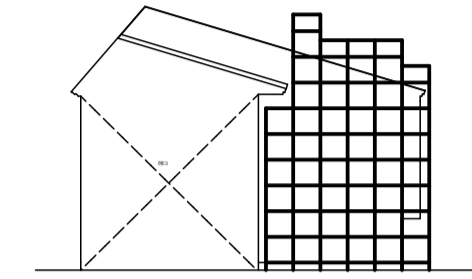
南3 立面図



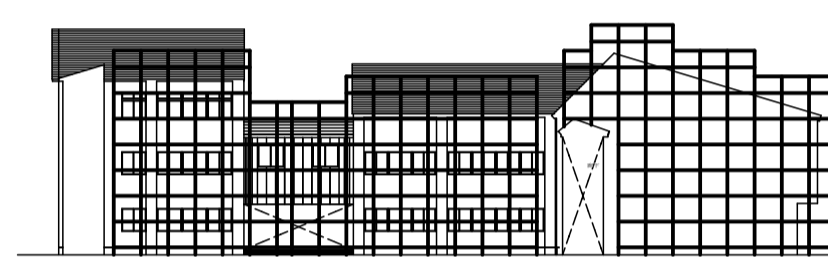
南4 立面図



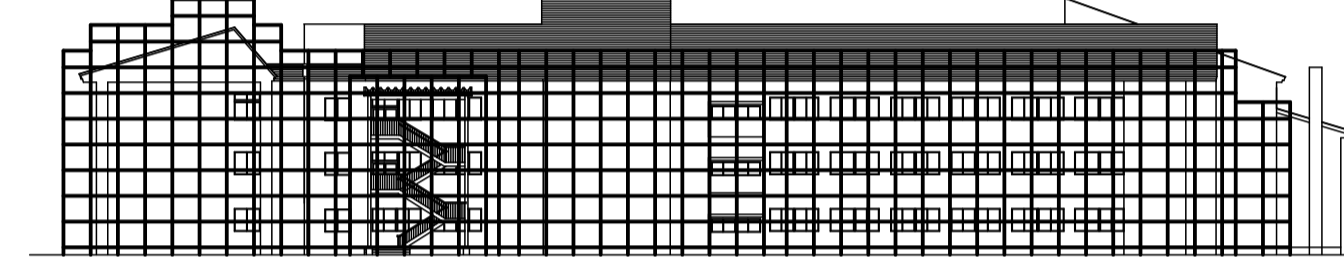
西2 立面図



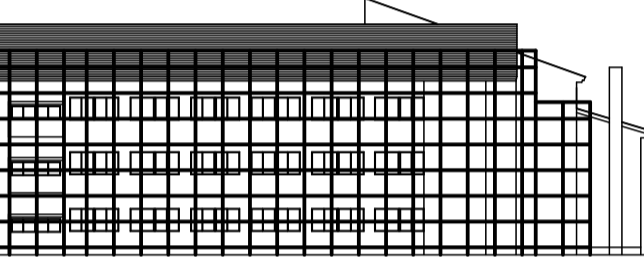
西3 立面図



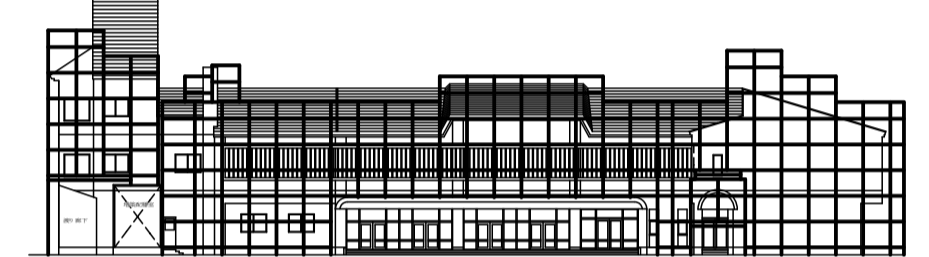
西4 立面図



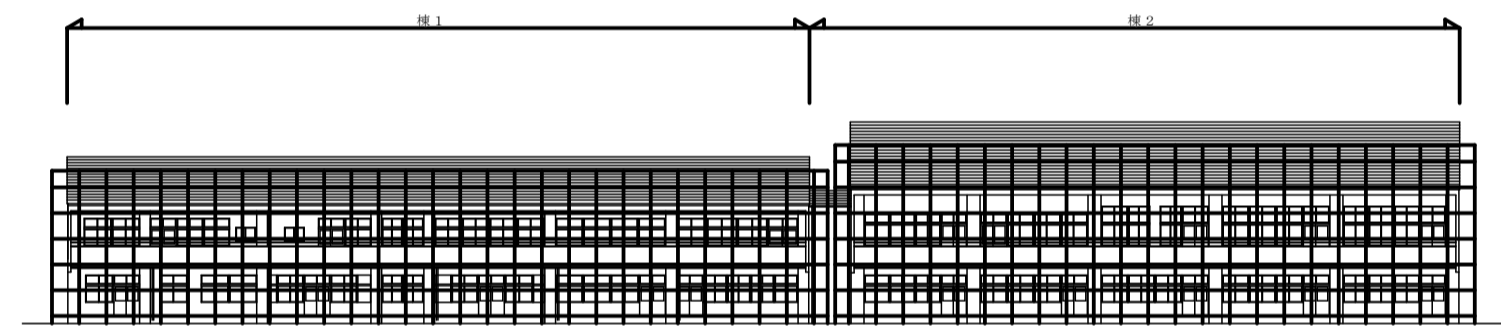
北2 立面図



北1 立面図



西1 立面図

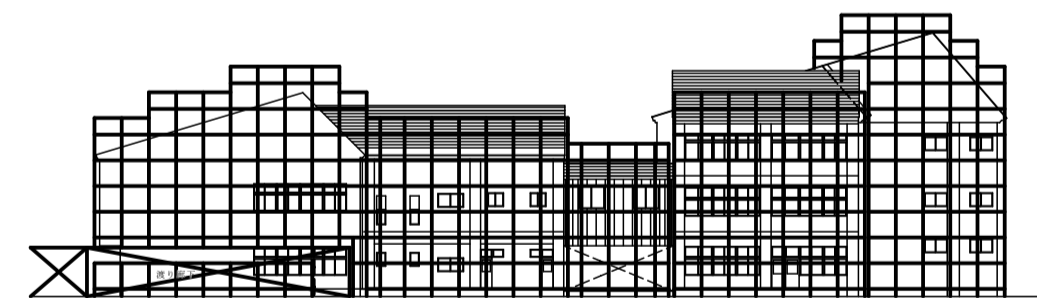


南1 立面図

南2 立面図



東2 立面図

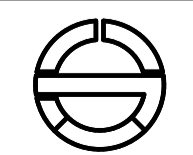


東1 立面図



北4 立面図

北5 立面図



役名	製図	計算	備考
	岩手県 1級建築士 登録第22号		

作図年月日	図面内容	縮尺	寸法	図面番号
R.11	仮設計計画図(参考)	A1: 1/500 A3: 1/1000		A-40
訂正年月日				校の内 区分 意匠図

電気設備改修修繕特記仕様書

1 修繕概要
1 修繕の名称 令和7年度盛岡市立津志田小学校校舎安全対策（外壁・屋根等）修繕
2 修繕の場所 盛岡市津志田中央一丁目108番外
3 建築物概要
建物名称 構造 階数 延床面積 建築面積 建築基準法施行規程 消防法施行令別表第...

4 修繕細目（○印の付いたものを使用する。）
細目別 建築物 建築物名称
電灯設備 動力設備 電気自動車用充電設備 電動設備 管線設備 受変電設備 電力貯蔵設備 発電設備 横内情報通信設備 横内交換設備 情報表示設備 映像・音響設備 拡声設備 誘導設備 テレビ共用受電設備 監視カメラ設備 駐車管理設備 防犯・電気設備 中央監視制御設備 売生材料管理 横内配電線路 横内通信線路 テレビ電圧降下防止設備

II 特記仕様書
1 一般事項
(1) 特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官庁官庁建築部設の『公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編、最新版)』、国土建設改修工事標準仕様書(電気設備工事編、最新版)、『電気設備工事編、最新版)』、国土交通省大臣官庁官庁建築部設の『建築設備修繕・環境設備修繕の『公共建築設備工事標準仕様書(電気設備工事編、最新版)』、国土交通省大臣官庁官庁建築部設の『建築設備修繕・環境設備修繕の『公共建築設備工事標準仕様書(電気設備工事編、最新版)』による。
(2) 機械設備修繕及び建築修繕を本修繕に含む場合、機械設備修繕及び建築修繕はそれぞれの特記仕様書を使用する。
2 特記事項
(1) 項目は番号に○印の付いたものを使用する。
(2) 特記事項は、○印の付いたものを使用する。『・』印のよる○印が付かない場合は適用しない。
(3) 『※』印の付いた箇所は、注記事項とする。

1 機材等 本修繕で使用する機材等は、設計図書に規定するもの、またはこれらと同等若しくは同等以上のものとする。ただし、監督員の承認を受ける。
2 機材の品質・性能証明
本修繕着手前に主要機材メーカーリストを提出し、監督員の承認を受ける。
3 電気保安技術者
電気工作物に係る材料においては、電気保安技術者を置くものとする。
4 修繕用電力等
本修繕に必要な電力、水等の費用は、引渡しの時点で受注者の負担とする。
5 修繕用仮設物
横内につくることが ○ 出来る ・出来ない
6 監督員事務所
・ 設ける ○ 設けない
7 足場、さん積段
・ 別契約の関係請負者が設置したもの、無償で使用できる。 ・ 本工事で設置する。
8 耐震施工
なお、特記仕様を設ける場合は、『手すり先行工法等に関するガイドライン』（厚生労働省平成21年4月改訂）によるものとし、二段手すり及び保水の機能をもつものではない。
新築施工における設備機器の目安は、『建築設備耐震設計 施工指針 2014年版』（他）建築研究所監修による。本修繕の施設分類は(○) 特定の施設 ・ 一般の施設 で地域係数は1とし、設計用標準水平加速度は下表のとおりとする。なお、() 内の数値は防災支援の機器の場合に適用する。

設計用標準加速度 特定の施設 一般の施設
設置場所 重要機器 一般機器 重要機器 一般機器
上層階、屋上及び塔屋 2.0 (2.0) 1.5 (2.0) 1.5 (2.0) 1.0 (1.5)
中層階 1.5 (1.5) 1.0 (1.5) 1.0 (1.5) 0.6 (1.0)
一般及び地下階 1.0 (1.0) 0.6 (1.0) 0.6 (1.0) 0.4 (0.6)

重要機器類
・ 配電盤 ・ 発電装置 ・ UPS装置 ・ 直流電源装置
・ 交換機 ・ 受信機（自立型） ・ 中央監視装置 ・ 情報通信ラック
重量が100kg以下の軽量な機器（標準仕様書の適用するものは除く）においては、設備機器の設置位置の指定する確実に行うことも良いものとする。
9 天井機器の取付方法
天井機器の取付方法は、標準仕様書第2編2.1.4.3に定めるとおりとするが、やむを得ず天井下地材で支持する場合に、脱落防止の措置を施すに代すること。

10 工事区分
一般共通事項

11 保温、結露防止
12 電線、ケーブル
13 合成樹脂製可とう管
14 二種金属製可とう管
15 インサート
16 呼び線
17 フラッシュプレート
18 フロアプレート/ベース
19 ハンドホール蓋
20 支持金物、固定金物
21 あと施工アンカー
22 接地埋設設備
23 材料、壁の塗装

24 山留め
25 継続工事
26 はつり
27 除去後の修繕等
28 有害物質の取り扱い

29 電気設備
30 発電設備
31 通信・情報設備

関連設備との修繕区分は、下表のとおりとする。
項目 電気設備修繕 建築修繕 機械設備修繕 その他修繕
器具選定の仕様及びスリブ（スリブ） (補強)
天井埋込形器具 (選出)
(下地切込)
(仕上げ材切込)
(天井開口補強)

11 保温、結露防止
12 電線、ケーブル
13 合成樹脂製可とう管
14 二種金属製可とう管
15 インサート
16 呼び線
17 フラッシュプレート
18 フロアプレート/ベース
19 ハンドホール蓋
20 支持金物、固定金物
21 あと施工アンカー
22 接地埋設設備
23 材料、壁の塗装

24 山留め
25 継続工事
26 はつり
27 除去後の修繕等
28 有害物質の取り扱い

1 電気設備
2 発電設備
3 通信・情報設備
項目 照明器具 スイッチ コンセント 分電盤等 制御盤
回路の確認 ○
配線の確認 ○
機器と閉鎖等の対応 ○
照明点滅回路の確認 ○
制御回路の確認 ○
項目 発電機 原動機 配電盤 補助制御装置 及び更新
機能の確認
動作の確認
配線の確認
運転状態における機器の確認
項目 端末機器等 主装置等
系統の確認
配線の確認
端末機器等と主装置等の対応

設計用標準加速度 特定の施設 一般の施設
設置場所 重要機器 一般機器 重要機器 一般機器
上層階、屋上及び塔屋 2.0 (2.0) 1.5 (2.0) 1.5 (2.0) 1.0 (1.5)
中層階 1.5 (1.5) 1.0 (1.5) 1.0 (1.5) 0.6 (1.0)
一般及び地下階 1.0 (1.0) 0.6 (1.0) 0.6 (1.0) 0.4 (0.6)

10 工事区分
一般共通事項

1 電気方式
2 分電盤
3 照明器具
4 照明制御装置
5 防炎用照明器具
6 照度測定
7 ハイテンションアウトレット
8 その他
1 電気方式
2 動力線
3 警報線
4 機器への接続
5 電動機等の接地
1 電気方式
2 充電装置
3 その他
1 排水路ヒーター
2 電気暖房器
3 その他
1 受信部
2 送受信線
3 接地機

1 電気方式
2 配電盤
3 主進断装置
4 変圧器
5 送相用コンデンサ
6 リアクトル
1 交流無停電電源装置
2 交流無停電電源装置
1 発電機
2 原動機
3 燃料
4 太陽光発電装置
5 系統連系
1 工事範囲
2 種類
1 電話交換機
2 電話機の配線
3 ローテンションアウトレット
4 保安器用接地
1 出仕表申請装置
2 マルチライン装置
3 時刻表示
1 映像機器
2 音響機器
1 増幅器
1 音声誘導
2 インターホン
3 トイレ等呼び出し
1 アンテナ
2 アンテナマスト
3 機器
4 その他

1 電気方式
2 配電盤
3 主進断装置
4 変圧器
5 送相用コンデンサ
6 リアクトル
1 交流無停電電源装置
2 交流無停電電源装置
1 発電機
2 原動機
3 燃料
4 太陽光発電装置
5 系統連系
1 工事範囲
2 種類
1 電話交換機
2 電話機の配線
3 ローテンションアウトレット
4 保安器用接地
1 出仕表申請装置
2 マルチライン装置
3 時刻表示
1 映像機器
2 音響機器
1 増幅器
1 音声誘導
2 インターホン
3 トイレ等呼び出し
1 アンテナ
2 アンテナマスト
3 機器
4 その他

1 電気方式
2 配電盤
3 主進断装置
4 変圧器
5 送相用コンデンサ
6 リアクトル
1 交流無停電電源装置
2 交流無停電電源装置
1 発電機
2 原動機
3 燃料
4 太陽光発電装置
5 系統連系
1 工事範囲
2 種類
1 電話交換機
2 電話機の配線
3 ローテンションアウトレット
4 保安器用接地
1 出仕表申請装置
2 マルチライン装置
3 時刻表示
1 映像機器
2 音響機器
1 増幅器
1 音声誘導
2 インターホン
3 トイレ等呼び出し
1 アンテナ
2 アンテナマスト
3 機器
4 その他

1 電気方式
2 配電盤
3 主進断装置
4 変圧器
5 送相用コンデンサ
6 リアクトル
1 交流無停電電源装置
2 交流無停電電源装置
1 発電機
2 原動機
3 燃料
4 太陽光発電装置
5 系統連系
1 工事範囲
2 種類
1 電話交換機
2 電話機の配線
3 ローテンションアウトレット
4 保安器用接地
1 出仕表申請装置
2 マルチライン装置
3 時刻表示
1 映像機器
2 音響機器
1 増幅器
1 音声誘導
2 インターホン
3 トイレ等呼び出し
1 アンテナ
2 アンテナマスト
3 機器
4 その他

1 モニタ
2 伝送方式
3 録画装置
1 機能
1 送信機
2 その他
1 自動検知設備
2 自動閉鎖設備
3 非常警報設備
4 ガス漏れ火災警報設備
5 住宅用火災警報器
1 監視制御対象設備
2 表示制御装置
3 監視制御装置
1 工事範囲
2 電気方式
3 敷設方式
4 引込柱
5 柱上機器
6 外灯
7 引込閉鎖器
1 工事範囲
2 用途
3 敷設方式
1 工事範囲

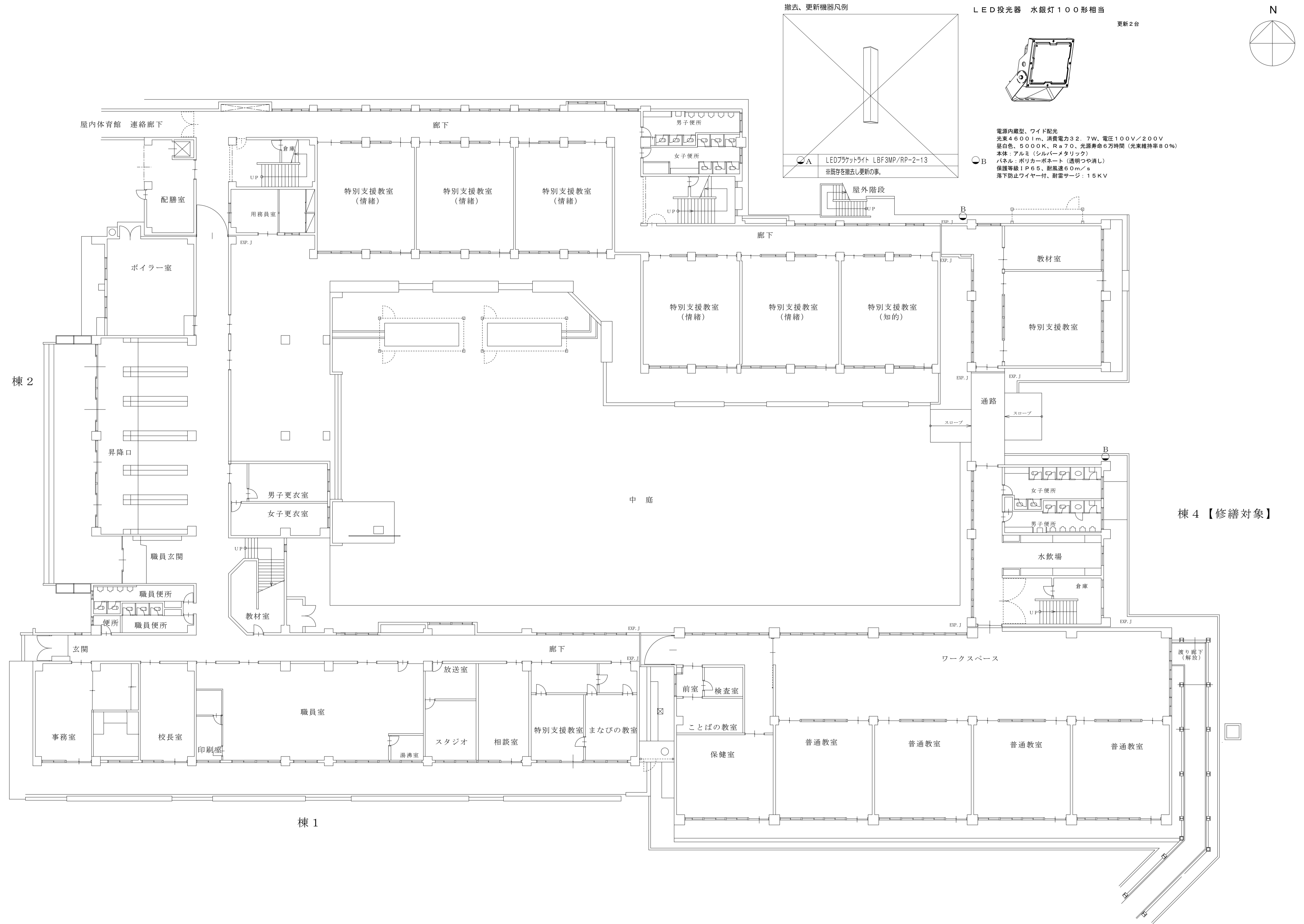
1 電気方式
2 配電盤
3 主進断装置
4 変圧器
5 送相用コンデンサ
6 リアクトル
1 交流無停電電源装置
2 交流無停電電源装置
1 発電機
2 原動機
3 燃料
4 太陽光発電装置
5 系統連系
1 工事範囲
2 種類
1 電話交換機
2 電話機の配線
3 ローテンションアウトレット
4 保安器用接地
1 出仕表申請装置
2 マルチライン装置
3 時刻表示
1 映像機器
2 音響機器
1 増幅器
1 音声誘導
2 インターホン
3 トイレ等呼び出し
1 アンテナ
2 アンテナマスト
3 機器
4 その他

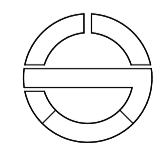
1 電気方式
2 配電盤
3 主進断装置
4 変圧器
5 送相用コンデンサ
6 リアクトル
1 交流無停電電源装置
2 交流無停電電源装置
1 発電機
2 原動機
3 燃料
4 太陽光発電装置
5 系統連系
1 工事範囲
2 種類
1 電話交換機
2 電話機の配線
3 ローテンションアウトレット
4 保安器用接地
1 出仕表申請装置
2 マルチライン装置
3 時刻表示
1 映像機器
2 音響機器
1 増幅器
1 音声誘導
2 インターホン
3 トイレ等呼び出し
1 アンテナ
2 アンテナマスト
3 機器
4 その他

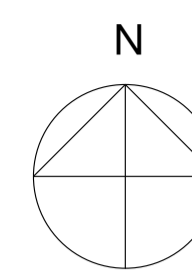
1 電気方式
2 配電盤
3 主進断装置
4 変圧器
5 送相用コンデンサ
6 リアクトル
1 交流無停電電源装置
2 交流無停電電源装置
1 発電機
2 原動機
3 燃料
4 太陽光発電装置
5 系統連系
1 工事範囲
2 種類
1 電話交換機
2 電話機の配線
3 ローテンションアウトレット
4 保安器用接地
1 出仕表申請装置
2 マルチライン装置
3 時刻表示
1 映像機器
2 音響機器
1 増幅器
1 音声誘導
2 インターホン
3 トイレ等呼び出し
1 アンテナ
2 アンテナマスト
3 機器
4 その他

1 電気方式
2 配電盤
3 主進断装置
4 変圧器
5 送相用コンデンサ
6 リアクトル
1 交流無停電電源装置
2 交流無停電電源装置
1 発電機
2 原動機
3 燃料
4 太陽光発電装置
5 系統連系
1 工事範囲
2 種類
1 電話交換機
2 電話機の配線
3 ローテンションアウトレット
4 保安器用接地
1 出仕表申請装置
2 マルチライン装置
3 時刻表示
1 映像機器
2 音響機器
1 増幅器
1 音声誘導
2 インターホン
3 トイレ等呼び出し
1 アンテナ
2 アンテナマスト
3 機器
4 その他

10 工事区分
一般共通事項



令和7年度盛岡市立津志田小学校校舎安全対策（外壁・屋根等）修繕	 1級建築士事務所 岩手県知事登録第7(2705)384号 (有)白浜建築設計事務所 1級建築士建設大臣登録第140889号 代表取締役 白濱 成則 岩手県盛岡市浅草1丁目12番12号 電話 0195-358-5551	棟 図	製 図	計 画	業 者	作成年月日 R3.12	図面内容 照明設備 1階撤去更新平面図	縮尺 A1: 1/150 A3: 1/300	寸法番号 E-02	校の内
		山下 英憲				訂正年月日	区分 電気設備			

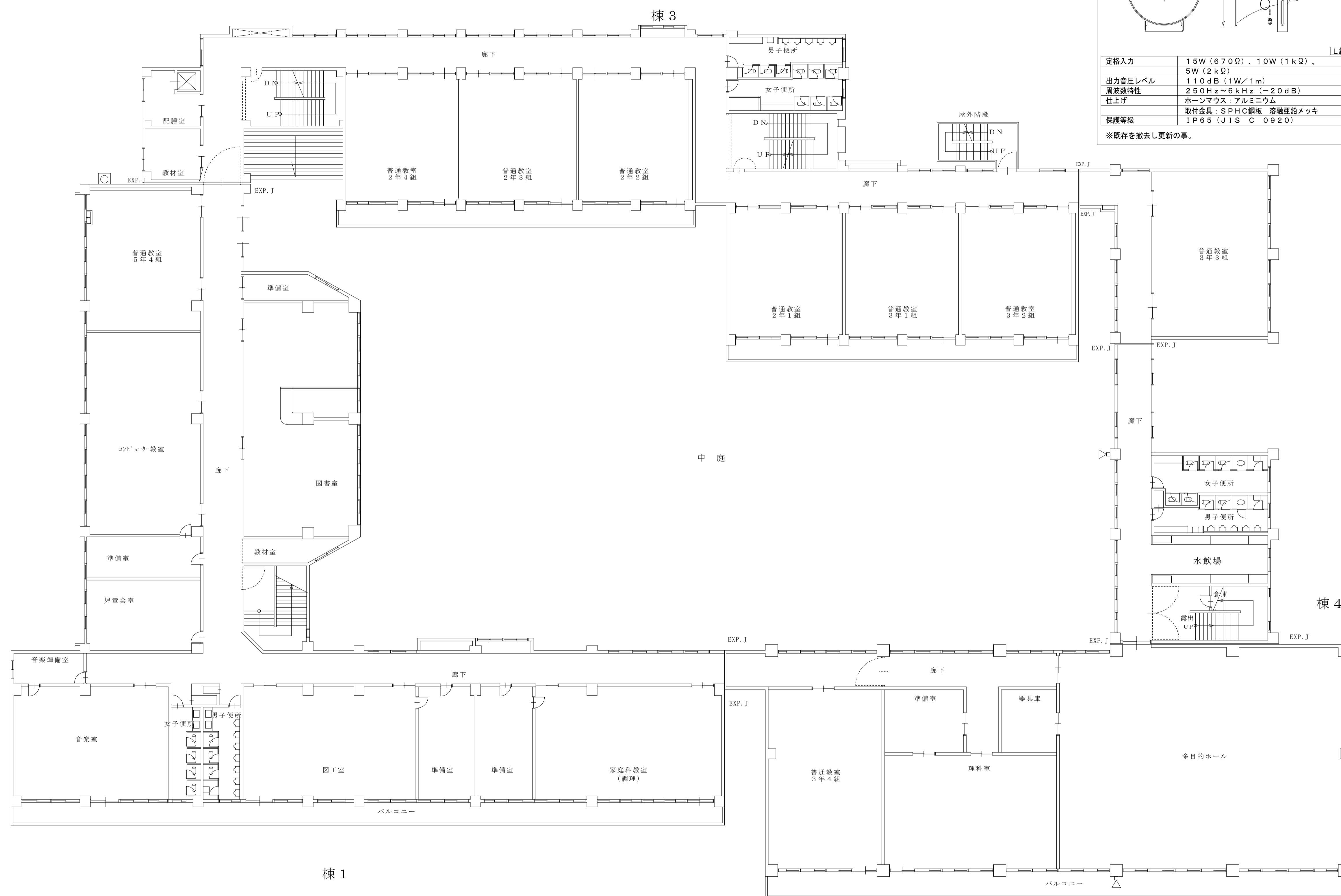


トランペットスピーカー (15W)

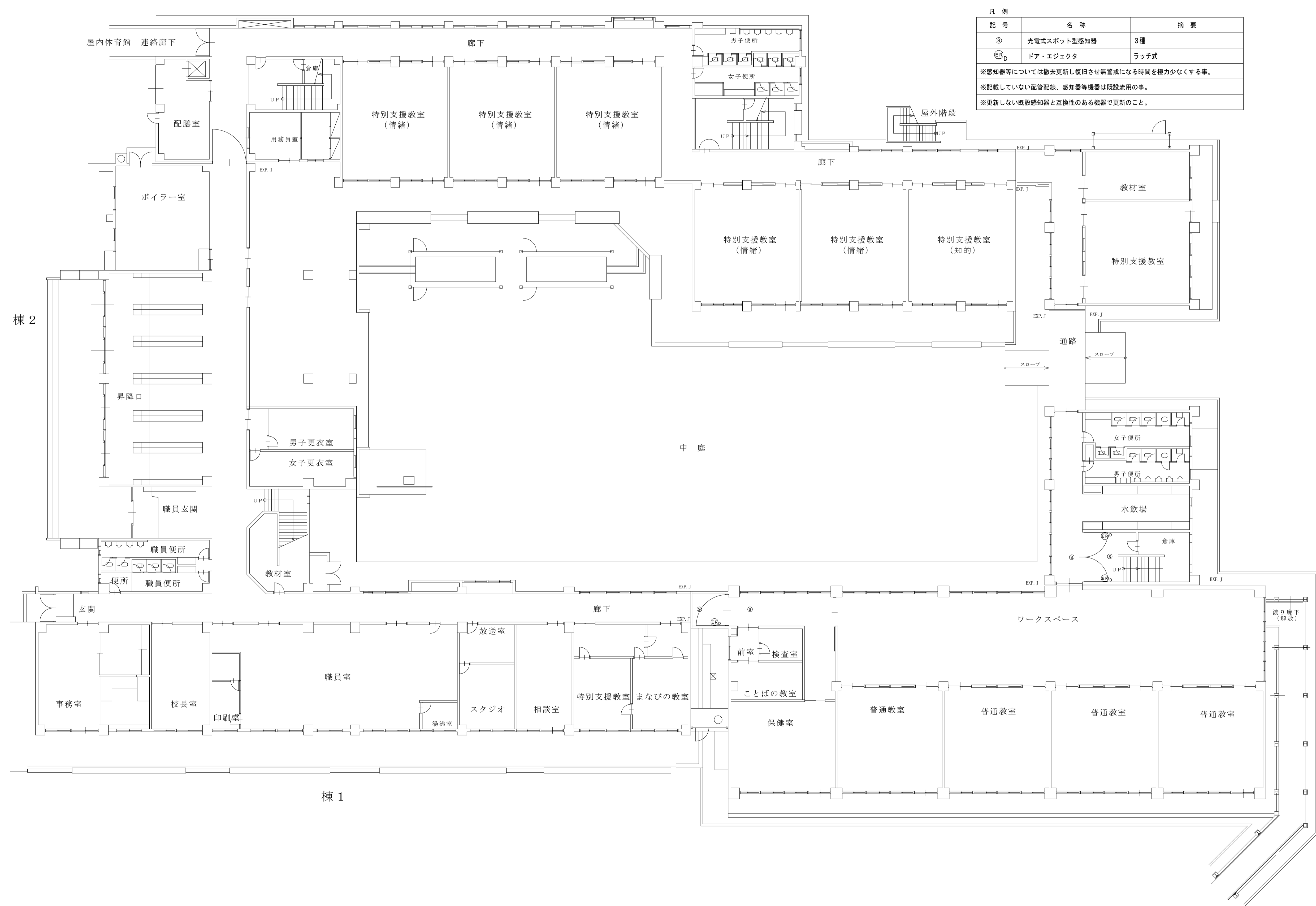
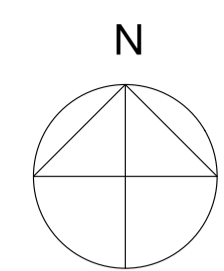
2台 更新2台

定格入力	15W (670Ω)、10W (1kΩ)、5W (2kΩ)
出力音圧レベル	110dB (1W/1m)
周波数特性	250Hz~6kHz (-20dB)
仕上げ	ホーンマウス: アルミニウム
保護等級	取付金具: S P H C 鋼板 溶融亜鉛メッキ I P 6 5 (J I S C 0 9 2 0)

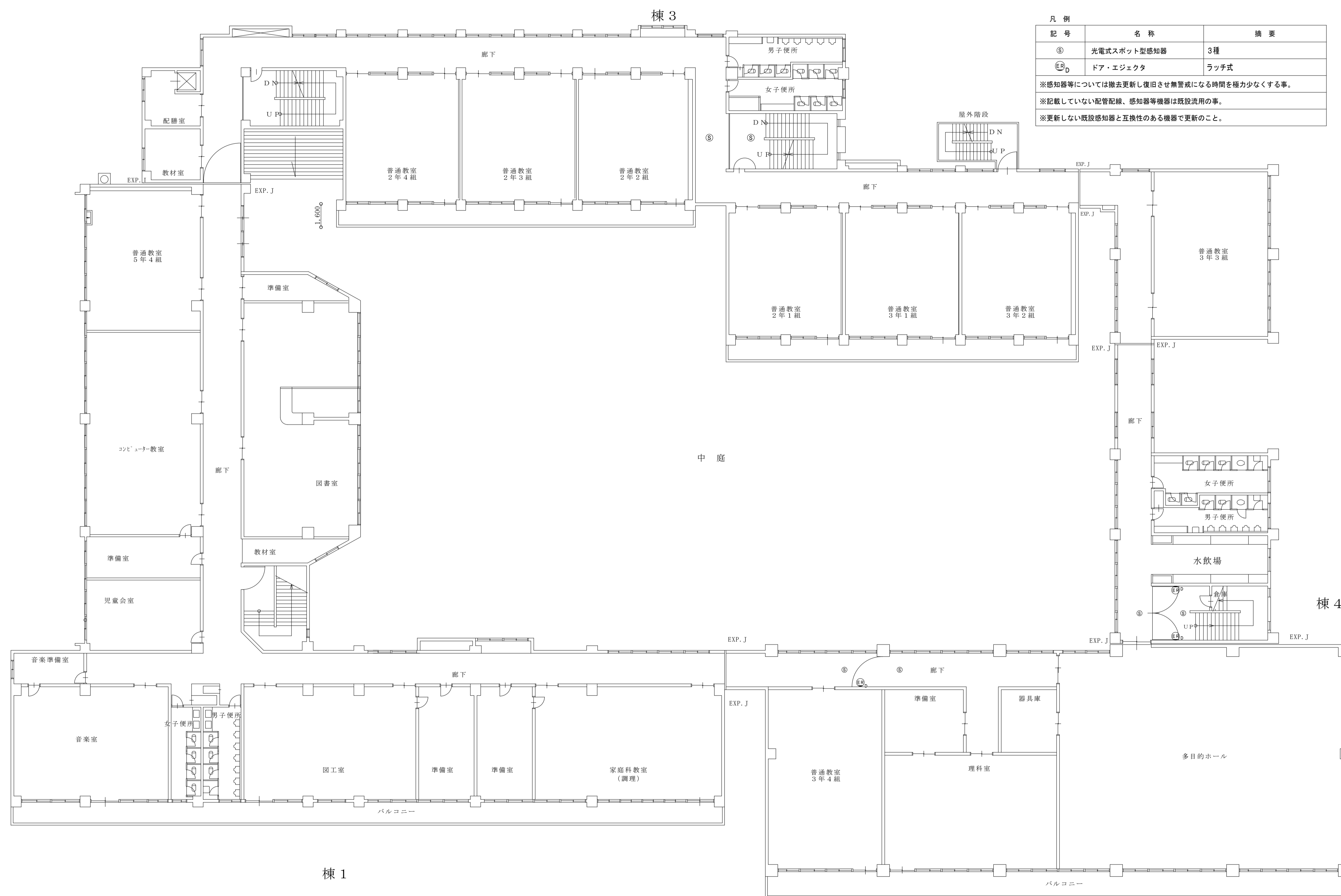
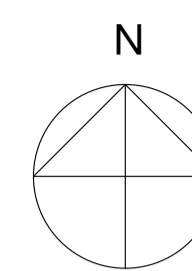
※既存を撤去し更新の事。



棟4 【修繕対象】



棟 4 【修繕対象】



凡例		
記号	名称	摘要
Ⓢ	光電式スポット型感知器	3種
ⓈD	ドア・エジェクタ	ラッチ式
※感知器等については撤去更新し復旧させ無警戒になる時間を極力少なくする事。		
※記載していない配管配線、感知器等機器は既設流用の事。		
※更新しない既設感知器と互換性のある機器で更新のこと。		